

## はじめに

開館から4年目を迎えました当館は、山梨の自然と人の関わりの歴史を明らかにするというコンセプトをもとに種々の活動を展開しております。山梨の自然と人の関わりの歴史や交流の歴史を探ることを通じて、最大の資源が自然であることを再確認し、人や物の交流の重要性も明らかになってきました。

昨年度の調査研究活動としては、『山梨県立博物館紀要』第3集が刊行されました。また、平成20年5月に国立清州博物館から学术交流協定の締結について申し入れを受け、平成20年12月18日（木）大韓民国の国立清州博物館において、正式に両館の学术交流協定を締結いたしました。山梨県と忠清北道はともに四方を山に囲まれた内陸地域にあり、地形が類似しております。そのような環境の中で培われた韓国、日本の両地域の内陸文化をよりグローバルな視点で解明することを目的として交流を行っていく予定です。

展示活動としては「木喰展 生誕290年 一庶民の信仰・微笑仏一」、「甲州食べもの紀行ー山国の豊かな食文化ー」などの企画展を開催しました。企画展に伴う様々なイベントも行ない、多くの人たちに参加していただきました。

また、県民による博物館事業の評価を目的として平成20年8月10日（日）に通信簿ツアーを実施し、この結果を受け、博物館事業の改善に向けた取り組みを行いました。

『平成20年度山梨県立博物館年報』はこうした当館における様々な活動と成果をまとめたものです。

当館は今後も開かれた博物館の実現を目指して活動し、活動全体について検証しながらさらなる成長を目指したいと思います。今後とも県立博物館に対する皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 平川 南

# 目次

## はじめに

### 第I編 山梨県立博物館の目指すところ

#### 第1章 県立博物館の評価制度 ……1

- (1) 県立博物館の使命 ……1
- (2) 県立博物館の評価制度 ……1

#### 第2章 通信簿ツアーの実施 ……6

- (1) 通信簿ツアーの内容 ……6
- (2) 通信簿ツアーの結果 ……8

### 第II編 事業・諸活動

#### 第1章 運営・ミュージアムサービス ……15

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 ……15
- (2) 平成20年度利用者状況一覧 ……15

#### 第2章 調査・研究 ……19

- (1) 総合調査・研究「富士山と人々の歴史」 ……19
- (2) 共同調査・研究 ……19
- (3) 個別調査・研究 ……22
- (4) 調査・研究成果の公表 ……23
- (5) 大韓民国 国立清州博物館との  
学術交流協定について ……25

#### 第3章 資料の収集・保管・活用 ……27

- (1) 資料収集の方針 ……27
- (2) 資料の収集 ……27
- (3) 資料の整理・目録（データ）化 ……29
- (4) 資料の修復・管理 ……29
- (5) 資料の活用 ……31

#### 第4章 展示 ……32

- (1) 常設展示 ……32
- (2) 企画展・シンボル展 ……39
- (3) 展覧会関係刊行物 ……58

#### 第5章 企画交流事業 ……59

- (1) 生涯学習サービス事業 ……59
- (2) 博学連携事業 ……60
- (3) 博物館同士のネットワーク ……63
- (4) 広報 ……64

#### 第6章 施設の整備・管理 ……65

- (1) 安全快適な施設づくり ……65
- (2) 施設開放 ……65

#### 第7章 情報の発信と公開 ……66

- (1) 資料閲覧室の利用状況 ……66
- (2) 博物館総合情報システム ……67
- (3) 博物館ホームページ ……68

#### 第8章 県民参画 ……69

- (1) NPOとの連携 ……69
- (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携 ……70

#### 第9章 組織・人員 ……71

- (1) 職員の資質向上 ……71
- (2) 第三者委員会 ……71

#### 第10章 外部支援と連携 ……73

- (1) 外部支援 ……73
- (2) 外部との連携 ……73

### 第III編 各種資料

#### 1 組織・職員等名簿 ……74

#### 2 平成20年度改正分の関連法規 ……76

#### 3 平成20年度予算額 ……77

#### 4 年間日誌 ……77

## 凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については平成17年度年報を参照。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、断りなき限り、全て平成20年度におけるものである。
- ・断りなき限り、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て当山梨県立博物館館のことを指す。

# 第 I 編 山梨県立博物館の目指すところ

## 第 1 章 県立博物館の評価制度

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなでつくる博物館協議会」（以下「みんつく」、第 II 編第 9 章参照）において、県立博物館の評価制度について検討が加えられ、次のとおりまとめられた。なお、評価制度の検討経過については平成17～同19年度年報において述べられている。

この「みんつく」での検討結果については、平成19年9月19日（水）に開催された第8回山梨県立博物館運営委員会（以下「運営委員会」、第 II 編第 9 章参照）に付議をして了承を得、平成19年10月10日（水）に館長決裁を行い、正式に県立博物館の評価制度として決定したものである。

### （1）県立博物館の使命

#### 使命 1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」は、現在よりもより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

#### 使命 2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館では、県内各地の様々な文化施設・史跡・自然はもとより、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

### （2）県立博物館の評価制度

#### ■県立博物館の評価制度の基本方針

県立博物館の使命を実現させるためには、評価制度の基本方針として次の3点を満たすものとする。

- ・県立博物館の活動総体を県内外に周知し、館の運営をより良い方向へと推し進めるための評価であることを第一の目標とする。
- ・評価にあたっては県民参画型の方法を導入し、また、外部有識者など第三者を交えた客観性を保った評価方法とする。
- ・館の運営の実情に合わせ、柔軟に変化・対応させていくといういわば「成長する評価」とする。

#### ■評価方法

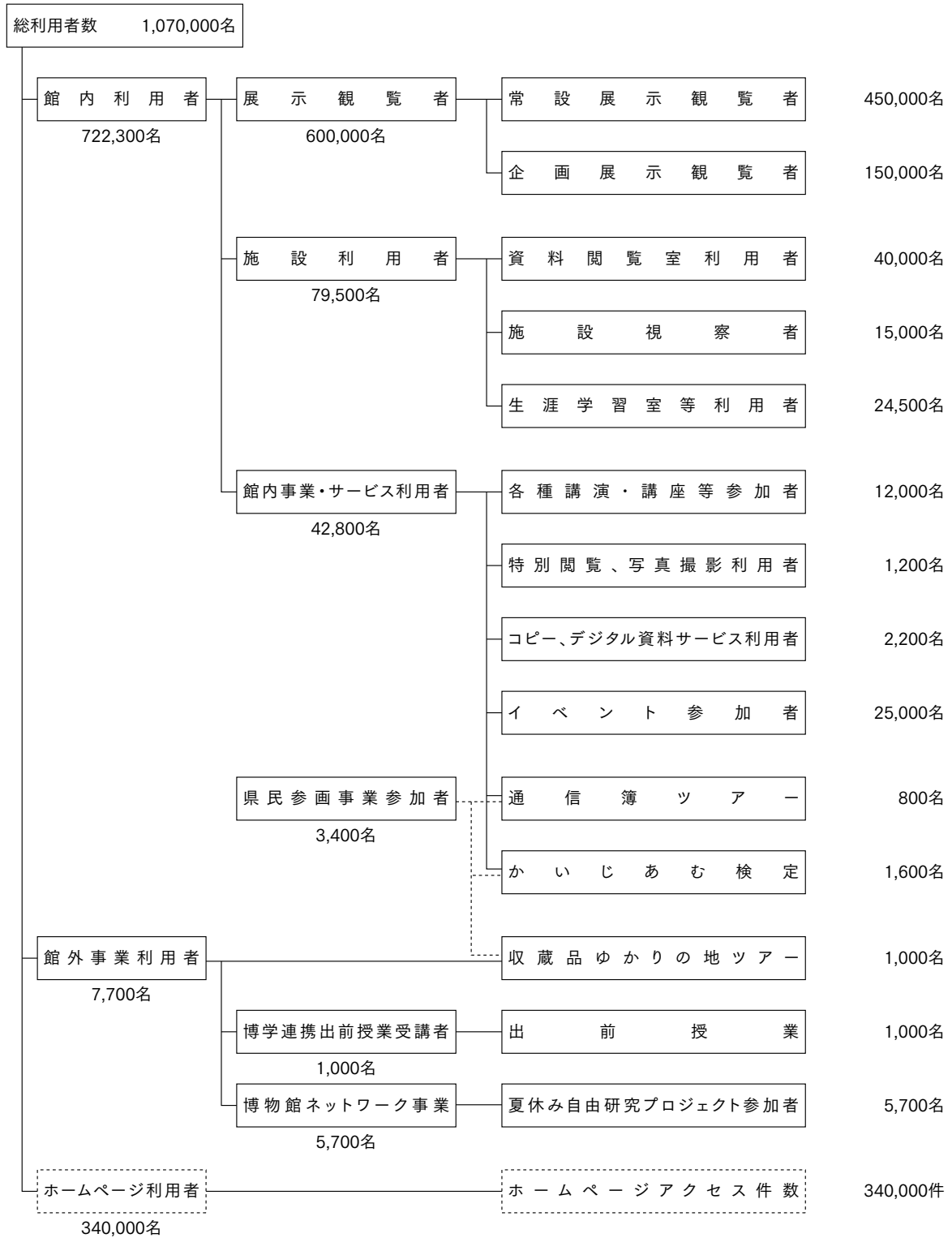
評価方法の具体像については、A「数値評価」、B「自己診断」、C「通信簿ツアー」という複数の評価方法を導入し、それぞれの方法の長所と短所を補いあうものとする。開館5周年（平成22年度）までの

運営実績に基づき、平成23年度にA～Cそれぞれの観点を踏まえて総合評価を実施する。

・ A 「数値評価」 …

県立博物館の事業について、その実績を数値化し得る評価項目については数値目標をたて、その達成を目指す。年度ごとにその成果を年報に記載し、公開する。県立博物館における各活動分野の数値目標をまとめたものが「県立博物館開館5周年目における各活動分野の目標値」である。

■ 県立博物館開館5周年目における各活動分野の目標値



※ 目標値算出にあたっての詳細は平成19年度年報第 I 編第 1 章「目標値の算出」の項を参照。

・ B 「自己診断」 …

県立博物館の事業について、数値化し得ない評価項目については、年度ごとにその成果を年報に記載し、公開する。

・ C 「通信簿ツアー」 …

利用者が主体的に評価項目の作成、評価の実施、評価に基づく改善まで取り組むという方法。毎年、評価項目の設定を利用者とともに検討し、その都度、内容を更新する。詳細は第 I 編第 2 章参照。

※ A～Cそれぞれの評価方法に対応する評価項目については「評価項目」(5 頁)を参照

・ 総合評価…

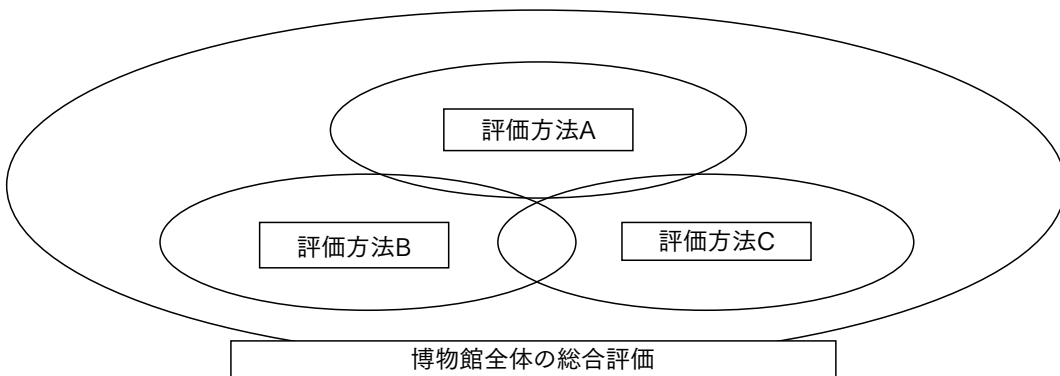
開館 5 周年目における上記 A～C 各年度の成果を集約し、運営委員会において運営全体における達成点と課題点についてとりまとめたものを総合評価報告書とし公開するものとする。

総合評価を運営委員会が実施するのは次の理由による。第一に、運営委員会の構成員は第三者の外部有識者であり、客観的に県立博物館を評価し得る立場にあること。第二に、運営委員会構成員には県民の代表たる「みんつく」の委員長、また、学術的立場から資料情報関係について審議する県立博物館資料・情報委員会委員長(第 II 編第 3 章参照)が加わっている。県民の立場から、また、学術的立場から県立博物館の運営について総合的に評価を行い得る立場にあるということからである。

また、総合評価の対象として開館 5 周年度に設定したのは次の理由による。第一に、県立博物館の主要活動分野である調査・研究の進展と、その成果が展示として実現されるには一定程度の時間を必要とすること。第二に、全国の博物館の実績からしても、開館当初は開館ラッシュによって利用者数が異常値を示し、館運営の実情を把握するには利用者数が落ち着くおよそ開館 5 周年段階におけるものが適当と判断されたことからである。

■ 評価の体系図

評価方法	評価主体	評価対象	目標到達度を測る基準	評価の客観性	改善の方向
A 数値評価	博物館	数値化可能な項目	目標数値に対する実際の達成度	数値そのものが客観的指標	目標数値
B 自己診断		数値化にならない項目	目標達成に向けて何を行ったか一覧化	博物館による自己点検。運営委員会からの意見がある場合にはそれを記載	運営委員会の意見を踏まえた改善策の実施
C 通信簿ツアー		利用者	利用者から見た評価点と改善点の一覧化	利用者の立場からの客観評価	利用者自身によって改善
博物館の総合評価	運営委員会	A～Cの結果に基づき、総合的に評価		県民の立場から、また学術的立場から運営委員会において客観的に評価	運営委員会の意見を踏まえた改善策の実施



※ 評価項目によっては、目標達成のために、複数の評価方法によって検討した方がより効果的な項目もある。

## ■評価項目

県立博物館の全ての事業活動は「県立博物館の使命」の実現に向けて実施される。それぞれの事業活動は使命の実現に向けて活動目標（目指すところ）が定められ、その達成度を測るために評価項目・評価方法が設定されている。それぞれの対応関係を示したものが次表である。

表の縦軸方向は県立博物館が行う事業活動の一覧であり、(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービス、(2) 調査・研究、(3) 資料の収集・保管・活用、(4) 展示、(5) 企画交流事業、(6) 施設の整備・管理、(7) 情報の発信と公開、(8) 県民参画、(9) 組織・人員、(10) 外部支援という10の分野から成る（それぞれの事業活動間の関係については第 II 編第 1 章16頁参照）。

表の横軸方向では、それぞれの事業活動ごとに上・下段、左・右列に分かれている。

上段は各事業における県立博物館の使命実現に向けての活動目標（目指すところ）、下段はその活動目標の達成度を図るための評価項目（指標）が設定されている。

左・右列はそれぞれ県立博物館の使命 1 と使命 2 に対応した活動目標と評価項目が設定されている。なお、左・右列にまたがる事業活動分野は使命 1・2 の双方に関わる活動目標・評価項目であることを示している（(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて・(10) 外部支援について）。

以上の関係を総合的に捉えることで、「県立博物館の使命」達成度を測る指標とする。

## ■評価結果の公開

A～C についての年度ごとの実績については県立博物館でとりまとめ、各年度の年報において記載する。

総合評価については、数値評価の目標として設定した開館 5 周年度（平成22年度）までの実績に基づき、平成23年度に運営委員会にて総合的に評価を行い、評価報告書としてとりまとめるものとする。

以上のとおり、事業活動全般にわたって恒常的に自己点検を行い、外部からの評価を取り入れることで、県立博物館の活動総体をより良い方向へと推し進めていく。

	使命1	使命2
博物館の活動分野	使命1に対応した活動目標	使命2に対応した活動目標
	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県立博物館が整備されて良かったと思ひ、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館5周年目で107万人の総利用者数を目指します。</li> <li>山梨県立博物館どのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。</li> <li>博物館の使命がどの程度達成できたかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。</li> <li>博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。</li> <li>かじあひむ検定を実施し、県立博物館及び山梨県への興味・関心が深められるように努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総利用者数（評価方法A）</li> <li>館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているのかの調査（評価方法C）</li> <li>利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法B）</li> <li>目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法B・C）</li> <li>かじあひむ検定参加者数及び合格者数（評価方法A）</li> </ul>
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりの歴史」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究の積極的実施にも努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をとおして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。</li> </ul>
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりの歴史」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存・活用に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をとおして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。</li> <li>研究紀要や調査報告書類の作成・発行を行っているか？（評価方法B）</li> <li>館主催講座の開催数（評価方法A）</li> <li>館職員の館外担当講座数（出前授業も含む）（評価方法A）</li> </ul>
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館5周年目で60万人の利用者数を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館5周年目で46,000人の学校利用者数を目指します</li> </ul>
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりの歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。</li> <li>県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。具体的には開館5周年目で7,700人の人々を県内各地に誘導することを目指します</li> </ul>
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。</li> <li>魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館5周年目で9,700人の利用者数を目指します。</li> </ul>
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファランスをとおし5年間で7,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをととした場合は34万件のアクセス数を目指します。</li> </ul>
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動を実施し、共同事業では開館5周年目で3,400人と交流できるように努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の運営改善に向けて反映するよう努めます</li> </ul>
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法BまたはC）</li> </ul>
(10) 外部支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。</li> <li>第三者機関（運営会議、みんつく、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めます。</li> <li>館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法B）</li> </ul>	

## 第2章 通信簿ツアーの実施

### (1) 通信簿ツアーの内容

#### ■平成20年度における通信簿ツアーの特徴

平成20年8月10日(日)に、県民参画事業(第II編第8章参照)の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する(県立博物館の「通信簿」を付ける)という利用者参加型の評価方法である(本事業の概要は平成18年度年報第I編第2章参照)。

平成20年度の特徴は次のとおりである。

- ・評価項目数について、より回答し易くするために、平成19年度の項目数(69問)よりさらに減らした(61問)。
- ・平成20年度に新しく改善された、または導入されたサービスについての設問を設けた。例えば、駅での看板設置(A02 カッコ内は評価項目の番号、以下同)、自動販売機設置(C06)、古文書即日閲覧の開始(E03)、開館日時の変更(J04)等。
- ・当日の参加者数は90名であり、ほぼ例年並みの結果となった。着実に本事業が定着化しつつある状況にある。

#### ■通信簿ツアー評価項目

A 山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの、道のりは順調でしたか?

1. 到着までの道のりで、迷った場所がありますか? 順調に着きましたか?
2. 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、博物館の案内看板は役立ちましたか? バスの便はいかがでしたか?

B いよいよ館内に入ります。

1. チケット売り場はすぐにわかりましたか? 受付(総合案内)や案内スタッフの対応はいかがでしたか?
2. 案内パンフレットは今年の4月に新しい内容に変わりましたが、使いやすいですか? 以前と比べてどうでしたか?
3. 入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐわかりましたか?
4. 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐわかりましたか?
5. 館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか?
6. エントランス(入り口)にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか?  
気づいたものに○をつけていただけますか?(複数回答可)感想もあればお聞かせください。  
・次回企画展とイベントの案内 ・県立博物館紹介の新聞スクラップ  
・エントランス中庭(石舞台)の説明案内 ・館内の禁止事項の案内
7. 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」という感想や、「こう利用したら?」という提案がありますか?

C 館内は快適ですか?

1. 資料保存のために空調を寒くしているのですが、館内の温度については快適ですか? 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか?
2. 就学前の小さな子どもを連れてきても大丈夫そうですか? 小さなお子さんが楽しめるようなところやサービスはありましたか?
3. 視覚障害者向けサービスは充実していると思いますか? 手話のできるスタッフがいることに気づきましたか?
4. 外国人に対応したサービスは充分だと思えますか?
5. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか? 足りないとしたら、どこに置いてほしいですか?
6. 今年の4月から、館内に飲料の自動販売機が登場しました。どこに置かれているか気づきましたか? 館内のどこでなら、飲み物を飲んで良いか知っていますか?

D さて、展示室です。展示は楽しめましたか? 何かを学ぶことができましたか?

展示室は、「常設展示(鑑賞学習型展示と体験型展示)(X)」と「企画展示(Y)」とに分かれています。お好きなほうから、スタートしてください。

D-X 常設展示について

1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真(「山梨の舞台」)。どんなふうを楽しみましたか? それとも通り過ぎてしまいましたか?
2. 常設展はどのテーマから見てもいいように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも迷ってしまったと感じたとしたら、どの辺りでそれを感じましたか? 迷ったと感じないための工夫に、何か提案がありますか?
3. 向かって左手の展示室には、江戸時代の村や城下町のジオラマ展示があります。人形たちがさまざまな情景を演じていますが、その魅力は十分に伝わってきましたか?
4. 展示品のキャプションや解説類の、文字の読みやすさや内容のわかりやすさはいかがでしたか? わからない解説があったとしたら、どれか具体的に教えてください。



5. 室内には、ジオラマの下の引き出し式展示や、タッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、気づきましたか？ 利用しやすかったですか？ ご感想を。
  6. 衛星写真「山梨の舞台」の奥にある賑やかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナーです。体験の仕方はわかりましたか？ 自分から楽しめましたか？ 「このコーナーでこんな体験をしたい。こんな工夫をしてくれればもっと楽しめる」という希望やおすすめはありますか？
  7. 体験展示のコーナーだけは、実は「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？ 記念写真をとってみたい撮影スポットがありましたか？
  8. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？ 展示クイズ等は楽しめましたか？
  9. 展示を見ながら、誰かと何か話したいと思った方、どんなことを話したいと思いましたか？ お話してもいい雰囲気でしたか？
  10. ところで、常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行なっていますが、知っていましたか？ 常設展のおすすめ資料を紹介したパネルに気づきましたか？
  11. 展示は、年代を問わず誰でも楽しめるものだと思いますか？ 県外から来た方も楽しめましたか？ どんなところが、その楽しさのポイントだと思いますか？
  12. 特に興味や関心をもった展示はどれでしたか？ その理由や感想を教えてください。
- D-Y 企画展示について（平成20年9月1日まで、「文化財を まもる しらべる つたえる」展を開催中です。）
1. 今回の企画展は面白かったですか？ 具体的にどんなところが？ 感想を聞かせてください。
  2. キャプションや解説パネルはわかりやすかったですか？ わかりにくい所があったとすると、具体的にどんな部分でしょう？
  3. 今回の企画展は誰でも楽しめるものだと思いますか？
  4. 以前の企画展も見たことがある方、企画展のタイプや内容に応じて、展示の仕方や作品の見せ方、子ども向けのパンフレットなどに工夫がなされていると思いますか？
  5. 今後、どんな企画展を希望しますか？
- E 「資料閲覧室」や「地域インデックス」の充実度は？
- もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。
1. 資料閲覧室は誰でも自由に使えますが、使ってみましたか？
  2. 博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？
  3. 今年の6月から古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）ができるようになりましたが、ご存じですか？ 利用したことのある方はご感想を。
  4. 同じく今年6月から、2か月に一度「古文書相談日」が設けられましたが、ご存じですか？ もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？
  5. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？使ったことのある方はその使い易さはどうでしたか？ 閲覧方法や印刷の手続・料金などにご意見がありますか？
- 山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ。
6. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？ 発信してほしい地域情報はありますか？
  7. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？
- F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめました？
1. ショップはどんな感じですか？ 目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫などもありましたか？ レジの対応はいかがでしょう？
  2. 買ったもの、買いたいものはありましたか？ ちなみに今年、オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンが加わりました。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？
  3. レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してどう思いますか？ 今後、レストランで出してほしいメニューはありますか？
  4. レストランのメニューを山梨県立博物館のホームページで紹介していますが、ご存じですか？
  5. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。
  6. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。散歩をしたくなりましたか？ 植物の説明板や開花情報などは、役立ちましたか？ 毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？
- G イベントや普及プログラムに興味がありますか？
1. 館で行なわれているイベントプログラムは、参加しやすいですか？ 参加した方、ご意見を。逆に、イベントに参加したいのにできなかった方、できない理由って何でしょう？
  2. こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？
  3. 博物館と県内市町村を結ぶための「歴史ウォークツアー」（ガイドブックをショップで販売中です）に興味がありますか？ 参加した方、ご感想を。
- H 館で働く人たちと交流できましたか？

1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？ スタッフや学芸員に話しかけたり、質問したりしやすいですか？ 逆に、館のスタッフのほうから話しかけてもらいましたか？
2. 説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞きましたか？
3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいます。あなたもなってみたいですか？ どうしたらなれるか知っていますか？
4. 展示交流員の制服が今年の4月から変わりました（ピンクからグレーに）。また、協力員の制服（赤色のスタジャン）も新しくできました。ご存じでしたか？ 話しかけやすくなりましたか？

I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？

1. 県立博物館のホームページを見たことがありますか？ 内容やデザイン、更新状況をどう思いますか？ こんな情報をのせてほしい、これはのせておくべきだ（！）という要望はありますか？
2. 今日、博物館に来る前にどのような広報をご覧になりましたか？ ○を付けていただけますか？（複数回答可）
  - ・ホームページ
  - ・かいじあむ通信「交い」
  - ・ちらし
  - ・新聞・テレビ

J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。

1. 館の愛称は、「かいじあむ」。知っていましたか？ 使っていますか？ 「かいじあむ」のマークやキャッチコピーに親しみを感じていますか？
2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？ 企画展によって一概にはいええないにせよ、高い、あるいは安いと思いますか？
3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポートの存在をご存じでしたか？ 値段は安い、あるいは高いと思いますか？
4. 昨年の通信簿ツアーの結果を踏まえて、夏休み期間中（8月9日～24日）は午後6時まで開館時間を延長しています。今後も開館時間の延長をするとしたら、いつごろ（期間）、そして何時までを希望しますか？（回答例：お盆期間中に午後6時までを希望 など）

■平成20年4月から次のとおり

- 開館時間 9時30分から→9時から（30分早く開館しました）
- 休館日 原則として毎週月曜日→原則として毎週火曜日
- 夏休み期間中（8月9日から同24日まで）の開館時間  
午後5時→午後6時（1時間延長しています）

5. 以前に来館したことがある方、博物館に変化がありましたか？ 以前よりよくなっていると思ったところがありますか？
6. 県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？
7. もう一度、この館に来たいですか？ 今日はワクワクしましたか？ それはなぜでしょう？ 今度、来るとしたら誰といっしょに来たいですか？

## (2) 通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果抜粋

通信簿ツアーの結果については、その全文を県立博物館ホームページ上で公開し、PDFファイル形式でダウンロードをすることが可能である。URLは次のとおり。

[http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3nd\\_event\\_waiwai\\_080810.htm](http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3nd_event_waiwai_080810.htm)

なお、評価結果全文はA4版で60頁以上にも及ぶものであり、紙幅の都合上、ここでは評価結果の一部を抜粋という形で掲載することとする。

回答番号	山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？	評価者No.
A01	到着までの道のりで、迷った場所がありますか？ 順調に着きましたか？	
A01	順調、カーナビセット。	23
A01	順調に到着。初めての人には入口が分かりにくいと思います。通り過ぎてしまうと思います。	14
A02	最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、博物館の案内看板は役立ちましたか？ バスの便はいかがでしょうか？	
A02	駅前にボランティアの方々がいらして、親切に教えていただき、とても助かりました。	9
A02	初めて来たときは、駅のバス停がどこにあるか迷った。看板はどこにあるか、見てないです……。便はあまりよくないけど、仕方ない気もします。行きは調べてくれるので平気ですが、帰りは少し困りました。	33
B	いよいよ館内に入ります。	
B01	チケット売り場はすぐにわかりましたか？ 受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？	
B01	声をかけてもらったので、すぐにわかった。	33
B01	チケット売り場が分かりにくい。入り口の正面にあると思う。対応は良かった。	74
B01	門から建物までが遠くてエントランスがわかりにくい。	82

B02	案内パンフレットは今年の4月に新しい内容に変わりましたが、使いやすいですか？ 以前と比べてどうでしょう？	
B02	使いやすい。	1
B02	変わったことに気づけなかった。写真が多く、見やすいと思う。	33
B03	入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐわかりましたか？	
B03	よくわかりました。	57
B03	来館していても気づいていない無料スペースがあるのもったいないと思いますが、「資料を読んだり、地域情報を集めたり……、無料ゾーンでできること、こんなにいっぱいありますよ」ということは、館にきていない人に向けても、もっとアピールしたほうがいいのかと思います。	36
B04	途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐわかりましたか？	
B04	わかった。出口に書いてあるし、交流員の人が改札のところで一言言ってくれた。	60
B04	3回目の来館で知った。一言いってもらいたい。	31
B05	館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？	
B05	以前に比べて案内表示がふえて分かりやすくなったと思う。	40
B05	トイレの場所がわかりづらかった。	27
B05	企画展と常設展、入り口の案内が迷った。	47
B05	順路という矢印があっても、その先が二つに分かれていて、どちらに行くのか迷った。	33
B06	エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？	
B06	・次回企画展とイベントの案内：△？ →チケットを買って、展示の方へ進むと見落とす……。 ・新聞スクラップ →研究の情報が大変興味を引く！ ・エントランス中庭（石舞台）の説明案内：ないのでは……！？ ・館内の禁止事項の案内：○！（気づきました） ※開館時間延長のお知らせ → 水色の地に白文字では注目を引きづらい。 「富士山が実は見える！」というスポット案内、レストラン（メニュー）などの案内はわかりづらい……かなと感じた。	32
B07	広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」という感想や、「こう利用したら？」という提案がありますか？	
B07	広いのもっと色々活用してほしいと思います。イベント他、以前コンサートをやったと聞きました。	75
B07	エントランス・ホールに、恒常的なサービスコーナー（常設展の楽しみ方や企画展の楽しみ方を紹介するクイズやゲーム、ミニ展示などを実施する）を設けたらどうでしょう。常設や企画への足がかりにもなるし、何よりいろいろなプレゼントがもらえるコーナーとして、また、将来的には託児コーナーも設けるなどしてより広い層の来館者サービスを試みる場にしたいと思います。また、このエリア用の間仕切りを10枚くらい用意し、状況に応じて可変的な使い方ができるといいですね。	84
B07	団体の受け入れ場所でもあるとのことなので、空きスペースが必要なのだと思いますが、土日など仮設のワークショップやクイズラリー、演奏などのパフォーマンスがあってもいいかも。今日は、背景はまいちでしたが、信玄と記念写真を撮るといふコーナーが、なかなかいい感じでした。	36
B07	県内各地の特産物などを売る、「市」のようなものがあったら楽しいと思う。来れば必ず、簡単な工作作品が作れたりすれば、子供連れも来やすいのではないかと思います。	13
B07	市民団体に貸し出しをして、地域の伝統を継承する活動を紹介してはどうか？	28
B07	写真撮影の可能な資料を置くなどすれば、よろこぶ人がいるかもしれない。	31
B07	以前、ソファやビデオが置いてあったのがよかった。何もないと空間がもたないと思う。	59
C	館内は快適ですか？	
C01	資料保存のために空調を寒くしているのですが、館内の温度については快適ですか？ 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？	
C01	寒い。HPなどで空調〇℃になっているため、寒さ対策などの準備をするように表示したらいいと思う。	60
C01	今、どこの博物館・美術館に行っても寒いです。自分で上着を1枚持参するようにしています。寒い方にストールやブランケットを貸し出してはどうでしょうか。生涯学習室で講座を聞いていましたが、かなり寒く、調整をして欲しかったです。	24
C01	高齢者や障害者など希望者に毛布、タオルなどの貸し出しをしていただけたらありがたいと思いました。	51
C01	長時間滞在していると、寒くなってきます。貸し出し用のブランケットなんかがあると助かります。	40
C01	展示室内で映像などを見ていると冷気が蓄積される感じがします。資料保存のため、という掲示があったので納得ですが、ゆっくり見たい映像のところに膝掛けとかカーブとかが置かれていてもいいかもしれません。ロッカーに上着を入れてしまっただけ、しまったと思うこともあるので、「夏場は展示室が寒いのでご注意ください」という案内掲示がロッカールームにあっても？	36
C02	就学前の小さな子どもを連れてきても大丈夫そうですか？ 小さな子が楽しめるようなところやサービスはありましたか？	
C02	はい。	83
C02	資料閲覧室前の幼児コーナーはともいいと思います。このコーナーを拡大すれば、託児コーナーにもなりえると思います。ここで、定期的な本の読み聞かせや、紙芝居などしていただけたらうれしいです。	84
C02	イスも背もたれもあるものがあれば安心して座らせられると思う。段差や階段がないのは安心。子供だけで遊んでいられる部屋があれば、親も安心して展示が見ていられるのでは。	13
C02	小さな子供だけでなく高校生、大学生を楽しませるものが必要。	15
C03	視覚障害者向けサービスは充実していると思いますか？ 手話のできるスタッフがいることに気づきましたか？	
C03	バリアフリーになっていて安全だと思う。	31
C04	外国人に対応したサービスは充分だと思いますか？	
C04	いいと思います。	80
C04	音声案内？の袋の貸し出しがあるのがよかった。	58
C05	館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？ 足りないとしたら、どこに置いてほしいですか？	
C05	ありすぎてよい。高齢者の来館者数が多いため。	65
C05	タッチパネルの前に椅子がほしい。画面を見ると長いので、途中でやめてしまった。	70
C06	今年の4月から、館内に飲料の自動販売機が登場しました。どこに置かれているか気づきましたか？ 館内のどこでなら、飲み物を飲んで良いか知っていますか？	

C06	自販機は看板がでていてわかった。どこで飲んでよいのかはわからなかった。自販機のところでも知らせてほしい。	58
C06	受付にきた。場所はあそこでOK。喫煙所が必要でないか。	65
D	さて、展示室です。展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？ *展示室は、「常設展示（鑑賞学習型展示と体験型展示）」(X)と「企画展示」(Y)とに分かれています。 お好きなほうから、スタートしてください。	
D	今回初めて来ました。ゆっくり体験できるので良いと思います。ただもう少し係員の方に質問がしやすいと思います。20年近く山梨にいますが、甲府の空襲についてあまり知らなかったので授業が聞けて良かったと思います。	6
D	何よりも、交流員を含め、もう少し、展示案内する人を増やしてほしいと思います。明らかに、展示案内があると興味を深める人が多いからです。ここを手厚くすることがリピーターを増やし、口コミで広がることにつながります。一刻も早い対応が必要だと思います。現状では、常設展示室内での案内人が少ない感じがします。ボランティアさんで補強するのもいいかもしれませんが、また、エントランスからずーっと案内するスタイルもあるようですが、この案内も一部の交流員さんだけでなく、ほかの交流員さんにもチャンスを与えてあげてほしいと思います。	84
DX	常設展示について	
DX01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。 どんなふうを楽しみましたか？それとも通り過ぎてしまいましたか？	
DX01	楽しい。もう少し大きければもっといい。山や川、主要な建物の名前を入れてもいいと思った。	13
DX02	常設展はどのテーマから見てもいいように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも迷ってしまったと感じたとしたら、どの辺りでそれを感じましたか？ 迷ったと感じないための工夫に、何か提案がありますか？	
DX02	最初に「自由に見ていい」ということが書いてあるため、「とにかく順路にしたがわなきゃ」という気持ちをもたずに見られて、それである程度は番号順に進むことができるので、不満はあまり感じませんでした。 最後の、入り方がわかりにくかったところも前よりわかりやすくなったと思います。	36
DX02	自由導線であるのは、博物館の1つのうりでもあるので良いと思う。ただ、見落としがあつてはもったいないので各テーマごと「ここだけは!!」というような、展示の重要ポイントだけは分かるようになってほしいと感じる。	40
DX02	(迷った場所は)3、4(構造上不可能であると思う)。	65
DX02	番号順に見学しようとしたら、6、7、8あたりで迷った。しかし順路の矢印があるので、何となくわかるようになった。	60
DX02	高瀬舟のあたりでとまどった。地下の俵は魅力的な展示だと思うので、それに気づけば俵のほうに向かうと思う。一言「一歩前へ」などと書かれた案内があれば、ガラスの先に進むと思う。	31
DX02	体験型から進むと、奥にある展示部分が鑑賞型展示の続きということがわかりにくく、ある程度順番に見たい人は混乱するかもしれません(掲示があったとしたら、ごめんなさい。気づきませんでした)。いろいろさわって楽しんだあとに、その楽しい気分そのまま教室に入って戦時中の映像を体験するのと、ある程度、古代から歴史を追ってきて20世紀の大きな出来事を振り返るのとは、意味合いや印象が違ってくるように感じました(体験型の楽しい雰囲気や教室体験をしたほうが、逆にインパクトが大きいとも言えます)。	36
DX03	向かって左手の展示室には、江戸時代の村や城下町のジオラマ展示があります。 人形たちがさまざまな情景を演じていますが、その魅力は十分に伝わってきましたか？	
DX03	とても楽しい。かわい。時期ごとに人形一人ずつ選んで、解説してくれればいとおもう。	13
DX03	もっとタッチパネルと連動しているということを説明すると、より楽しめるはず!	31
DX04	展示品のキャプションや解説類の、文字の読みやすさや内容のわかりやすさはいかがでしょう？ わからない解説があったとしたら、どれか具体的に教えてください。	
DX04	展示の説明はふりがながもう少しあってもいいのでは。小4の子供にはちょっと読みにくいかも。	21
DX05	室内には、ジオラマの下の引き出し式展示や、タッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、気づきましたか？利用しやすかったですか？ご感想を。	
DX05	他の博物館にはないので、おもしろいと思う。	60
DX05	操作方法がわからないと、すぐにスタッフの方が駆け寄ってくれ、操作の説明をしてくれた。各ブースに担当のスタッフがいてくれるのは有り難い。	63
DX05	ジオラマの中に「引き出しを開けてね」的な吹き出しの指示があって、可愛かったです。引き出し展示の問題は、開けるだけで満足してしまいがち、ということでしょうか。解説員の方の活動が大切だと思いました。	36
DX05	引き出し展示は以前に比べて、ずいぶん目がいくようになった。案内表示の効果だと思う。	40
DX06	衛星写真「山梨の舞台」の奥にある賑やかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナーです。体験の仕方はわかりましたか？自分から楽しめましたか？ 「このコーナーでこんな体験をしたい。こんな工夫をしてほしい」という希望やおすめはありますか？	
DX06	楽しい。年配の人にも遊びやすいものがあればいい。畳の部屋でごろ寝をしている人がいて、くつろいでいる感じがよかった。障害者のグループが長く畳のところで遊んでいた。ここでボランティアさんが、お手玉の実演をしてくれたり、風車を一緒に作ってくれたりしたらいいと思う。ボランティアさんのやりがいにもつながると思う。	13
DX06	民具のところや重さのところなど、ちょっと触れておしまい、という感じのところもあるので、ここも交流員さんなど、きっかけをつくって教えてくれる人の存在が大切だと思いました。 寺子屋スペースは座って作業ができるので、時間を決めて、折り紙や風呂敷つみなどの簡単なワークショップがあってもいいかもと思います(もうあるのかもしれませんが)。絵巻が魅力的でした。	36
DX06	「学びの現場」の手前に、興味を引きそうなオモチャがあるため、奥まで行かずに終わってしまうかもしれない。またコーナーがしきられているため、わかりづらいのかもしれない。石川県立博物館にも体験コーナーがあるが、部屋全体を見渡せるようになっていて使いやすいかも。	31
DX07	体験展示のコーナーだけは、実は「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？ 記念写真をとってみたい撮影スポットがありましたか？	
DX07	さらに、写真撮影が可能であることをアピールする必要がありますし、また、着せ替えコーナーでの写真撮影の楽しさをもっとアピールする必要があると思います。たとえば、定期的に、館員がサービスタイムを作り、無料で撮影してあげるとか。	84
DX07	知りませんでした。博物館は基本的に撮影禁止だと思っていました。	64
DX07	常設展の写真がとれず、残念だった。レポートを作成するのに写真がつけられない。先生はわかって宿題を出しているのかわからない。先生の教育をするためにも、先生に博物館で研修させるようにしたらどうか。	37
DX08	展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？ 展示クイズ等は楽しめましたか？	
DX08	クイズは探すのが難しかったが、ヒントに誘導されてあちこち見たり、引き出したり、画面をさわるように作られており、楽しめた。	33

DX08	クイズやゲームなど来館者に手渡せるグッズをさらに増やす必要があると思います。もって帰っていただければ、それが宣伝になるようなものが。総じて、館員が本気でお客さんにまたきてほしいと思っっている感じが伝わってきません。笑。	84
DX09	展示を見ながら、誰かと何か話したいと思った方、どんなことを話したいと思いましたか？ お話ししてもいい雰囲気でしたか？	
DX09	会話をしながら展示を楽しんでいる方が多く、それがこの博物館の魅力だと思った。	63
DX10	ところで、常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行なっていますが、知っていましたか？ 常設展のおすすめ資料を紹介したパネルに気づきましたか？	
DX10	掲示を見ました。マークをつけるのはいいアイデアだと思います。おすすめ資料の掲示は、あとで見ましたが、気づきにくいかも。	36
DX11	展示は、年代を問わず誰でも楽しめるものだと思いますか？ 県外から来た方も楽しめましたか？ どんなところが、その楽しさのポイントだと思いますか？	
DX11	私は山梨で育ちましたが、小4の息子は山梨のことが少しわかったと喜んでいました。水田のことを調べて三重県と比べてみるそうです。	20
DX11	家に帰って、じっくり学習できる資料が、その展示にあり(?)自由に持ち帰られるといいです。	69
DX12	特に興味や関心をもった展示はどれでしたか？ その理由や感想を教えてください。	
DX12	400体あるフィギュア展示をもっともっとアピールする必要があると思います。というか、この400体にかけるくらいの意気込みがほしいと思います。重要なウリになる400体です。常設展示室内で流れているフィギュア関係の映像を、エントランスのモニターなどで流せないものでしょうか？ そうすれば、常設の魅力がぼんと伝わり、これみてみたいという客が増えると思います。	84
DX12	特に興味を持った展示は、武田関係の展示です。理由は、僕は戦国時代が好きだからです。分かりやすく解説してあって良かったです。	44
DX12	近世侠客有名鑑が面白い。気になること…治水に興味を持ちました。映画「大菩薩峠」の3本目のラストでは、主人公が洪水で家ごと流されてしまいます。1 洪水と治水をテーマにした展覧会を企画したら、対照的で面白いと思います。2 博徒の企画展も面白そうです。	50
D-Y	企画展示について (平成20年9月1日まで、「文化財をまもる しらべる つたえる」展を開催中です。)	
DY01	今回の企画展は面白かったですか？ 具体的にどんなところが？ 感想を聞かせてください。	
DY01	面白かった。文化財の修理など以前テレビで見たことがあったが、実際に使用している道具や作業の流れ、たくさんの方が博物館を支えていることを改めて知ることが出来て良かった。また、学芸員の説明はわかりやすく、企画展を数倍楽しく見られました。	24
DY01	企画の趣旨は大変素晴らしいと思いますが、実際に目標(があったとして)到達したのでしょうか。とても有意義な企画なので、工夫次第で夏の目玉企画にできるかもしれないと思います。例えば、解説パネルはキャラクターや話し言葉を取り入れてあるのに、文章自体は少し難しく、文字も小さい。「誰」が対象なのかを明確にすると、意味が大きくなると思います。しっかりとした内容の大人用と、対象年齢をきちんと想定してつくった子ども用のようにするとおもしろいのではないのでしょうか。	43
DY02	キャプションや解説パネルはわかりやすかったですか？ わかりにくい所があったとすると、具体的にどんな部分でしょう？	
DY02	わかりやすかった。ただ、子どもにも伝わるかどうかはわからないが、親子で鑑賞していて、母親が解説の説明をしていたので、そういった交流が生まれるのならそのままでもいいのではないかと思った。	63
DY02	題材からしてやむを得ないと思うのですが、技術的な言葉が入った文章は、小さい子には少し難しく感じられます。そこに子ども向けイラストが入っているところが、少し中途半端かも。夏休みだけでも、思い切って、大人向け、子ども向けと全く言語を変えた解説をしてしまってもいいように感じました。	36
DY03	今回の企画展は誰でも楽しめるものだと思いますか？	
DY03	説明がないと難しい。「こんな仕事もあるよ」という職場体験的な展示だとよかった。	59
DY03	世代を通じてつかみづらいかも……。	32
DY04	以前の企画展も見ただけの方、企画展のタイプや内容に応じて、展示の仕方や作品の見せ方、子ども向けのパンフレットなどに工夫がなされていると思いますか？	
DY04	はい。難しい内容なので、キャラクターやイラストが親しみやすくよかったです。	58
DY04	子供向けの冊子は良いと思います。	75
E	「資料閲覧室」や「地域インデックス」の充実度は？	
	■もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。	
E01	資料閲覧室は誰でも自由に使えますが、使ってみましたか？	
E01	使ってみた。県立図書館のように資料はそろっていないが、歴史に関係した本がたくさん置いてあり、使いやすかった。今日は時間の関係で少ししか調べられなかったが、また利用するために行きたいと思う。	60
E01	今回初めて利用しましたが、思っていたよりも資料数が多く驚きました。ただ、少し入りにくい雰囲気だったような気がします。	61
E02	博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？	
E02	即日閲覧可能な点がよいと思います。	64
E03	今年の6月から古文書の即日閲覧(申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることが出来るサービス)ができるようになりましたが、ご存じですか？利用したことのある方はご感想を。	
E03	今回初めて聞きました。が、すごくいいサービスだと思います。来て、展示を見て、見たいと思った人は、日を改めていいわけです。	36
E04	同じく今年6月から、2か月に一度「古文書相談日」が設けられましたが、ご存じですか？ もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？	
E04	「古文書相談日」は面白いと思う。もっと宣伝して依頼者が増えれば、すごいお宝が見つかるかも!?	40
	■山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ。	
E06	博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？ 発信してほしい地域情報はありますか？	
E06	ただチラシが置いてあるだけで、情報を発信しているとはいえない。無料ゾーンだからこそ、スタッフがいないといけない場所だと思う。	59

E 07	常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたくらいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？	
E 07	展示してあるものの場所へ行ってみたい時の案内があればいい。おすすめ観光コースを紹介してほしい。	27
E 07	「地域インデックス」の設置はとても、興味深いものですがもっと、工夫してください。常設展、企画展がきっかけで県内のその場所に訪れてみたいと思うとき、山梨県全体が博物館の一部になるような構想に期待しています。	69
F	ショップやレストラン、お庭散策も楽しめました？	
F 01	ショップはどんな感じですか？ 目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫などもありましたか？ レジの対応はいかがでしょう？	
F 01	企画展にまつわるものが大きく目立っていてよかった。	58
F 02	買ったもの、買いたいものはありましたか？ ちなみに今年、オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコスター、マグネット、ボールペンが加わりました。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？	
F 02	博物館オリジナル商品があるのは嬉しい。おしゃれなオリジナルバッグがあると良い。フィギュアのグッズも欲しい。	59
F 02	富嶽三十六景のシリーズを増やしてほしい。フィギュアのグッズがほしい。どこにでもあるものでなくオリジナルの商品がいい。	13
F 03	レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してどう思いますか？ 今後、レストランで出してほしいメニューはありますか？	
F 03	レストランの雰囲気はとても良いです。冷たいものも、ケーキetc.もおいしく、清潔で子供も喜びました（前回）	57
F 03	室内で食しましたが、カーテンがあり、せつかくの景色がよく見えません。室内もせまく感じますし、レストラン自体が安っぽくみえてしまいます。カーテンの色が少しグレーっぽく見えるので、開けていてもいいのではないかと思います。大きなガラス窓なので、室内にいてもテラスと同じくらいの開放感が味わえると思います。音楽もウインダムヒルとか洋風にして、この環境なら工夫すればおしゃれなデートコースにもなるのでは。	19
F 03	レストランの内装について、緑のタイルが良くないです（トイレみたいです）。素晴らしい建築の中の一つ良い位置です。もっと工夫できます！ お手洗いの表示も工夫できると思います（ついたてを立てるとか）。少し臭いがあるようなので、改善すると良いと思います。ソフトクリームのはり（外にあるもの）は即刻撤去すべきです（せつかくエントランスで、風鈴など工夫しているのですから）。メニューにワインはないのでしょうか。「br」をショップに置いてある点、素晴らしいです。連動しては？ メニューももっと工夫できます。カーテンを閉じているのももったいない。	43
F 04	レストランのメニューを山梨県立博物館のホームページで紹介していますが、ご存じですか？	
F 04	気づきませんでした。でも、心づもりもできるし、アレルギーがあるとかの理由で事前に確認したい人もいると思うので、あるといいと思います。	36
F 05	オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。	
F 05	注文方法に少し戸惑ってしまいました。日影だったので涼しく気持ちよかったです。	61
F 06	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。散歩をしたくなりましたか？ 植物の説明板や開花情報などは、役立ちましたか？ 毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？	
F 06	木が大きくなるのが楽しみ。ボランティアさんの見所ガイドに参加してみたい。	13
F 06	エントランスまでの「マダケ」にかけられた風鈴は素敵です。季節感を味わえるのは大切だと思います。メインエントランスからしか庭に出られないのは残念です。特に駐車場わきを通るときに興ざめしてしまいました。展示室から出られるようにできないでしょうか。お庭は広いのですが、「憩い」の雰囲気とか「集い」とか「遊び」とか、来館者が楽しめたり、くつろげたりできると良いと感じました。	43
G	イベントや普及プログラムに興味がありますか？	
G 01	館で行なわれているイベントプログラムは、参加しやすいですか？ 参加した方、ご意見を。逆に、イベントに参加したいのにできなかった方、できない理由って何でしょう？	
G 01	いろいろなイベントがあり楽しみ。ホームページ以外にも広報をしたほうがいい。	13
G 01	来るのが大変。	33
G 02	こんなプログラムがあれば参加したい、というのがありますか？	
G 02	昨年、来館した時に竹の水でつぼうを作るイベントがありました。（時間がなくて不参加）工作などできるイベントは子どもが喜ぶと思います。	76
G 03	博物館と県内市町村を結ぶための「歴史ウォークツアー」（ガイドブックをショップで販売中です）に興味がありますか？ 参加した方、ご感想を。	
G 03	博物館で学習したあと、ウォークツアーをすると勉強になるので、参加してよかった。	59
G 03	「地域インデックス」の近くにおいてほしい。ガイドブックのコーナーが分かりにくいです。	69
G 03	ガイドブックに所用時間をつけると、使い勝手よくなると思う。	31
H	館で働く人々と交流できましたか？	
H 01	館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？ スタッフや学芸員に話しかけたり、質問したりしやすいですか？ 逆に、館のスタッフのほうから話しかけてもらいましたか？	
H 01	上手です。常設展や企画展ではいろいろな説明を聞くことができてよかった。しかし、体験展示のところでも解説者がほしかった。ゲームのやり方がわからない。	59
H 01	気軽に話しかけてもらえた。クイズの答えをまちがったところも、説明してもらい、よくわかった。	33
H 01	交流員はやさしく親切な人ばかり。学芸員は私服やスーツでわかりづらい。学芸員という札をいつでも外に出る時は付けてほしい。気軽に「お尋ね下さい」と書いてほしい。外に出る限りは、わざわざ来てくれるお客さんの疑問を解決させて帰らせるべき。	65
H 02	説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？	
H 02	聞けた。ためにはなったが、何度も足を止められたことも以前にあって、少し困ったこともある。でも基本的には嬉しいし、助かります。	33
H 03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいます。あなたもなってみたくらいですか？ どうしたらなれるか知っていますか？	
H 03	すでにされているとは思いますが、ボランティアさんも一緒に博物館をつくっているのだということ、よりいっそうアピールされたほうが良いように思いました。ただ職員がいっぱいる博物館だ、とあっていらっしやる来館者もいるように感じられたので。	36
H 04	展示交流員の制服が今年の4月から変わりました（ピンクからグレーに）。また、協力員の制服（赤色のスタジャン）も新しくできました。ご存じでしたか？ 話しかけやすくなりましたか？	

H04	制服が変化しても誰が展示交流員で誰がボランティアスタッフなのかわかりづらい。	60
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？	
I 01	県立博物館のホームページを見たことがありますか？ 内容やデザイン、更新状況をどう思いますか？ こんな情報をのせてほしい、これはのせておくべきだ（！）という要望はありますか？	
I 01	見ましたが、一般の博物館のホームページといった感じを受けました。博物館に来るための最低限の情報は得ることはできました。	64
I 01	見たことがあります。イベントの具体的な内容と、学芸員さんたちの現在の研究や次回の展覧会の内容など。子供にも楽しい内容にしてほしい。	13
J	最後に、これもぜひ聞きしたいところです。	
J 01	館の愛称は、「かいじあむ」。知っていましたか？ 使っていますか？ 「かいじあむ」のマークやキャッチコピーに親しみを感じていますか？	
J 01	最初どのマークかわからなかったけれど、かわいらしいマークだと思う。	31
J 01	知りません。意味も？ 必要ですか？ 「山梨県立博物館」で充分では？	19
J 02	入館料（常設展、企画展）は適当ですか？ 企画展によって一概にはいえないうえ、高い、あるいは安いと思いますか？	
J 02	あまり高くなく、訪れやすい値段だと感じる。東京の博物館は、料金が高い企画展が多くて行きづらいが、ここはそんなことはない。	60
J 02	常設、企画あわせて、600-700円だと入りやすい。	28
J 03	一年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポートの存在をご存じでしたか？ 値段は安い、あるいは高いと思いますか？	
J 03	知っている。もう少し安いと購入しやすくなる。	68
J 03	来ても年間一度くらいなので、どうでしょうか？ わかりません。	57
J 04	昨年の通信簿ツアーの結果を踏まえて、夏休み期間中（8月9日～24日）は午後6時まで開館時間を延長しています。 今後も開館時間の延長をしたら、いつごろ（期間）、そして何時までを希望しますか？	
J 04	休みの間の時間延長は良い。（ドライブ途中寄ってみようかなと思う）	74
J 04	ただ延長するのではなく、延ばした時間がより楽しいものになる様な企画がほしい。	13
J 04	ゴールデンウィーク中に、午後6時くらいまで。	64
J 04	月曜日が開館日となって嬉しい。	59
J 05	以前に来館したことがある方、博物館に変化がありましたか？ 以前よりよくなっていると思ったところがありますか？	
J 05	ありました。インフォメーションがすごく増えていましたし、展示室にもわかりにくいところに工夫がしてあって（縄文の音を聴くところとか、入り口のサインとか）、博物館が変化しているということがわかりました。	36
J 05	常設展の順路がスムーズになったと思う。	59
J 05	以前より、館内に来ている人が少ない気がする。	75
J 06	県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いませんか？	
J 06	歴史散策は楽しそうな感じだと思った。	28
J 07	もう一度、この館に来たいですか？ 今日はワクワクしましたか？ それはなぜでしょう？ 今度、来るとしたら誰といっしょに来たいですか？	
J 07	今回4度目の入館でしたが、来るたびに新しい発見があり、まだまだ見飽きません。何度も行きたくなる博物館だと思います。	61
J 07	はい。細かいしかけについて知ることができたので楽しめた。家族や友人を連れてきたいです。	58
K	その他、全般について	
K	全体的に解り易く、難解でもなく、全年代にわたり楽しめる。平日にも利用者があるといいのですが、子どもたちにはスーパーのプレイルームに行くより、こんな公共施設を利用するように進めたい。時間を沢山使って、ゆっくり見学しないと美術館や博物館の楽しみは半減してしまうもの。	77
K	何も知らず入館しましたが、「がんばっているなこの博物館」と思いました。ガンバレ山梨県！！	48
K	もっとエンターテインメントが欲しい。	59

※「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。

## ■評価結果の分析

通信簿ツアーも平成20年度で3年目となり、県立博物館が実施してきた諸サービスがある程度定着化しつつあることが読み解ける結果となった。それは例えば「インフォメーションがすごく増えていましたし、展示室にもわかりにくいところに工夫がしてあって、博物館が変化しているということがわかりました（J05）」という回答に代表される。

ただ、平成20年度から実施した新規サービスについては、更なる周知の必要と改善の余地が存在することが明らかとなった。古文書相談日の開始については「『古文書相談日』は面白いと思う。もっと宣伝して依頼者が増えれば、すごいお宝が見つかるかも!?（E04）」とあるように、事業広報の拡充が求められている。また、お盆期間の開館時間延長については「（開館時間は）ただ延長するのではなく、延ばした時間がより楽しいものになる様な企画がほしい（J04）」とあるように、単なる時間延長にとどまらずにもっと工夫を加えたサービスの実施が必要とされていることが分かり、これらの改善については今後の課題となった。

改善については、平成19年度で明らかにされた交流型博物館という強みを前面に活かした事業展開、そ

のブランド化の推進の重要性が再確認された。具体的には「来館しても気づいていない無料スペースがあるともったいないと思います、『資料を読んだり、地域情報を集めたり…、無料ゾーンでできること、こんなにいっぱいありますよ』ということは、館にきていない人に向けても、もっとアピールしたほうがいいかと思います (B03)」、「恒常的なサービスコーナーを設けたらどうでしょう」、「将来的には託児コーナーも設けるなどしてより広い層の来館者サービスを試みる場にしたいと思っています。また、このエリア用の間仕切りを10枚くらい用意し、状況に応じて可変的な使い方ができるといいですね」、「『市』のようなものがあったら楽しいと思う」、「市民団体に貸し出しをして、地域の伝統を継承する活動を紹介してはどうか」、「写真撮影の可能な資料を置くなどすれば、よろこぶ人がいるかもしれない」(以上、B07)といった声に代表されるように、エントランスをはじめとした無料ゾーンの活用策が提示された。無料ゾーンを積極的に活用することで、利用者と博物館との敷居がより低いものとなり、「交流」という博物館の使命実現に向けての具体的方策であることが指摘されているのである。これまで無料ゾーンの活用については十分に考えられてこなかったために、今後、本格的な活用策について検討する必要がある。

#### ■「山梨県立博物館の通信簿」をもとにした、館内改善ワークショップ

平成20年10月19日(日)に、「『山梨県立博物館の通信簿』をもとにした、館内改善ワークショップ」を実施した。このイベントは利用者とともに、問題点をどのように改善できるか具体的な案をだし、試してみるというワークショップである。当日は53名に参加していただいた。

これまで実施した通信簿ツアーの結果から分かったことは、利用者の間では展示の見どころをもっと分かりやすく紹介して欲しいということ、また、一工夫した広報物の配布や利用者が参加できるコーナーを求めるといった要望があることである。

以上の諸点を踏まえて、NPOと協働して次のとおり様々な「お土産グッズ」を作成・配布し、また利用者参加型のコーナーを仮設的に設けることとした。

- ・当日に実施中の企画展である「甲州食べもの紀行」展(以下「企画展」)がより楽しめるミニクイズブックの作成・配布。
- ・企画展に展示した資料である「甲斐名所寿古六」を簡易印刷し、その裏面に次回実施予定の「信玄堤」展を告知したいわば資料複製型の広報を作成・配布。
- ・企画展の展示資料である武田信玄御膳のペーパークラフトの作成、その工作大会をエントランスで実施。
- ・企画展にちなんで「山梨郷土食人気ランキングコーナー」という利用者が自主的に好きな郷土食を投票できるコーナーをエントランスに設け、参加性を高めた。

利用者の視点からの博物館評価を実施し、改善するという取り組みは県立博物館独自のものであり、今後も順次改良を加えながら実施することとしたい。



平成20年8月10日(日)に実施した通信簿ツアーの様子。



通信簿ツアー終了後、参加者有志とともに活発な意見交換会をしているところ。



## 第Ⅱ編 事業・諸活動

### 第1章 運営・ミュージアムサービス

#### (1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査・研究」(第Ⅱ編第2章参照。以下、章のみ)
- ・「資料の収集と保存」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流活動」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。16頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連しあいながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図る(第7章)こととする。

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時にネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

#### (2) 平成20年度利用者状況一覧

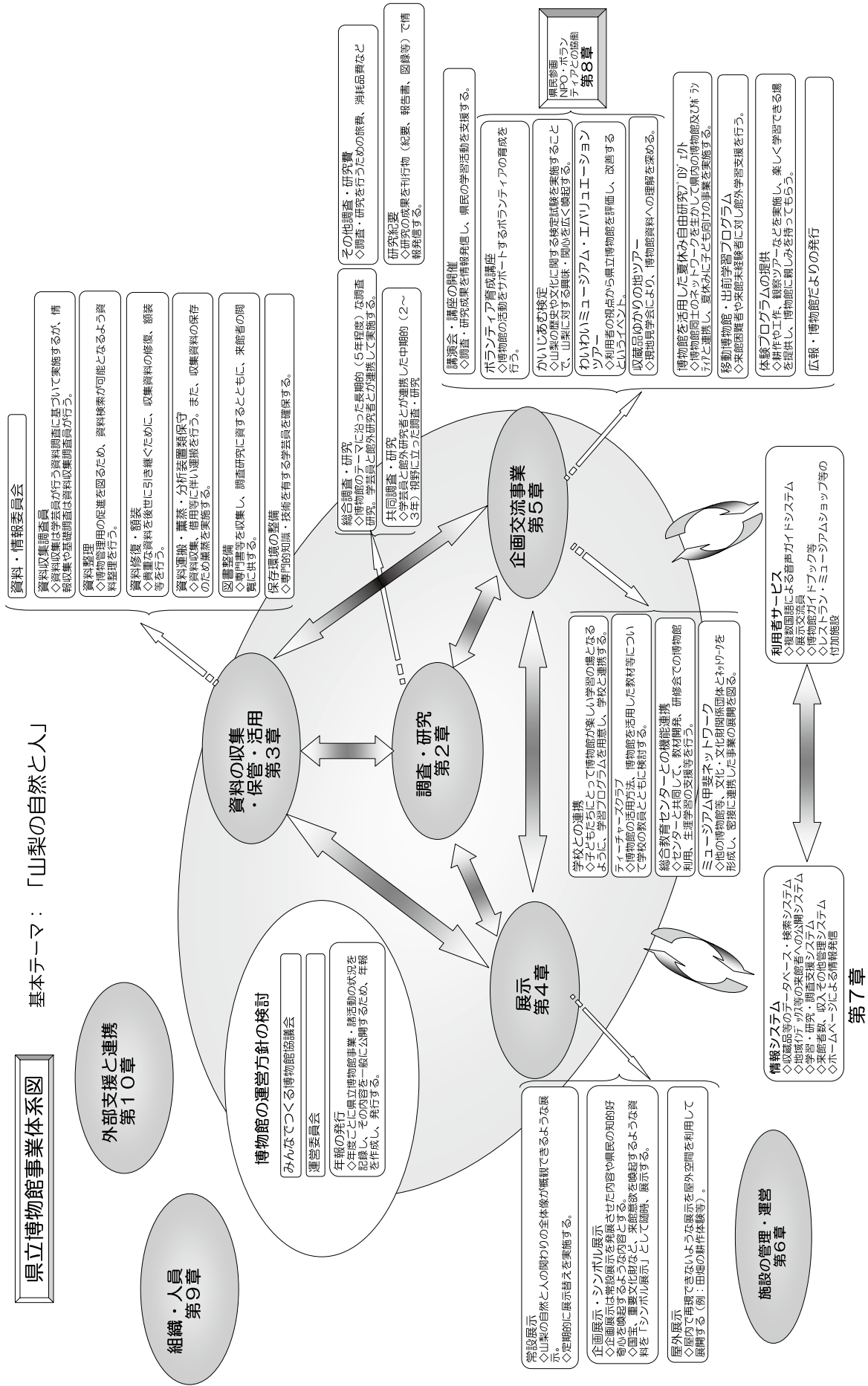
県立博物館の事業・諸活動は調査・研究、資料の収集・保管・活用、展示、企画交流活動、施設整備・管理、情報の発信と公開、県民参画事業など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが17頁の「県立博物館利用状況一覧」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していくものである。

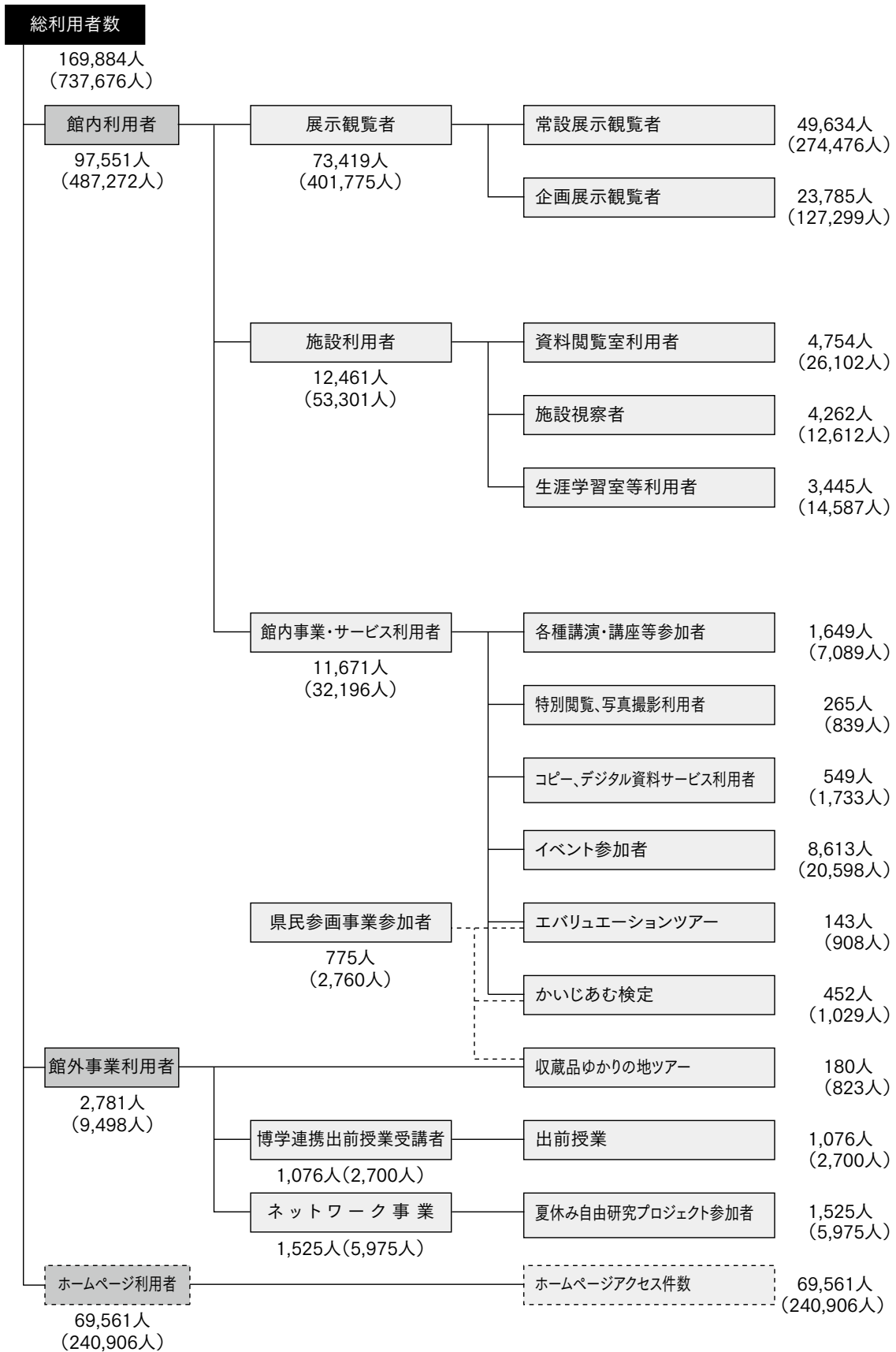
- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 平成20年度県立博物館利用状況に示す利用者数は平成20年度分(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の実績である。なお( )内の数値は平成17年度分から平成20年度分の実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、交流拠点形成事業及びわいわいミュージアムは平成18年度で終了した。替わりに平成19年度からはかいじあむ検定、わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーが新規に実施された(第8章)。このため、平成17~20年度までの実績を示すにあたり、かいじあむ検定の場合は平成18年度までの交流拠点形成事業の実績を、わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーの場合は平成18年度までのわいわいミュージアムの実績をそれぞれ集計した。

基本テーマ：「山梨の自然と人」

県立博物館事業体系図



■平成20年度 県立博物館利用者状況



( ) 内の数値は平成17年度分から平成20年度分の実績数値を加えたものである。

■開館年度（平成17年度）から平成20年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a + b + c)										館外利用者				ホーミング 利用者						
	展示利用者 (a)		施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)					博士連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)									
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 参加者	イベント 参加者	E/VIEW ツアー 参加者	E/VIEW ツアー 検定											
											常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者		生涯学習室 利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 参加者	イベント 参加者	E/VIEW ツアー 参加者	E/VIEW ツアー 検定
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561
計	737,676	487,272	401,775	274,476	127,299	53,301	26,102	12,612	14,587	32,196	7,089	839	1,733	20,598	908	1,029	9,498	823	2,700	5,975	240,906

■20年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

総利用者	館内利用者 (a + b + c)										館外利用者				ホーミング 利用者						
	展示利用者 (a)		施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)					博士連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)									
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 参加者	イベント 参加者	E/VIEW ツアー 参加者	E/VIEW ツアー 検定											
											常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者		生涯学習室 利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 参加者	イベント 参加者	E/VIEW ツアー 参加者	E/VIEW ツアー 検定
4月	19,968	12,438	10,659	4,733	5,926	1,302	642	569	91	477	360	11	40	66	0	0	17	0	17	0	7,513
5月	16,904	10,578	8,583	6,144	2,439	894	551	242	101	1,101	40	15	45	1,001	0	0	117	0	117	0	6,209
6月	12,937	6,831	5,025	5,025	0	1,467	435	540	492	339	116	28	65	130	0	0	231	0	231	0	5,875
7月	13,553	6,142	4,315	3,128	1,187	1,146	374	402	370	681	149	19	55	328	0	130	1,547	0	22	1,525	5,864
8月	15,882	9,452	6,917	4,334	2,583	1,373	536	511	326	1,162	134	33	49	805	90	60	0	0	0	0	6,421
9月	9,282	4,165	3,454	3,418	36	478	207	78	193	233	54	32	22	125	0	0	0	0	0	0	5,117
10月	16,541	10,540	7,473	5,308	2,165	1,361	381	594	386	1,706	164	25	38	1,426	53	0	157	45	112	0	5,844
11月	22,273	16,217	11,042	6,377	4,665	1,421	499	429	429	3,754	203	23	61	3,317	0	150	120	0	120	0	5,936
12月	8,875	4,046	2,914	1,996	918	1,010	222	362	426	122	48	16	25	33	0	0	315	45	270	0	4,514
1月	10,166	4,982	3,327	3,068	259	425	300	125	0	1,250	186	13	48	983	0	0	167	90	77	0	5,017
2月	13,924	8,297	6,740	3,370	3,370	918	341	269	308	639	93	21	40	373	0	112	80	0	80	0	5,547
3月	9,588	3,854	2,970	2,733	237	666	266	77	323	218	102	29	61	26	0	0	30	0	30	0	5,704
計	169,893	97,542	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,662	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561

## 第2章 調査・研究

平成20年度における県立博物館の調査・研究では、総合調査・研究として「富士山と人々の歴史」（平成17年度より継続）、共同調査・研究として「甲斐の治水・利水と景観の変化」（平成19年度より継続、平成21年度まで実施）、「甲斐金山における金製錬技術に関する自然科学的研究」（平成22年度まで継続）の調査・研究が行われた。

また、各博物館職員がそれぞれの専門分野に応じて個別調査・研究を行った。中でも「木食白道に関する研究」では、新発見資料による調査を通して、これまで不明確な点が多かった木食白道に関して新たな事実が明らかとなった。ほかにも、「武田氏家臣関係資料に関する基礎的研究」における「山本菅助」の名が記された文書の発見は、これまで1点のみ記名の文書しか知られておらず、伝説で語られることの多かった人物の裏付けとなる重要な事例といえよう。

### (1) 総合調査・研究「富士山と人々の歴史」

#### ■調査・研究の目的

富士山は山梨のみならず国内外に広く知られる名峰である。その自然景観は古来より山岳信仰の対象となり、文学や絵画に用いられる一方、雪代や火山活動などの災害は、人々の生活に大きな影響を与えてきた。

県立博物館では、富士山を巡る自然と人との関わりを歴史学、考古学、民俗学、美術史、文学、古環境学、地理学、動物学、植物学など多様な分野から総合的に解き明かし、それらの成果を広く国内外に情報発信していくこととした。

#### ■県立博物館担当職員

中山 誠二（学芸課長）  
高橋 修（学芸員）  
植月 学（学芸員）

#### ■共同調査・研究員

布施 光敏（富士吉田市歴史民俗博物館学芸員）  
津村 宏臣（同志社大学講師）

#### ■活動記録

- ・平成20年6月14日（土）共同調査・研究員と打合せを行い、作業の進捗状況、今後の活動方針などを確認。その後は各自の担当分野について作業を進めた。

#### ■活動内容と成果

平成20年度は、前年度に設定された研究テーマ「富士山の災害史と古環境」をもとに、個別に基礎的なデータの収集を継続した。また、県埋蔵文化財センターより県内の遺跡データベースの提供を受け、富士山周辺の微地形情報、地質学的情報などのGIS（地理情報システム）による統合、解析を進めた。

### (2) 共同調査・研究

#### ①「甲斐の治水・利水と景観の変化」

#### ■県立博物館担当職員

西川 広平（学芸員）

#### ■共同調査・研究員

今福 利恵（山梨県教育委員会）  
閏間 俊明（韮崎市教育委員会）  
数野 雅彦（山梨郷土研究会）

斎藤 秀樹（南アルプス市教育委員会）  
田中 大輔（南アルプス市教育委員会）  
畑 大介（帝京大学山梨文化財研究所）  
平山 優（山梨県教育委員会）  
保阪 太一（南アルプス市教育委員会）  
村石 眞澄（山梨県教育委員会）  
山下 孝司（韮崎市教育委員会）

#### ■活動記録

- ・平成20年 4月23日（土） 資料調査（於 甲斐市役所敷島支所）  
敷島地区における地籍図の調査
- ・同 4月27日（日） 研究会、資料調査（於 県立博物館）  
西川報告「旧敷島町域の井堰について」  
検地帳、信玄堤絵図の調査
- ・同 5月20日（火） 資料調査（於 甲斐市敷島地区）  
耕地の灌漑状況など現地景観の調査
- ・同 6月21日（土） 研究会、資料調査（於 県立博物館）  
数野報告「釜無川・荒川に関わる流路変遷過程の検証」  
検地帳、将棋頭・十六石絵図の調査
- ・同 7月25日（金） 資料調査（於 甲斐市敷島地区）  
耕地の灌漑状況など現地景観の調査
- ・同 9月15日（月） 研究会、資料調査（於 県立博物館）  
平山報告「戦国・織豊期の釜無川中央流路の閉鎖事業について」  
検地帳、平岡家資料の調査
- ・同 11月 8日（土） 研究会、資料調査（於 県立博物館）  
田中報告「流転する村々―浅原村引移一件にみる河道整理と村落移転―」  
検地帳の調査  
調査・研究報告書の内容検討
- ・同 12月21日（日） 研究会、資料調査（於 県立博物館）  
畑報告「治水遺構調査の動向」  
検地帳の調査  
シンボル展「信玄堤」展示資料の確認
- ・平成21年 2月22日（日） 研究会、資料調査（於 県立博物館）  
斎藤報告「六科将棋頭試掘調査報告と徳島堰枡形堤防についての考察」  
検地帳の調査

#### ■活動内容と成果

四方を山々に囲まれた甲斐国は、急峻な山地から盆地や谷筋に流れ込む河川により、古くから水害の影響を受けてきた。このため、信玄堤に代表されるような治水・利水事業や「甲州流治水」と呼ばれるその技術について、これまで数多くの研究が行われてきた。

本共同調査・研究は、河川流路の変遷や井堰の開発にともなう景観の変化を調査・研究することをとおして、甲斐国の人々が、自然環境と向き合いながら営んできた開発の様子や、治水・利水技術の広がりを明らかにすることを目標に、平成19年度から始まった事業である。平成20年度は、前年度に引き続いて下記のような調査を行った。

a 信玄堤絵図（竜王信玄堤、下川除など）を分析し、描かれている内容や作成時期及び作成意図につい

て考察する。

b 先行研究で指摘されている釜無川の流路変遷を再検討するために、甲府盆地周辺における各年代の検地帳を分析して河川関係地名などを確認する。

c 釜無川、荒川流域を灌漑する井堰（用水路）の引水地域を調査し、竜王信玄堤の築堤や釜無川、荒川の流路変遷が景観に及ぼした影響を確認する。

このうち a については、竜王信玄堤（甲斐市）や将棋頭（南アルプス市、韮崎市）、十六石（韮崎市）などを描いた県立博物館収蔵の絵図を調査した。b については、検地帳からデータを抽出する地域の範囲を検討し、東限を荒川、西限を釜無川、南限を笛吹川、北限を甲斐市島上条・竜王新町・竜王・下今井として、実際に作業に着手した。c については、荒川右岸の旧敷島町地区を灌漑する一ノ堰（甲斐市）などの経路を確認するため、当該地域の地籍図を調査するとともに、現況の現地景観を確認した。

また、平成20年度には、当該調査・研究の内容に即した、研究員各自の個別研究報告を行った。これらをふまえて平成21年度に調査・研究報告書を刊行する予定である。

## ②「甲斐金山における金製錬技術に関する自然科学的研究」

### ■県立博物館担当職員

沓名 貴彦（学芸員）

### ■共同調査・研究員

飯島 泉（甲州市教育委員会）

鈴木 稔（帝京大学山梨文化財研究所）

谷口 一夫（湯之奥金山博物館）

萩原 三雄（帝京大学山梨文化財研究所）

村上 隆（独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所）

### ■活動記録

- 平成20年11月26日（水） 研究会（於 帝京大学山梨文化財研究所）  
沓名報告「中世の金精錬技術に関する科学調査について  
—近年発掘された遺物を中心に—」

### ■活動内容と成果

中世、日本はマルコ・ポーロにより「黄金の国ジパング」とヨーロッパで紹介されるほど、金を産出した国であった。中でも、甲斐は甲斐金山と呼ばれる金山を多数有し、そこから産出された金は、武田氏の有力な資金源となっていた。

本研究では、この甲斐金山でどのような技術を用いることで金が産出されたのかを自然科学的手法を用いて解明することを目的としている。そこで、これまで学術調査が行われてきた黒川金山、中山金山（湯之奥金山の内）から出土した土器類について再調査を行うことから始めてきたが、本年度より共同研究として調査研究を行うことになった事業である。

本年度は、これまで発掘が行われてきた各遺跡の出土遺物について再調査を行うことを中心に実施した。

a 国指定史跡勝沼氏館跡内郭部出土の熔融物付着土器について蛍光エックス線分析などの科学調査を実施した。

b 他の県内中世遺跡出土の土器について、金粒付着土器の有無の確認について行った。

a については、出土土器に金粒が付着していることは顕微鏡観察より確認済みのため、その金粒や周辺部分について蛍光エックス線分析を用いて付着元素の確認を行った。b については、県内中世遺跡出土の土器について、顕微鏡観察により土器に金粒などの付着の有無について確認を行った。

今後、より詳細な調査を継続する予定である。

### (3) 個別調査・研究

#### ① 職員の調査・研究成果

番号	調査・研究テーマ	概要	担当職員
1	館藏品「岩佐又兵衛様式曾我物語図屏風」に関する研究	岩佐又兵衛周辺で量産されたとみられる曾我物語図屏風について、制作された背景や特徴を考察する。	井澤英理子
2	山梨県における人と牛馬の関わり史	県内遺跡出土の牛馬骨を動物考古学的見地から再検討し、系統、飼育法と用途、死後の処理と加工などとその地域性・変遷について明らかにする。	植月 学
3	内陸部における生業復元方法の研究	動植物遺体の貧弱さを補う生業復元方法の開発や、海産物の流通からみた沿岸部との関わりなどの追究など、内陸部特有の生業研究の課題を解明する。	植月 学
4	武田氏家臣関係資料に関する基礎的研究	未だ明らかにされていない部分が多い武田氏の家臣について、関連資料の調査を通じて武田家中における位置づけや武田氏滅亡以後の展開を明らかにする。	海老沼真治
5	文化財に対する燻蒸薬剤の影響に関する研究	文化財に対する燻蒸薬剤の影響について、伝統的な絵画材料を中心に科学的手法を用いて調査を行う。	沓名 貴彦
6	木食白道に関する研究	新資料である「木食白道一代記」の内容を読み解くことにより、その生涯や信仰のあり方について考察する。	近藤 暁子
7	甲府城下町の道祖神祭りと都市社会に関する研究	江戸時代の甲府城下町で催された道祖神祭りがどのように行われていたのかを復元する。	高橋 修
8	中部高地における栽培植物の起源	中部地方の縄文土器をレプリカ・セム法と呼ばれる手法で調査し、縄文時代の栽培植物や穀類の痕跡を検出することにより、中部山岳地域の植物および穀物栽培の実態を明らかにすることを目的としている。	中山 誠二
9	武田氏系図に関する研究	中世、近世につくられた甲斐源氏や武田氏に関する系図資料の成立状況を探るとともに、彼らの由緒がどのように形成され、受け継がれてきたのかを考察する。	西川 広平

#### ② 調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
平成20年4月11日(金)	個人蔵近世・近代絵画の調査。	井澤英理子
4月26日(土)	神奈川県座間市個人蔵「松井家資料」17点を調査し、目録作成。	高橋 修
5月3日(土)	笛吹市個人蔵「達磨絵図」の調査。画賛の文字を解説。	高橋 修
5月3日(土)	甲府市黒平能三番の調査。	丸尾依子
5月9日(金)	新潟県立歴史博物館にある色部年中行事に基づく中世の食膳再現に関する資料調査。	植月 学・西川広平
5月10日(土)	甲府市法華寺の墓石調査。	高橋 修
5月14日(水)	甲府市個人蔵『木食白導一代記』の調査・翻刻。	西川広平・近藤暁子
5月28日(水)	身延町個人蔵木喰書軸の調査。	近藤暁子
5月28日(水)	静岡県菊川市個人蔵甲冑の調査。	高橋 修
5月31日(土)	韮崎市苗敷山頂・穂見神社本殿の現地調査。	西川広平・宮澤富美恵
6月5日(木)	「渡辺家資料」449点を調査・整理をして目録作成。	高橋 修
6月10日(火)	市川三郷町薬王寺蔵観音菩薩坐像の調査。	近藤暁子
6月12日(木)	岐阜市歴史博物館にある中世の食膳再現及び木曾川治水絵図に関する調査。	西川広平
6月13日(金)	浜松市博物館にある天竜川御普請絵図の調査。	西川広平
6月17日(火)	北杜市実相寺日蓮上人坐像の調査。	近藤暁子
6月29日(日)～12月4日(木)	北杜市個人蔵「清水家資料」49点を調査、目録作成。	高橋 修
7月10日(木)	甲府市個人蔵「武田勝頼天目山陣取図」1点を調査。	高橋 修
7月11日(金)～8月4日(日)	笛吹市「小池家資料」149点を調査、目録作成。	高橋 修
7月11日(金)～12日(土)	丹波山村ささら獅子調査。	丸尾依子
7月12日(土)	東京都杉並区西部古書会館の上黒駒村関係資料3点を調査。	高橋 修
7月19日(土)	「堀内氏収集資料」328点を調査・整理して目録作成。	高橋 修
8月7日(木)	国立国会図書館及び海事図書館の「甲州道中図屏風」関係文献を調査。	高橋 修
8月12日(火)	北杜市個人蔵「小林家資料」7点を調査。	高橋 修
8月15日(金)	東京都古美術商の木喰書軸調査。	近藤暁子
8月15日(金)	神奈川県小田原市古美術商の木喰仏調査。	近藤暁子
8月18日(月)	富士吉田市歴史民俗博物館において富士山下山仏の調査。	近藤暁子
9月15日(月)	群馬県安中市個人蔵の武田氏関係資料5点を調査。	海老沼真治
9月17日(水)	個人蔵中・近世絵画の調査。	井澤英理子
9月24日(水)	富士吉田市歴史民俗博物館において富士山下山仏の調査。	近藤暁子
9月27日(土)	安養軒(忍野村)の浄土真宗関係中世絵画調査。	井澤英理子
10月2日(木)	根津記念館の展示収蔵環境調査。	沓名貴彦
10月17日(金)	須玉美術館の展示収蔵環境調査。	沓名貴彦
10月23日(木)	甲州市栖雲寺蔵絵画の調査。	井澤英理子・近藤暁子



年 月 日	内 容	担当職員
10月29日(水)～30日(木)	鳥取県立博物館にある甲斐国御手伝普請関係資料の調査。	西川広平
11月5日(水)	甲府市東禅寺蔵釈迦如来坐像の調査。	近藤暁子
11月7日(金)	南アルプス市上高砂地区九頭竜神祠の調査。	西川広平
11月16日(火)	中央市個人蔵「中込家資料」1点の調査・解説。	高橋 修
11月23日(日)	南アルプス市上高砂地区蛇籠作りの調査。	丸尾依子
11月26日(水)	富士吉田市月江寺の絵画調査。	井澤英理子・近藤暁子
12月13日(土)～14日(日)	甲州市一之瀬高橋の春駒カミタテ調査。	丸尾依子
12月19日(金)	根津記念館の展示収蔵環境調査。	沓名貴彦
12月25日(木)	南アルプス市八幡神社神像等の調査。	近藤暁子
平成21年1月7日(水)	笛吹市個人蔵「笠原家資料」6点の調査・解説。	高橋 修
1月10日(土)	南アルプス市下市之瀬の獅子舞 村回り、成人者を祝う会調査。	井澤英理子・小畑茂雄 丸尾依子
1月11日(日)	甲州市一之瀬高橋の春駒道祖神調査。	丸尾依子
1月14日(水)	南アルプス市下市之瀬の獅子舞、道祖神祭り調査。	井澤英理子・小畑茂雄 丸尾依子
1月15日(木)	南部町個人蔵武田氏関係資料3点を調査。	堀内 亨・海老沼真治
2月5日(木)	富士吉田市月江寺蔵仏像の調査。	近藤暁子
2月23日(月)	甲斐市個人蔵菩薩像の調査。	近藤暁子
2月26日(木)	北海道釧路市個人蔵市河家文書の調査。	中山誠二・西川広平
3月6日(金)	笛吹市境川町諏訪南宮大神社蔵資料1点を調査。	海老沼真治
3月6日(金)	甲府市日枝神社蔵大般若経467巻を調査。	海老沼真治
3月30日(月)	長野県松本市個人蔵山梨県関係近世地方文書約8,000点を調査。	高橋 修・海老沼真治

#### (4) 調査・研究成果の公表

##### ① 博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照。

##### ② 博物館職員の調査・研究実績

#### ■論文・調査報告など

氏 名	名 称	掲 載 誌 名	学会(発行者)	発行年月日
網倉邦生(山梨県埋蔵文化財センター) 高橋 修 西川広平	平成19年度 山梨県地方史研究の動向	「信濃」60-6	信濃史学会	平成20年6月1日
井澤英理子	又兵衛風の曾我物語図屏風の量産について	「日本美術史の杜」	竹林舎	平成20年9月1日
井澤英理子	甲斐善光寺の絵画	「甲斐 善光寺(山梨歴史美術シリーズ3)」	山梨歴史美術研究会	平成21年3月31日
植月 学	諏沢河岸跡横町地区から出土した動物遺体	「山梨県考古学協会誌」18	山梨県考古学協会	平成20年5月25日
植月 学	縄文海進と貝塚	「季刊考古学」105	雄山閣	平成20年11月1日
植月 学	書評 松井章著「動物考古学」	「季刊考古学」105	雄山閣	平成20年11月1日
植月 学・孔 智賢	千駄堀寒風遺跡第2地点出土の動物遺体	「千駄堀寒風遺跡 第2地点」	松戸市遺跡調査会	平成20年12月25日
植月 学	縄文時代における居住の季節性の変遷-貝殻成長線分析による貝塚遺跡の季節性の研究-	「吉田学記念文化財科学研究助成基金 研究論文誌 まなぶ」2	吉田仁夫・紀恵子	平成21年3月1日
植月 学	黒姫洞窟第5次～7次調査出土の動物遺体	「黒姫洞窟遺跡-第2期発掘調査報告-」	魚沼市教育委員会	平成21年3月19日
植月 学	動物遺体	「史跡勝沼氏館跡-外郭城発掘調査報告書(中世編)-」	甲州市教育委員会	平成21年3月30日
植月 学	王勢籠権現の狼信仰	「山梨県立博物館研究紀要」3	山梨県立博物館	平成21年3月30日
海老沼真治	武田氏関係研究文献目録1983-2007	「戦国大名武田氏の権力と支配」	岩田書院	平成20年12月
海老沼真治	群馬県安中市 真下家文書の紹介と若干の考察-武田氏・山本氏関係文書-	「山梨県立博物館研究紀要」3	山梨県立博物館	平成21年3月30日
近藤暁子	初期の木食白道について-北海道・栃木県に残された像を中心に	「木食白道」	山梨ふるさと文庫	平成20年4月5日
近藤暁子	「木食白道-代記」に見る白道の半生と作品	「山梨県立博物館研究紀要」3	山梨県立博物館	平成21年3月30日
高橋 修	「甲州道中図屏風」との対話	「山梨県考古学協会誌」18	山梨県考古学協会	平成20年5月25日
高橋 修	「甲府買物独案内」との対話	「甲斐」116	山梨郷土研究会	平成20年6月30日

氏名	名称	掲載誌名	学会(発行者)	発行年月日
高橋 修	通信簿ツアーによる利用者との対話	「Cultivate」32	文化環境研究所	平成20年8月8日
高橋 修	近世甲府城下料理屋論序説	「甲州食べもの紀行」展示図録	山梨県立博物館	平成20年10月11日
高橋 修	「時代劇の悪役の柳沢吉保の実像とは?」「インテリだった? 黒駒の勝蔵と竹居の吃安」	「山梨県の不思議事典」	新人物往来社	平成21年2月25日
高橋 修	甲府道祖神祭礼永代帳との対話	「山梨県立博物館研究紀要」3	山梨県立博物館	平成21年3月30日
高橋 修	山梨県立博物館の評価制度から見た今後の博物館運営の課題	「日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要」13	日本ミュージアム・マネジメント学会	平成21年3月31日
高橋 修	山梨県立博物館ジオラマの楽しみ方20~31(連載)	「まちミュージアム友の会会報」40~51	特定非営利活動法人つなぐ	平成20年4月 ~平成21年3月
中山誠二	山梨県中谷遺跡の縄文時代晩期のコクゾウムシ <i>Strophilus Zeamais</i>	「山梨県考古学協会誌」18	山梨県考古学協会	平成20年5月25日
中山誠二	中部高地の弥生集落とその景観変化	「東海史学」43号	東海大学史学会	平成21年3月31日
中山誠二	縄文時代のマメ利用に関する予察	「白門考古論叢」1」	中央大学考古学研究会	平成20年11月
中山誠二	レプリカ・セム法による圧痕土器の分析(3)	「山梨県立博物館研究紀要」3	山梨県立博物館	平成21年3月30日
西川広平	武田信玄の願文奉納をめぐって-宗教政策の側面-	「武田信玄のすべて」	新人物往来社	平成20年6月15日
西川広平	戦国大名武田家と市河家	「信濃」60-10	信濃史学会	平成20年10月20日
西川広平	戦国期甲斐国における材木の調達と山造	「武田氏研究」39	武田氏研究会	平成21年1月31日
西川広平	「武田信玄の重臣高坂弾正とはどんな人?」ほか	「山梨県の不思議事典」	新人物往来社	平成21年2月25日
西川広平・近藤暁子	資料紹介「木食白導一代記」	「山梨県立博物館研究紀要」3	山梨県立博物館	平成21年3月30日
西川広平	柳澤家の系図編纂と武田家	「山梨県立博物館研究紀要」3	山梨県立博物館	平成21年3月30日

■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
井澤英理子	歌川広重の甲州旅行	御嶽道研究会研修	山梨県立博物館	平成21年3月23日(月)
植月 学	山梨県における古墳時代~古代の馬生産	日本文化財科学会第25回大会	鹿児島国際大学	平成20年6月14日(土)
植月 学 ほか	古市川湾における縄文時代の環境変動と人間活動	日本文化財科学会第25回大会	鹿児島国際大学	平成20年6月14日(土)
植月 学・武藤文人	山梨県飯沢河岸跡の明治期遺構より出土したマクロ属 <i>Thunnus</i> 等の大型魚類骨格について(予報)	2008年度日本魚類学会年会	愛媛大学	平成20年9月21日(日)
植月 学	丹沢周辺における人とオオカミの関わり	秦野市市民大学	秦野市立図書館	平成21年3月21日(土)
海老沼真治	樺道・逸見路と佐久往還	古代甲斐国官衙研究会第54回研究会	帝京大学山梨文化財研究所	平成20年9月24日(水)
小畑茂雄	山梨の歴史(近代)	山梨の魅力メッセジャー事業	都留文科大学	平成20年12月5日(金)
峯名貴彦	文化財に対する燻蒸薬剤の影響に関する研究(1) -酸化エチレン製剤の顔料に対する影響-	文化財保存修復学会第30回記念大会	太宰府市中央公民館	平成20年5月18日(日)
峯名貴彦	日本画の表面物性に関する研究	日本文化財科学会第25回大会	鹿児島国際大学	平成20年6月14日(土)
峯名貴彦 ほか	中世の金精錬技術に関する科学調査について -甲斐金山遺跡を中心に-	日本文化財科学会第25回大会	鹿児島国際大学	平成20年6月15日(日)
峯名貴彦	山梨県内遺跡出土遺物から見た金精製錬技術	甲州市市民講座	甲州市民文化会館	平成20年10月16日(木)
近藤暁子	甲斐の木喰-残された微笑仏を巡る-	JR東日本大人の休日・ジパング倶楽部「趣味の会」甲州歴史紀行講座~江戸時代の山梨県~	JR東日本大人の休日サロン	平成20年4月11日(金)
近藤暁子	武田不動尊と勸助不動尊	信玄宝物館企画展「武田信玄の信仰」講演会	恵林寺書院	平成21年3月28日(土)
高橋 修	甲府勤番とその時代・文化	平成20年度観光ボランティアガイド「甲府城御案内仕障」総会記念講演	山梨県生涯学習センター	平成20年6月22日(日)
高橋 修	北条氏の隆盛と滅亡	富士の里市民大学講座	富士吉田市市民会館	平成20年9月4日(金)
高橋 修	甲斐国年貢割付状論	平成20年度日本古文書学会	プラザ萬像	平成20年10月5日(日)
高橋 修	黒駒勝蔵・竹居吃安の通った道	平成20年度やまなし再発見講座	山梨県生涯学習センター	平成20年10月17日(金)
高橋 修	通信簿ツアーの継続的実施による利用者との対話	関東地区博物館協会研究会	群馬県立歴史博物館	平成20年11月7日(金)
高橋 修	絵図を使ったジオラマ製作からわかった甲府城下町の姿	山梨県埋蔵文化財センター講演	山梨県生涯学習センター	平成20年11月26日(水)
高橋 修	小江戸の賑わい 甲府城下町を考える シンポジウム	山梨県埋蔵文化財センターシンポジウムパネリスト	びゅう総合	平成20年12月7日(日)
高橋 修	利用者による評価の試み-通信簿ツアーを3年実施して-	川崎市博物館職員研修	川崎市立日本古民家園	平成21年1月14日(水)
高橋 修	初心者のための古文書講座(5回連続)	笛吹市民講座	笛吹市スコレーセンター	平成21年1月20日(金)、 2月6日(金)、 13日(金)、20日(金)、 27日(金)
高橋 修	甲斐国内の年貢割付状との対話	東北近世史研究会	東北大学	平成21年3月21日(土)
丸尾依子	民俗資料の収集・活用と保存について	中央市文化財審議委員・豊富郷土資料館運営委員研修会	豊富郷土資料館	平成21年3月5日(木)
中山誠二	縄文時代のマメの利用	雑穀研究会	東京学芸大学	平成20年5月17日(土)
中山誠二	中部地方の栽培植物の起源	日本考古学協会	東海大学	平成20年5月24日(土)
中山誠二	The origin of cultivated plants in Central Japan	東アジア考古学会	中国社会科学院	平成20年6月4日(水)
中山誠二	縄文時代の植物圧痕の事例-中部・関東地方-	文部科学省科学研究費 研究会	熊本大学	平成20年7月27日(日)
西川広平	古い語る富士山麓の暮らし	吉田高校「富士山学」講座	吉田高校	平成20年5月2日(金) 7月4日(金) 10月10日(金)

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
西川広平	戦国期甲斐国における材木の調達と山道	中央大学山村研究会	中央大学（東京都八王子市）	平成20年5月9日（金）
西川広平	戦国期甲斐国における川除普請について	中央史学会	中央大学（東京都八王子市）	平成20年6月28日（土）
西川広平	甲斐国の市場と古道	山梨再発見講座「甲斐の古道」（山梨県生涯学習推進センター主催）	山梨県生涯学習推進センター	平成20年10月3日（金）
西川広平	武田信虎と戦国の甲斐	県立図書館公開講座	山梨県立図書館	平成20年11月14日（金）
西川広平	信玄堀と甲斐の人々	ことぶき勤学院	山梨県立博物館生涯学習室	平成21年1月15日（木）
西川広平	山国荘下黒田村の開発とその担い手	山国荘調査団	中央大学駿河台記念館（東京都千代田区）	平成21年1月24日（土）

### ■県立博物館館内研究会

日時	報告者	内容
平成21年2月5日（木）	植月 学	ホンジュラス共和国・コパン遺跡の調査成果について
3月12日（木）	海老沼真治	群馬県安中市真下家文書の紹介と若干の考察＋その他資料紹介

### ③ 刊行物

名称	発刊日	体裁
『山梨県立博物館研究紀要』第3集	平成21年3月30日	A4版、120頁

※ 山梨県立博物館編集・発行である。

## (5) 大韓民国 国立清州博物館との学术交流協定について

平成20年5月に国立清州博物館から学术交流協定の締結について申し入れを受け、7月には相互に相手館を訪問するなど、交流の内容・調査研究テーマ等について調整を行ってきた。

その結果、平成20年12月18日（木）大韓民国 国立清州博物館内に於いて、両館の学术交流協定締結式を行った。

### ■目的

韓半島の文化は、古代以降の山梨の歴史に大きな影響をもたらし、両者の関係は時代を通じて非常に密接である。また、山梨県と忠清北道はともに四方を山に囲まれた内陸地域にあり、共通した地勢的特徴を有している。そのような環境の中で培われた韓国、日本の両地域の内陸文化をよりグローバルな視点で解明することによって、新たな歴史理解を構築することが可能となる。

以上の視点を踏まえ、山梨県立博物館と大韓民国 国立清州博物館の両館の学术交流は、以下を推進目的とする。

- ・ 学術共同研究で明らかにされた歴史をそれぞれの地域の人々に伝える中で、相互の歴史・文化を理解し合い、国際的友好関係の一助とする。
- ・ 歴史展示の技術、博物館教育、博学連携の手法などに関して共同で研究、開発を行い、両館の博物館活動をより充実する。
- ・ 両国の文化交流の架け橋の役割を果たす。

### ■学术交流機関

- ・ 日本国 山梨県立博物館
- ・ 大韓民国 国立清州博物館

### ■学术交流の内容

#### a 共同学術研究の実施

- ・ 双方が所蔵する資料（原品、映像画像、学術資料情報）や施設を利用して、相互の学芸員が研究しあう。
- ・ 研究、研修を目的とした学芸員の相互交流を図る。
- ・ 各テーマに基づき、調査研究会を開催し、意見交換を図る。
- ・ テーマに関係した両地域の現地調査を行う。
- ・ 調査研究に関わる成果を報告書としてまとめる。

- ・調査研究成果を相互に公開する。
- b 調査研究テーマの候補
  - ・博物館活動に関する手法
  - ・展示技法に関する手法
  - ・日韓交流の歴史に関する研究
  - ・内陸地域特有の文化や生業に関する比較研究
  - ・文化財保存技術に関する研究

■スケジュール

- ・平成20年 学術交流協定の締結
- ・平成21年～25年 学術交流の実施（5ヶ年）

■学術交流事業の公開

- ・共同研究の成果を情報発信するための学術シンポジウムの開催
- ・共同展示会の開催など



国立清州博物館外観



学術交流協定締結式  
(左：金成明館長、右：平川南館長)

## 第3章 資料の収集・保管・活用

### (1) 資料収集の方針

#### ①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ① 絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ② 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③ 言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④ 動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

#### ②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、7名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

#### ■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	勤務先・役職等	専門分野
安達文夫	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
飯田文彌	元山梨県史編さん委員会近世部会長	歴史学
大塚初重	元山梨県立考古博物館館長	考古学
清雲俊元	山梨郷土研究会理事長	歴史学
笹本正治	信州大学教授	歴史学
濱田隆	元山梨県立美術館館長	美術史
堀内真	富士吉田市歴史民俗博物館学芸課長	民俗学

#### ■平成20年度の資料情報委員会開催状況

- ・平成20年9月3日（水）第6回委員会を開催  
17件の収集候補資料の審議、1件の資料について収集の方針を検討した。
- ・平成21年3月4日（木）第7回委員会を開催  
5件の収集候補資料の審議、1件の資料について収集の方針を検討した。

### (2) 資料の収集

平成20年度に収集した資料は、次表の通りである。

■購 入

	資料名	特 徴	制 作 期	員 数
1	武田信玄陣立書	武田信玄本陣（旗本備）の編成を記した図。鉄砲衆を先頭として、弓衆、馬之衆、長柄鎗などが続き、最後方に信玄が備えるという構成となっている。	室町時代（16世紀）	1巻
2	武田勝頼書状（下間上野法眼宛）	本願寺からの援軍要請に対し、近日中に三河・尾張へ攻め込むことを伝えた武田勝頼の書状。	天正2年（1574）	1点
3	武田家朱印状（伊藤忠右衛門宛）	伊藤忠右衛門に対して、長篠城籠城および井伊谷における戦の戦功を賞して、所領を宛行うことを約した武田家の朱印状。	元亀4年（天正元年・1573）	1点
4	武田晴信書状（千村・山村宛）	武田晴信（信玄）が信濃国の国衆木曾義康の家臣と考えられる千村右衛門尉・山村三郎次郎に宛てて、使者の処遇への配慮を伝えた書状。	室町時代（16世紀）	1点
5	神号	天照皇大神宮、八幡大菩薩、春日大明神の名を上部に記した、三社託宣。神の清浄、正直、慈悲の徳目を讃えるため、一幅に記したものの。	江戸時代（18世紀）	1幅
6	万金産業袋	三宅也来著。近世における諸国地場産業の製品・製法に関する冊子。	享保17年（1732）	1冊
7	渡辺家資料	上黒駒村（現笛吹市）の村役人を勤めた渡辺家に伝わった資料。黒駒勝藏の父親である小池嘉兵衛の直筆書状が伝存していることが特徴。	江戸時代～明治時代	452点
8	不動明王立像（木喰作）	一木造で、岩座に立つ不動明王像。頭髪は巻髪で、弁髪を垂らし、頭上に蓮華を載せる。牙を上下に出し、両肩を寄せて忿怒の相をあらわす。木喰が九州宮崎に至った72歳の時の制作と知られる。	寛政元年（天明9年・1789）	1躯
9	六字名号（木喰作）	南無阿弥陀仏を中央に大書した六字名号。87才という年齢から、新潟に滞在した折にあらわしたものと考えられる。	文化元年（1804）	1幅
10	菱川辰政筆 川中島合戦図	永禄4年（1561）の第4回川中島合戦の様子を描いた絵画。	江戸時代（19世紀）	1幅
11	狩之作法問書	狩りの作法、用語、道具などを解説した武家故実書。末尾に「富士野巻狩着到」を付け加える。	江戸時代	1冊
12	農家調宝記	高井蘭山による『農家調宝記』（初編～三編）に、大蔵永常の『除蝗録』、『豊稼録』を『附録』、『續編』として加え、五冊組としたもの。	安政年間（1854～1860）	5冊
13	当流節用料理大全	四条流関係の文献を中心に集録し、その他の料理書、食物関係の本草書などより、必要箇所を自由に取捨選択し、編纂したもの。	正徳4年（1714）	1冊
14	料理物語	江戸時代の料理本としては最初期のもの。細かい料理の手順に関する解説はなく、専門の料理人もしくは実際に料理に携わる人々のために出版された料理書とされる。	慶安2年（1649）	1冊
15	日本水産動植物図集	淡水産、鹹水産の動植物の形態、生息域などを図入りで解説した図鑑。図は石版印刷で完成度が高い。	昭和6年（1931）	2冊
16	水産図解	淡水産、鹹水産の動植物の形態、生息域などを図入りで解説した図鑑。現在とは分類体系、名称などが大きく異なる。	明治22年（1889）	2冊
17	さかなつくり（一立斎広重画）	四季折々の魚介類の絵と、それにまつわる狂歌を集めた狂歌集。	明治44年（1911）	1帖

■寄 贈

	資料名	特 徴	制 作 期	員 数
1	木花開耶姫および二神図	上部に木花開耶姫尊を中心とした三神を描き、下部に三猿を配した絵画。三神と三猿との間に富士や日月を描く。	近代	1幅
2	版木（金峰山信仰関連）	金峰山の里宮の一つ甲府の御嶽山金櫻神社に関わる版木。	不明	4点
3	甲斐国金峰山金櫻神社御嶽山晚春之図	金峰山山頂に至る登山道のうち、甲府市にある金櫻神社から山頂に至る登山道を記した絵画。	江戸時代	1幅
4	参詣図（金峰山信仰関連）	下方に2匹の犬。中央に金櫻神社境内。上方に金峰山の山容を描いた参詣図。	不明	1幅
5	猿橋模型	昭和59年7月に名勝猿橋（大月市）を架け替えた際、検証のために実際の橋と同じ規格で製作した1/20寸法の模型。	昭和59年	1点
6	武藤家資料	江戸時代、藤木村（甲州市塩山）の名主を勤めた武藤家に伝わった資料。村政や家業の酒造業に関する古文書のほか、屏風や、絵画、色紙、獅子頭などが含まれる。	江戸時代～昭和時代	2,124点
7	長沼家資料	江戸時代、藤野木村（笛吹市御坂町）の名主を勤めた長沼家に伝わった資料。御坂峠周辺の入会山関係、鎌倉往還関係、年貢関係の古文書などが含まれる。	江戸時代～明治時代	417点
8	槍	戦国時代の武田家家臣で、江戸時代には常陸国（茨城県）土浦藩主土屋家に伝来した槍。	江戸時代	1口

■寄 託

	資料名	特 徴	制 作 期	員 数
1	廣瀬家資料	嫁入りの際に用いた駕籠。	江戸時代	1点
2	納経帳	宝暦年間に勝沼（甲州市）出身の行者である九兵衛が廻国した際に作成した納経帳。	宝暦年間（1751～1764）	4冊
3	松井家資料	江戸時代に甲府勤番士を勤めた松井家に伝わった資料。系図、由緒書類、秩禄処分関係書類、脇差などからなる。	江戸時代～明治時代	17点
4	野呂瀬家資料	平沢村（甲州市）の野呂瀬家に伝わった江戸時代の村政に関する資料。	江戸時代	38点
5	北中原遺跡出土鋳型跡 複製	笛吹市一宮町塩田地区で発見された鋳物生産遺物の一部。鉄鍋と唐草文様をもつ容器（鍋の蓋か）の鋳型などが認められる。	鎌倉時代頃	1点

	資料名	特徴	制作期	員数
6	千手観音菩薩坐像（木喰作）	胸前で合掌し、腹前で宝鉢を抱いた、千手観音菩薩像。木喰が廻国満願を果たし、生誕地丸畑（南巨摩郡身延町）に帰郷した折建立した「四国堂」に安置されていた。	享和元年 （寛政13年・1801）	1躯
7	塩川下河原堤防遺跡出土粹類	韮崎市内を流れる塩川流域の旧堤防の脇から出土した治水用の粹類の遺構。	江戸時代～明治時代 （19世紀）	1基

### (3) 資料の整理・目録（データ）化

平成20年度は、新規収集した資料に加え、平成17年度に県立図書館より移管した資料（約85,000点）の整理と、目録（データ）化する作業を進めている。県立図書館移管資料については、平成23年度までの完了を目標として作業を進めている。また、登録データの公開作業も随時進めている。

#### ■資料の整理

新規に収集した未整理の資料について、保管容器への収納、ナンバリングを行う作業をしている。平成20年度は、引き続き職員による作業を進めているほか、8～9月、10～11月、2～3月の3回整理作業員を雇用し、新規収集資料の整理を実施した。また、県史編さん室からの移管資料の整理については、10～12月、2～3月の2回整理作業員を雇用し整理を実施した。

#### ■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業としてマイクロフィルムによる撮影、デジタル画像の作成を行い、全体の約9割が完了した。残りの資料については、さらに18～19年度の2ヶ年でマイクロ化・デジタル化を実施した。

本事業によって、甲州文庫資料のうち、古文書・図書・新聞雑誌類については、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開した。

撮影点数：23,019点（510,518コマ）

#### ■図書資料のデータ登録

収集した図書・雑誌類のデータ登録を、職員により随時行っている。平成20年3月現在の登録件数は27,661点となっている。

### (4) 資料の修復・管理

#### ①資料の修復等及び状態調査

##### ■修復資料

- ・「信玄堤絵図」（文政11年・1828）1点 軸装 縦79.1×横263.6cm
- ・「信玄堤絵図」（江戸時代後期・19世紀）1点 軸装 縦77.7×横177.0cm
- ・「古府中絵図」（慶応4年・1868）1鋪 縦103.0×横142.0cm

##### ■資料の重要性

信玄堤絵図は、甲斐市竜王にある信玄堤の江戸時代における状況が描写されている。江戸時代の信玄堤を描いた絵図は、他に甲斐市指定文化財「信玄堤絵図（1点、個人蔵）」のみが現存しており、当該資料は、山梨の風土から育まれた甲州流治水の様子を伝える、歴史的、科学技術的に貴重な資料である。

一方、古府中絵図は、江戸時代末期に書写された絵図であるが、武田氏が統治した戦国時代における甲府の町の様子が描かれている。同類の資料は、甲府市指定文化財となっている旧古府中村日影組絵図（1点、個人蔵）があり、当該資料は、甲府市街地の誕生を伝える歴史的に貴重な資料である。

##### ■修復者及び修復作業所

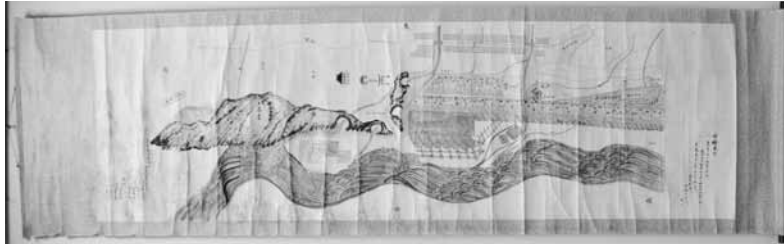
（株）墨仁堂 静岡県静岡市葵区大岩1-4-4

##### ■修復の内容

信玄堤絵図2点は、全体に強い折れが発生し、折れた箇所にも肌裏からの剥離が起きていた。また、本紙の広域に黴や染み、本紙・表具などに破れや欠損などが見られた。このため、表具を解体して、精製水に

よるクリーニング、膠水溶液による本紙及び絵具の剥落止め、欠失部への補紙、補紙への補彩を行い、軸木等を新調した。

一方、古府中絵図は、本紙の酸化劣化による欠失、全体に煤け、虫損による破れや染みが見られた。このため、クリーニング、絵具の剥落止め、旧裏打紙を外して欠失部への補紙、補紙への補彩を施し、畳を新調して元の形に畳む措置をした。



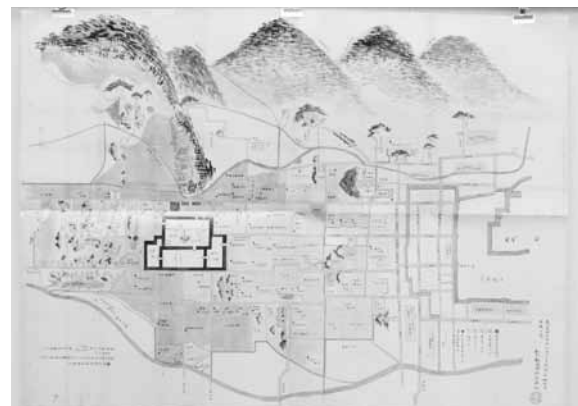
信玄堤絵図 修復前



信玄堤絵図 修復後



古府中絵図 修復前



古府中絵図 修復後

## ②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

### ■温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

### ■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、



外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

#### ■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いている。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等あまり注意しなくてよいものは150ルクス程度の照明を行っている。

#### ■生物被害管理

燻蒸庫に入らない大型資料のために一次収蔵庫において燻蒸を行った。期間は平成20年9月8日（月）から同年9月12日（金）である。燻蒸ガスにはエキヒュームSを使用した。勸文化財虫害研究所の判定結果により、虫・菌共に充分効果があったことが示された。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

### (5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民、博物館利用者の学習や調査研究等に活用するために、資料、情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日（日）より江戸時代以降の古文書・古記録・版木等が事前の申込なく閲覧できる即日閲覧業務を開始した。即日閲覧は、利用者に好評であり、114件460点を提供した。また、従来からの事前申請による原資料閲覧が、古文書等を中心として9件47点あった。

撮影は展示図録への掲載、調査研究などの目的で17件59点あり、書籍等への掲載、テレビ番組での使用などの資料写真の貸出は、120件397点となっている。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、5件88点の館外貸出を行った。

#### ■平成20年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等 即日閲覧	件数			15件	8件	24件	14件	13件	8件	6件	5件	10件	11件	114件
	点数			63点	18点	84点	41点	61点	36点	26点	11点	61点	59点	460点
歴史資料等閲覧	件数	2件	3件	1件	0件	0件	1件	1件	1件	0件	0件	0件	0件	9件
	点数	9点	16点	2点	0点	0点	17点	2点	1点	0点	0点	0点	0点	47点
歴史資料等撮影	件数	0件	1件	1件	2件	3件	4件	1件	3件	1件	1件	0件	0件	17件
	点数	0点	6点	1点	7点	16点	9点	4点	7点	5点	4点	0点	0点	59点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	8件	10件	10件	9件	6件	12件	10件	11件	8件	7件	11件	18件	120件
	点数	9点	12点	15点	14点	186点	28点	19点	20点	16点	28点	22点	28点	397点
歴史資料等貸出	件数	1件	1件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	5件
	点数	7点	10点	1点	0点	0点	3点	0点	0点	67点	0点	0点	0点	88点

※歴史資料等即日閲覧は平成20年6月からはじまったサービスである。

## 第4章 展 示

### (1) 常設展示

平成20年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行い資料の保存に対応するとともに、各回ごとに展示テーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容とすることを図った。また、毎週土曜日に「学芸員によるワンポイント展示解説」を実施し、学芸員が各回30分程度、来館者に常設展示の見どころをわかりやすく説明する機会を設けた。

#### ■展示資料一覧

##### ・展示期間

①平成20年2月24日（火）から平成20年4月21日（月）まで

②平成20年4月23日（水）から平成20年6月23日（月）まで

展示テーマ「武田特集」

③平成20年6月25日（水）から平成20年8月18日（月）まで

展示テーマ「富士山特集 聖徳太子から富士講まで 富士は日本一の山」

④平成20年8月20日（水）から平成20年10月20日（月）まで

展示テーマ「まぼろしの壺」

⑤平成20年10月22日（水）から平成20年12月15日（月）まで

展示テーマ「天晴れ！ 富嶽三十六景」

⑥平成20年12月17日（水）から平成21年2月23日（月）まで

展示テーマ「正月特集 お正月は博物館で初詣」

⑦平成21年2月25日（水）から平成21年4月20日（月）まで

展示テーマ「武田特集 山梨の春は 桜と桃と信玄公」

・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。

・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。

・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。  
なお、複製品は原資料の指定を記した。

・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行っている。

#### 【出品資料一覧】

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
<b>自然の森の中で</b>				
桂野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
釈迦堂遺跡渦巻文土器	縄文中期	釈迦堂遺跡博物館	◎	①②③④⑤⑥⑦
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
<b>甲斐の誕生</b>				
甲斐国分寺瓦（鬼瓦）	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺瓦（平瓦・丸瓦）	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺墨書土器	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
郷名墨書土器「石禾東」	平安	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
郷名墨書土器「玉井郷長」	平安	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」（複製）	奈良	山梨県立博物館（佐久市教育委員会）		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
寺本廃寺瓦	白鳳	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡瓦	白鳳	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木筒 馬司食糧伝票木筒①（複製）	奈良	山梨県立博物館（奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木筒 馬司食糧伝票木筒②（複製）	奈良	山梨県立博物館（奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木筒 馬司食糧伝票木筒③（複製）	奈良	山梨県立博物館（奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国印(推定復元)	奈良	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	奈良	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
東畑遺跡金銅仏	奈良	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
<b>甲斐の黒駒</b>				
大塚古墳出土横板板鋸短甲(複製)	古墳	山梨県立博物館(市川三郷町教育委員会)	○	①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
古柳塚古墳 馬具	古墳	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 馬下顎骨	古墳	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳	山梨県立博物館(東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳	山梨県立博物館(東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
中田遺跡 鈴		韮崎市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳 馬具	古墳	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳太刀、鉄鎌一括	古墳	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
宮間田遺跡「牧」墨書土器	平安	北杜市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
湯沢遺跡 鈴	平安	北杜市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
<b>水に取り組む</b>				
徳島堰筋絵図		山梨県立博物館		①②③④⑤
徳島堰当辰春定式御普請出来形帳	安政3年(1856)	山梨県立博物館		①②③④⑤
徳島平左衛門二百遠忌曼荼羅	明治17年(1884)	山梨県立博物館		①②③④⑤
算法地方大成	天保8年(1837)	山梨県立博物館		①②③④
甲斐國中首濫觴書	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④
甲斐国絵図	江戸	山梨県立博物館		③④
雨乞いの仏像		清水寺		①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 木製人形	平安	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
石尊祭の藁束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	江戸	山梨県立博物館(個人)		①②③④⑤⑥⑦
墨書土器「水神」	平安	忍野村教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
懐宝甲斐国絵図	天保13年(1842)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
為取替申内規定之事(萩原家資料)	元治元年(1864)	個人		⑤⑥⑦
御願書(萩原家資料)	慶応3年(1867)	個人		⑤⑥⑦
甲陽随筆(内藤家資料)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
<b>戦国からのメッセージ</b>				
織田信長禁制(今沢家資料)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		①
織田信長禁制(三井家資料)	天正10年(1582)	個人		②
武田家朱印状	元亀2年(1571)	山梨県立博物館		②
織田信長禁制(本庄家資料)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		③④
徳川家康禁制(南松院資料)	天正10年(1582)	南松院	○	⑤⑥
武田晴信感状(三井家資料)	弘治3年(1557)	個人		⑦
妙法寺記	江戸	山梨県立博物館		①②
勝山古記(勝山記写本)	江戸(19世紀)	個人		③④⑦
富士講経巻(藤原月旺御見抜書写本)	天和3年(1683)	山梨県立博物館		③④⑤⑥
平成20年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成20年(2008)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
平成21年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成21年(2009)	山梨県立博物館		⑦
筒粥神事の道具	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
<b>山に生きる</b>				
武田家朱印状(田辺家資料)	天正9年(1581)	山梨県立博物館	○	①②
徳川家康朱印状(田辺家資料)	文禄2年(1593)	山梨県立博物館	○	③④
武田家朱印状(田辺家資料)	永禄3年(1560)	山梨県立博物館	○	⑤
徳川家康朱印状(田辺家資料)	天正10年(1582)	山梨県立博物館	○	⑥⑦
田辺伊織先祖書(田辺家資料)	寛政3年(1791)	山梨県立博物館	○	⑦
佐野山御小屋見取図(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		①②
穴山信君判物(佐野家資料)	天正18年(1590)	個人		①②
平野村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市		③
平野村と相州世附村他との境論裁許状(甲州文庫)	弘化4年(1847)	山梨県立博物館		③
材木伐出図巻	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
富士山裾野入会場伐木一札(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
市川御役紙入札に付触書(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		①
新倉山・奈良田山材木運上差出請負願(甲州文庫)	延宝2年(1674)	山梨県立博物館		①
焼畑農事日記	大正	個人		①
新規紙漉稼願書控(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
枡、焼き鋲（深沢家資料）	近代	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
大鋲	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐叢記	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州金（一分金 甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
焼畑衣装（再現品）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
<b>里にくらす</b>				
富札（甲州文庫）		山梨県立博物館		①②
富仕法書（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①②
城古村絵図	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草包装紙	明治22年（1889）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
市川通覧	大正5年（1916）	山梨県立博物館		①②③④
おかふと		山梨県立博物館		①
荒物値段書上（甲州文庫）		山梨県立博物館		①
関流算術乗除開		山梨県立博物館		①
おかふと		山梨県立博物館		②③④⑤⑥
東山梨娘見立鏡（向山家資料）	明治25年（1892）	山梨県立博物館		②③④
算術書（内藤家資料）	江戸	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
算盤		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
木綿値段書上控（甲州文庫）	享保9年（1724）	山梨県立博物館		①②
煙草庖丁	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草箱（甲州文庫）	明治	山梨県立博物館		①②
煙草箱	明治	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
千野村絵図（複製）	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍馬帽	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
議定書之事（萩原家資料）	嘉永7年（1854）	個人		③④⑤⑥
屋敷見取図（萩原家資料）	江戸	個人		③④⑤⑥⑦
地家相考察委記（萩原家資料）		個人		③④⑤⑥⑦
裏見寒話	江戸	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
舌代 口演 請状之事（小澤家資料）	江戸	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
白鹿洞書院揭示（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		⑦
火災除ノ鶏図（河野家資料）		個人		⑦
他国替女入込差止方願書（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		⑦
<b>城下町の賑わい</b>				
稲荷曲輪出土瓦	江戸（17世紀）	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御免出札詰（甲州文庫）		山梨県立博物館		①②
御免突富興行記（甲州文庫）		山梨県立博物館		①②③
道祖神祭礼の心得につき達	明治4年（1871）	山梨県立博物館		①②③
甲府城平面之図（甲州文庫）	明治	山梨県立博物館		①②
甲府城跡出土鯉瓦	江戸	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
八日町高札立替につき達（甲州文庫）		山梨県立博物館		①②③
高札	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木簡		甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
数寄屋曲輪出土大型円形瓦	室町（16世紀）	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
本丸出土花菱紋瓦	江戸（18世紀）	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州道中道法（福島家資料）		個人		①②
御免出札詰（甲州文庫）		山梨県立博物館		①②
御免突富興行記（甲州文庫）		山梨県立博物館		①②
盆石の道具（大木家資料）		山梨県立博物館		①
馬毛付年付尺付改帳（甲州文庫）		山梨県立博物館		①
犬子毛色書上（甲州文庫）		山梨県立博物館		①
町中犬改の帳（甲州文庫）		山梨県立博物館		①
甲州枡（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		②③④⑤
甲州枡ほか使用枡書付（甲州文庫）	宝暦9年（1759）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
丸持鑑（甲州文庫）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		②③④⑤
甲府買物独案内	明治5年（1872）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
輪宝	江戸（17世紀）	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府郭内外邸第図（赤岡重樹旧蔵資料）		山梨県立博物館		③④⑤
百富士（甲州文庫）	明和4年（1767）	山梨県立博物館		③④⑤
受取通（頼生文庫）		山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
仰渡書（福島家資料）		個人		③④⑤⑥
人間一生善悪道中独案内（甲州文庫）	寛政8年（1796）	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
升屋熨斗袋（大木家資料）		山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
指上申一札之事（甲州文庫）	天和2年（1682）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
松亭開業案内状（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲斐名所寿古六（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		⑥
甲府上水堰筋普請入用金割合町々廻文（頼生文庫）	江戸	山梨県立博物館		⑦
宝船図（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		⑦
道祖神祭礼旧式悪例改方に付願書（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		⑦
道祖神祝儀並に諸入用永代帳（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		⑦
<b>変貌する景観</b>				
離縁状之事	万延元年（1860）	山梨県立博物館		①②③④
差出申離縁状之事	江戸	山梨県立博物館		①②③④
山梨県名勝図	明治	山梨県立博物館		①②③
山梨県甲府各家商業便覧	明治18年（1885）	山梨県立博物館		①②③
ビール醸造開業広告	明治	山梨県立博物館		①②
絹糸（蘭系検査事務所資料）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山藪の糸（蘭系検査事務所資料）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府勸業試験場出土ワイン瓶	明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
職人絵（大木家資料）	大正	山梨県立博物館		①②
職人絵（大木家資料）	大正	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
大日本山梨葡萄酒会社株券（甲州文庫）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		③④⑤⑥
甲州生糸商標		山梨県立博物館		④⑤⑥
差出申一札之事（萩原家資料）	宝暦元年（1751）	個人		⑤⑥⑦
離縁状（甲州文庫）	嘉永4年（1851）	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
桑葉写（河野家資料）	明治22年（1889）	個人		⑦
生糸商標登録願及び商標見本（甲州文庫）	明治17年（1884）	山梨県立博物館		⑦
大日本山梨葡萄酒会社株券状（葡萄酒会社関係資料）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		⑦
<b>信仰の足跡</b>				
役行者像（複製）	平安（12世紀）	山梨県立博物館（円楽寺）		①②⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒（複製）	康和5年（1103）	山梨県立博物館（東京国立博物館）	◎	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品（釘、古銭、鏡、薙鎌）	平安～明治	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
蔵王権立像	平安（12世紀）	山梨県立博物館	○	①②③④⑤
地藏菩薩立像	乾元2年（1303）	個人		①②⑥⑦
富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻（複製）	平安	山梨県立博物館（個人）		①②③④⑤⑥⑦
愛染明王坐像（複製）	平安（12世紀）	山梨県立博物館（放光寺）	◎	①②③④⑤⑥⑦
聖観音菩薩立像	鎌倉	山梨県立博物館		①⑦
韋駄天像	室町（14世紀）	個人		②③④⑤
罽口	享禄元年（1528）	蓮華寺	○	③④⑤
富士山牛玉	江戸	山梨県立博物館		③
歌川貞秀筆 大日本富士山絶頂之図	安政4年（1857）	山梨県立博物館		④
曼荼羅本尊	鎌倉	妙了寺		⑥
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図①		山梨県立博物館		⑥
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図②		山梨県立博物館		⑦
<b>甲斐を駆ける武士たち</b>				
楯無鑑復元品	平安～鎌倉	山梨県立博物館（菅田天神社）	●	①②③④⑤⑥⑦
関東下知状（複製）	応長元年（1311）	山梨県立博物館（大善寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
長寛勘文写本（複製）	江戸	山梨県立博物館（熊野神社）	◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品（複製）	建久8年（1197）	山梨県立博物館（個人）	○	①②③④⑤⑥⑦
諏訪神号旗（複製）	室町	山梨県立博物館（恵林寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗（複製）	室町	山梨県立博物館（恵林寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
小笠原流礼法書	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
犬追物図説	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
大般若経（南松院資料）	室町	南松院	○	①②③④⑤
武田晴信像（複製）	室町	山梨県立博物館（持明院）		①③④⑤⑥⑦
武田二十四将図	江戸	山梨県立博物館		①
恵林寺殿百回忌香語（南松院資料）	寛文12年（1672）	南松院	○	①
武田晴信判物（今沢家資料）	弘治3年（1557）	山梨県立博物館		①
武田晴信書状	室町（16世紀）	山梨県立博物館		①
土佐光起筆 武田信玄・上杉謙信像	元禄元年（1688）	山梨県立博物館		②
武田家朱印状	天正4年（1576）	山梨県立博物館		②
武田信玄像	江戸	山梨県立博物館		③
歌川芳虎筆 武田信玄出陣之図（甲州文庫）	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		③
武田家朱印状	天正2年（1574）	山梨県立博物館		④
甲陽軍鑑（甲州文庫）	江戸（17世紀）	山梨県立博物館		④
絵本信玄一代記（甲州文庫）	寛政2年（1790）	山梨県立博物館		④
武田二十四将図	江戸	南松院		⑤
法華経（南松院資料）	応仁元年（1467）	南松院	○	⑤
南松院殿十七年忌香語（南松院資料）	天正10年（1582）	南松院	○	⑤
武田信玄の食膳再現		山梨県立博物館		⑥⑦
武田晴信条目（今沢家資料）	弘治3年（1557）	山梨県立博物館		⑦
武門便効	宝暦7年（1757）	山梨県立博物館		⑦
信玄公御屋形図	江戸	山梨県立博物館		⑦
<b>川を彩る高瀬舟</b>				

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
鯨沢河岸跡 ガラス瓶	明治～大正	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯨沢河岸跡出土遺物	江戸～明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯨沢河岸跡出土動物遺体		山梨県立考古博物館		①②③
鯨沢河岸跡出土泥面子	明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川運関係会社印鑑類	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川鯉湖工事記念碑銘（甲州文庫）		山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
水形難場有形図（甲州文庫）		山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
地理教育富士川唱歌（甲州文庫）	明治34年（1901）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
峡算須知（甲州文庫）		山梨県立博物館		①②③④
諸事覚留（河野家資料）	享保11年（1726）	個人		⑤⑥⑦
<b>道がつなぐ出会い</b>				
上花咲宿本陣関係資料	江戸	山梨県立博物館		①
右左口の人形芝居のかしらほか用具一式	江戸	宿区	○	①③④
龍水之図	寛政10年（1798）	山梨県立博物館		②
神号	江戸（18世紀）	山梨県立博物館		②
萩原木食繁昌写本（若尾資料）	大正5年（1916）	山梨県立博物館		②
木食白道筆 七福神図	江戸（18世紀）	山梨県立博物館		②（～5/18）
木食白道作 恵比寿大黒天像	江戸（18世紀）	山梨県立博物館		②（～5/18）
黒駒太子像（富士参詣曼荼羅）	室町（16世紀）	山梨県立博物館		③
葛飾北斎筆 『富嶽百景 初編』より「役ノ優婆塞富嶽草創」	天保5年（1834）	山梨県立博物館		③
池大雅筆 富岳図	江戸（18世紀）	山梨県立博物館		③
賀茂鷹季著 不二日記（富士日記写本）	江戸	山梨県立博物館		③
仮名垣魯文作・歌川芳虎画 『滑稽富士詣 九』より「英国の minstrel 主従富士登山東海旅行の図」	万延元年（1860）	山梨県立博物館		③
歌川国輝筆 富士山諸人参詣図	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		③
松園梅彦著 富士山道しるへ 前編	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		③
英一蝶筆 富士図	江戸（18世紀）	山梨県立博物館		④
猿橋模型	昭和59年（1984）	山梨県立博物館		⑤⑥
歌川広重筆 甲陽猿橋之図	天保12年（1841）頃	山梨県立博物館		⑤
甲州道中分間延絵図模本	-	山梨県立博物館		⑤⑥
富岡鉄斎筆 甲斐猿橋図（大木コレクション）	明治	山梨県立博物館		⑥
三枝雲岱筆 御嶽道絵巻	弘化4年（1847）	山梨県立博物館		⑦
竹邨三陽筆 甲斐御嶽新道図	嘉永5年（1852）	山梨県立博物館		⑦
武田家朱印状（田辺家資料）	永禄3年（1560）	山梨県立博物館		②
八日市場 市場之図	寛政5年（1793）	山梨県立博物館		②⑦
古府中絵図	江戸	山梨県立博物館		②⑦
徳川家康朱印状（右左口区有文書及び関連資料一括）	天正10年（1582）	宿区	○	③
右左口村絵図（右左口区有文書及び関連資料一括）	天保13年（1842）	宿区	○	④
石榎（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③④
鑑札（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③④
焼小手（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③④
渥美短頸壺	平安	個人	○	①②③④
渥美焼 壺（金地蔵遺跡出土）	平安（12世紀）	笛吹市教育委員会		⑤⑥⑦
新巻常滑大甕	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
駒橋出土埋蔵銭	室町	個人		①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
瀬戸焼	鎌倉	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
染付皿	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
躰躰ヶ崎館跡出土陶磁器	室町	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
灰釉皿	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
東原 常滑甕	鎌倉	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
無紋碗	室町	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
木喰五行作 弘法大師像	寛政13年（1801）	山梨県立博物館		①（～4/3） ③（8/1～） ④⑤⑥⑦
<b>江戸文化の往来</b>				
八ッ沢村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	①
朝日曾離村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	②
古川渡村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	③
強瀬村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	④
境村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	⑤
四日市場村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	⑥
真木村絵図（森嶋家資料）	文化3年（1806）	都留市	◇	⑦
甲斐国志写本	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
狩野派 桃鳩図（大木コレクション）	江戸（17～18世紀）	山梨県立博物館		①
源季俊筆 雛図（大木コレクション）	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
雛人形(大木コレクション)	近代	山梨県立博物館		①
歌川国芳筆 武田上杉川中嶋合戦の図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		②⑦
歌川国芳筆 武田上杉川中嶋大合戦図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		②⑦
歌川芳綱筆 西條山引返之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		②
歌川芳虎筆 天文二十三年武田上杉川中島大合戦図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		②⑦
歌川芳員筆 永禄四年九月川中嶋大合戦	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		②
三代歌川豊国筆 謙信武田ノ旗本へ乱入之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		②⑦
二代歌川国綱筆 甲越両将川中島大戦	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		②
歌川貞秀筆 川中島合戦図	江戸 19世紀	山梨県立博物館		⑦
亀屋座芝居番付	文政7年(1824)	山梨県立博物館		③
七代目市川団十郎の暫(しばらく)	文政7年(1824)	山梨県立博物館		③
市川海老蔵(七世団十郎)の死絵 冥土の飛脚	安政6年(1859)	山梨県立博物館		③
三代歌川豊国筆 八代目市川団十郎死絵	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		③
阿ふむせき(鸚鵡石)	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		③
升太宛七世団十郎書簡	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		③
新製親玉おこしらし 七代目団十郎の暫	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		③
菓子題箋「升てあら」	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		③
菓子題箋「志の々め(東雲)」	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		③
東錦絵貼込帖	江戸~明治(19世紀)	山梨県立博物館		③
竹邨三陽筆 群鹿図屏風(大木コレクション)	天保13年(1842)	山梨県立博物館		③
天龍道人筆 葡萄図(大木コレクション)	享和元年(1801)	山梨県立博物館		④
天龍道人筆 葡萄図(大木コレクション)	享和元年(1801)	山梨県立博物館		④
天龍道人筆 葡萄図(大木コレクション)	享和元年(1801)	山梨県立博物館		④
天龍道人筆 山水押絵貼屏風(大木コレクション)	江戸(18~19世紀)	山梨県立博物館		④
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 甲州三坂水面	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 甲州伊沢暁	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 尾州不二見原	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 相州七里濱	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 駿州江尻	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 江戸日本橋	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 五百らかん寺さざみどう	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 深川万年橋下	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 武州玉川	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 本所立川	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ ~11/17
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 凱風快晴	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 甲州石班澤	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 甲州伊沢暁 別本	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 遠江山中	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 常州牛堀	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 武陽佃島	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 御厨川岸より兩國橋夕陽見	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 隅田川関屋の里	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 穂田の水車	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~
葛飾北斎筆 富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	天保2~4年(1831~33)	山梨県立博物館		⑤ 11/19~

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧 (複製)		山梨県立博物館		①②③④⑤⑦
歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧	天保12年 (1841)	山梨県立博物館	○	⑥
東海道五十三次画稿	江戸 (19世紀)	個人		⑥
甲州道中記写本	慶応2年 (1866)	山梨県立博物館		⑥
<b>転換期に向き合う</b>				
勝沼駅近藤勇騎勇之図	明治	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
天保騒動の瓦版 (甲州文庫)		山梨県立博物館		①②③④
近世侠客有名鑑		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
差出申一札之事	天保8年 (1837)	個人		①②③
乍恐以書付願上候	文久3年 (1863)	個人		①②③
天保騒動の一揆進行の絵図 (複製)		個人		①②③④⑤⑥⑦
小池嘉兵衛書状 (渡辺家資料)	江戸	山梨県立博物館		④
小池嘉兵衛書状 (渡辺家資料)	江戸	山梨県立博物館		④
差出申一札之事 (渡辺家資料)	寛政7年 (1795)	山梨県立博物館		④
<b>巨富を動かす</b>				
神名川横浜新開港図	江戸 (19世紀)	山梨県立博物館		①②③④
甲州産物書上帳 (篠原家資料)	江戸 (19世紀)	山梨県立博物館		①
おもちゃ籠	大正	山梨県立博物館		①②③④
相場に関する書簡 (篠原家資料)	文久2年 (1862)	山梨県立博物館		②
相場に関する書簡 (篠原家資料)	文久2年 (1862)	山梨県立博物館		③④
小林一三の著書	昭和	山梨県立博物館		②③④
小林一三の著書 (甲州文庫)	昭和	山梨県立博物館		⑥
小説「練糸痕」(甲州文庫)		山梨県立博物館		①⑥
若尾逸平扇面	明治	山梨県立博物館		①②③④
若尾逸平銅像模型	明治	個人		①②③④
練糸痕につき宮武外骨宛小林一三書簡 (古文書雑輯 (2))	昭和	山梨県立博物館		④⑤⑥
宮武外骨宛 小林一三書簡 (古文書雑輯 (2))	昭和	山梨県立博物館		⑤⑥
神奈川港御貿易御開地御役屋敷並町々寺院社地至迄明細大絵図にあらわす (篠原家資料)	安政6年 (1859)	山梨県立博物館		⑦
甲州屋の横浜進出に関する書簡 (篠原家資料)	安政6年 (1859)	山梨県立博物館		⑦
甲州産物書上帳 (篠原家資料)	安政6年 (1859)	山梨県立博物館		⑦
相場に関する書簡 (篠原家資料)	文久2年 (1862)	山梨県立博物館		⑦
葡萄酒の品質に関する書簡 (葡萄酒会社関係資料一括)	明治	山梨県立博物館		⑦
<b>共生する社会</b>				
スチブナール	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
大水害被害記録并絵図 (古屋家資料)	明治40年 (1907)	山梨県立博物館		②
山梨県農会よりの大水害善後策に付報告書 (篠原家資料)	明治40年 (1907)	山梨県立博物館		②
私の家の平面図と防空計画 (樋口家資料)	昭和	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠プレート	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
『観光』	昭和	山梨県立博物館		①
山梨県山林救済意見 (甲州文庫)	明治	山梨県立博物館		①②
山梨県水害史	明治	山梨県立博物館		①
水害時に使用した舟	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
北海道移住者調	大正	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
満蒙開拓団引き揚げ関係書類	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
E46集束焼夷弾 (模型)	-	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
家庭防空の手引き	昭和	山梨県立博物館		①
少年倶楽部	昭和	山梨県立博物館		①②
明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記(古文書雑輯(2))	明治40年 (1907)	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
明治四十年及四十三年水害区間一覧図 (若尾資料)	大正	山梨県立博物館		③④⑤
山梨県下水害水宮本流社土かぞえ歌 (甲州文庫)	明治40年 (1907)	山梨県立博物館		③④⑤⑥
米機の撒いた宣伝ビラ	昭和20年 (1945)	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
大向国民学校防空計画 (樋口家資料)	昭和	山梨県立博物館		⑥
戦時中の教科書 (音楽) (樋口家資料)	昭和	山梨県立博物館		⑦
戦時中の教科書 (修身) (樋口家資料)	昭和	山梨県立博物館		⑦
戦時中の教科書 (裁縫) (樋口家資料)	昭和	山梨県立博物館		⑦

■学芸員によるワンポイント展示解説

開催日	担当者	内 容	展示コーナー
4/5	海老沼	甲斐の国とは	甲斐の誕生
4/12	西川	武田信玄の遺言	甲斐を駆ける武士たち
4/19	井澤	絵巻物体験	遊びの現場
4/26	近藤	木食白道の微笑仏	道がつなぐ出会い
5/3	高橋	ジオラマの楽しみ方	里に暮らす、城下町の賑わい



開催日	担当者	内 容	展示コーナー
5/10	丸 尾	道祖神、道切りと村境	里に暮らす
5/17	植 月	鯉沢に運ばれた海の幸	川を彩る高瀬舟
5/24	小 畑	明治40年の大水害と北海道移住	共生する社会
5/31	沓 名	博物館の展示環境	メイン展示
6/7	海老沼	古代の地名	甲斐の誕生
6/14	西 川	描かれた信玄	甲斐を駆ける武士たち、江戸文化の往来
6/21	近 藤	武田家ゆかりの章駄天像	信仰の足跡
6/28	井 澤	はじめての富士登山-黒駒太子-	道がつなぐ出会い
7/5	中 山	植物の化石から古環境を探る	研究の現場
7/12	小 畑	蝦夷富士の麓にひらかれた「山梨村」	共生する社会
7/19	植 月	どこのウマの骨？	甲斐の黒駒
7/26	近 藤	信仰のタイムカプセル-富士に納められた経典-	信仰の足跡
8/2	西 川	占いが告げる富士山麓の一年	戦国からのメッセージ
8/9	高 橋	探けん！江戸時代	里に暮らす、城下町の賑わい
8/16	井 澤	歌舞伎といったら団十郎	江戸文化の往来
8/23	海老沼	木簡のはなし	甲斐の誕生、甲斐の黒駒
8/30	中 山	ドングリを食べた縄文人	自然の森の中で
9/6	丸 尾	いじめられる神仏たち	水に取り組む
9/13	小 畑	水辺の貝と虫と人-地方病とのたたかい-	共生する社会
9/20	中 山	まぼろしの壺	メイン展示
9/27	沓 名	博物館の展示環境2	メイン展示
10/4	丸 尾	展示室で神さま探し	里に暮らす
10/11	高 橋	やくざ街道まっしぐら-黒駒の勝蔵-	転換期に向き合う、里に暮らす
10/18	海老沼	藤原顕長って誰？	メイン展示
10/25	植 月	ホネから探る食生活	研究の現場
11/1	井 澤	天晴れ富嶽三十六景	江戸文化の往来
11/8	沓 名	博物館の展示環境3	メイン展示
11/15	植 月	縄文人とイノシシ	自然の森の中で
11/22	西 川	富嶽三十六景 ご当地案内つかまつり候	江戸文化の往来
11/29	中 山	水車で粉をひく	里に暮らす
12/6	高 橋	わたしの城下町♪	城下町の賑わい
12/20	近 藤	伊豆から富士へひとつとび-役行者のはなし-	信仰の足跡
1/3	小 畑	1月3日に生まれて-小林一三とお正月展示-	巨富を動かす
1/10	西 川	信玄堤	山梨の舞台、シンボル展示
1/17	沓 名	博物館の展示環境4	メイン展示
1/24	近 藤	衆星の光を射るが如し-愛染明王について-	信仰の足跡
1/31	丸 尾	もうすぐ節分！「投げる」の民俗	メイン展示
2/7	海老沼	日蓮の曼荼羅本尊	信仰の足跡、企画展示
2/14	高 橋	極道の世界への招待	転換期に向き合う他
2/21	井 澤	広重の甲府道祖神幕	江戸文化の往来
2/28	植 月	豪華！信玄御膳を再現する	甲斐を駆ける武士たち
3/7	沓 名	博物館の展示環境5	メイン展示
3/14	丸 尾	甲斐のおかぶとと節供習俗	シンボル展示
3/21	小 畑	顔からさがす！やまなし人物伝	出会いの現場他
3/28	中 山	黄金の国-甲斐の国	山に生きる

## (2) 企画展・シンボル展

### ■開催企画展・シンボル展一覧

	展 覧 会 名	会 期
① 企画展	i 木喰展 生誕290年 -庶民の信仰・微笑仏-	平成20年4月5日(土)から同年5月6日(火)まで
	ii 文化財を まもる・しらべる・つたえる	平成20年7月12日(土)から同年9月1日(月)まで
	iii 甲州食べもの紀行 -山国の豊かな食文化-	平成20年10月11日(土)から同年12月8日(月)まで
	iv 新指定文化財展 甲斐の国のたからもの	平成21年1月30日(金)から同年3月2日(月)まで
② シンボル展	i 木食白道 -知られざるもう一人の木食-(木喰展連続開催)	平成20年5月21日(水)から同年6月30日(月)まで
	ii 信玄堤	平成20年12月17日(水)から平成21年1月19日(月)まで
	iii 消えたおかぶと -節供人形カナカンブツの謎を追う-	平成21年3月11日(水)から同年4月13日(月)まで

① 企画展

i 木喰展 生誕290年 一庶民の信仰・微笑仏一

【会 期】平成20年4月5日（土）から同年5月6日（火）まで  
会期日数32日、公開日数29日

【主 催】山梨県立博物館、UTYテレビ山梨

【協 力】全国木喰研究会

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨日日新聞社、読売新聞甲府支局、笛吹農業協同組合、山梨学院大学、山梨中央銀行

【会 場】企画展示室

【入場者数】8,980人

【担 当】学芸員 近藤暁子、海老沼真治

【概 要】

木喰五行（行道、明満）は、享保3年（1718）、甲斐国八代郡古閑村丸畑（現身延町）に生まれ、22歳で出家し、56歳のとき廻国修行を志した。60歳を過ぎてから仏像を彫りはじめ、93歳で亡くなるまで、北海道から九州に及ぶ全国を遍歴し、独特の微笑をたたえた仏像を刻み続け、その数は千体を超えるといわれる。本展は、木喰生誕290周年にあたり、全国に遺された木喰の仏像・書画およそ160点から、その足跡をたどり、人物像に迫ることを目的とした。

【関連イベント】

■特別記念講演会「庶民の信仰 微笑仏」

- ・主 催 山梨県立博物館、山梨郷土研究会
- ・日 時 平成20年4月20日（日）午後1時30分～午後3時
- ・会 場 県総合教育センター大研修室
- ・講 師 小島梯次氏（全国木喰研究会評議員）

■かいじあむ講座「木喰の故郷－甲斐に残された仏たち」

- ・日 時 平成20年4月27日（土）午後1時30分～午後3時
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 近藤暁子（当館学芸員）

■学芸員によるギャラリートーク

- ・日 時 平成20年4月5日（土）、12日（土）、13日（日）、30日（水）、5月3日（土）  
午後1時30分から1時間程度

■企画展ゆかりの地ツアー「木喰の故郷・丸畑を歩く」

- ・日 時 平成20年4月24日（木） 午後0時50分～4時  
平成20年4月29日（火・祝）午前10時30分～午後4時

【出品資料一覧】

○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

番号	作 品 名	制 作 年	西 暦	木喰の年齢	法 量 (cm)	所 蔵 者	所 在 地	指定
【第1期】三界無庵無佛 木食行道								
1	大黒天	天明2年	1782	65	94.5		新潟県佐渡市	
2	地藏菩薩	天明3年4月18日	1783	66	56.5	円徳寺	新潟県佐渡市	
3	三面大黒天	天明4年8月子日	1784	67	25.0		新潟県佐渡市	
4	地藏菩薩	天明5年3月	1785	68	80.0	富月寺	新潟県佐渡市	
5	地藏菩薩	天明6年3月11日	1786	69	36.5		山梨県韮崎市	◇
6	観音菩薩	天明6年3月14日	1786	69	43.5		山梨県韮崎市	◇
7	狛犬阿形	天明6年9月	1786	69	70.0	竹田神社	滋賀県東近江市	
8	狛犬吽形	天明6年9月	1786	69	69.0	竹田神社	滋賀県東近江市	
9	神像	天明8年2月3日	1788	71	110.0	鴨神社	香川県坂出市	



展覧会ちらし



展示風景

番号	作 品 名	制 作 年	西 暦	木喰の年齢	法 量 (cm)	所 蔵 者	所 在 地	指定
<b>【第2期】天一自在法門 木食(喰) 五行菩薩Ⅰ</b>								
10	地藏菩薩	寛政10年1月24日	1798	81	102.0	宝宗寺	山口県萩市	◇
11	不動明王	寛政10年2月12日	1798	81	99.0	宝宗寺	山口県萩市	◇
12	大日如来	寛政10年11月8日	1798	81	110.0	極楽寺	山口県宇部市	
13	釈迦如来	寛政10年11月23日	1798	81	105.0	極楽寺	山口県宇部市	
14	無量寿如来	寛政10年11月26日頃	1798頃	81頃	106.0	極楽寺	山口県宇部市	
15	宝生如来	寛政10年11月16日	1798	81	110.0	極楽寺	山口県宇部市	
16	阿閼如来	寛政10年11月26日	1798	81	112.0	極楽寺	山口県宇部市	
17	阿難	寛政11年2月15日	1799	82	100.2	極楽寺	山口県防府市	◇
18	迦葉	寛政11年2月18日	1799	82	102.0	極楽寺	山口県防府市	◇
19	子安観音菩薩	寛政11年2月23日	1799	82	82.0	極楽寺	山口県防府市	◇
20	子安観音菩薩	寛政11年2月28日	1799	82	61.0	極楽寺	山口県防府市	◇
21	子安観音菩薩	寛政11年6月28日	1799	82	72.0	光明寺	愛媛県四国中央市	
22	如意輪観音菩薩	寛政11年6月28日	1799	82	89.0	光明寺	愛媛県四国中央市	
23	十一面観音菩薩	寛政11年11月12日	1799	82	113.0	観音堂	愛知県新城市	◇
24	大黒天	寛政11年12月頃	1799頃	82頃	30.0	甲子講	愛知県新城市	
25	子安観音菩薩	寛政12年2月1日	1800	83	102.0	徳蔵寺	愛知県新城市	◇
26	子安地藏菩薩	寛政12年6月2日	1800	83	121.0	蓮華寺	静岡県周知郡	
27	聖徳太子	寛政12年6月4日	1800	83	85.0	泉龍寺	静岡県周知郡	
28	毘沙門天	寛政12年7月2日	1800	83	125.0	常楽院	静岡県藤枝市	◇
29	聖徳太子	寛政12年7月5日	1800	83	112.5	光泰寺	静岡県志太郡	◇
30	吉祥天	寛政12年7月21日	1800	83	95.0	大日堂	静岡県焼津市	◇
31	不動明王	寛政12年7月23日	1800	83	95.0	大日堂	静岡県焼津市	◇
32	子安観音菩薩	寛政12年8月8日	1800	83	96.0	梅林院	静岡県志太郡	◇
33	薬師如来	寛政12年8月8日	1800	83	95.0	梅林院	静岡県志太郡	◇
34	子安地藏菩薩	寛政12年8月12日	1800	83	138.0	十輪寺	静岡県志太郡	◇
35	日蓮上人	寛政12年10月12日	1800	83	30.8	金龍寺	山梨県南巨摩郡	◇
36	薬師如来	寛政12年10月26日	1800	83	107.2	静仙院薬師堂	山梨県南巨摩郡	◇
39	薬師如来	享和元年(寛政13年)	1801	84	75.9		東京都杉並区	
41	薬師如来	享和元年(寛政13年)	1801	84	70.8		神奈川県川崎市	
42	阿彌陀如来	享和元年(寛政13年)	1801	84	70.5	香象院	神奈川県横浜市	
43	弘法大師	享和元年(寛政13年)	1801	84	54.5	山梨県立博物館	山梨県笛吹市	
44	千手観音菩薩	享和元年(寛政13年)頃	1801頃	84頃	72.0		山梨県甲州市	
46	薬師如来	享和元年(寛政13年)	1801	84	71.0	成信坊	愛知県津島市	
47	釈迦如来	享和元年(寛政13年)	1801	84	72.0		京都府京都市	
48	千手観音菩薩	享和元年(寛政13年)	1801	84	70.0	一燈園資料館「香倉院」	京都府京都市	
49	観音菩薩	享和元年(寛政13年)	1801	84	73.0	日本工芸館	大阪府浪速区	
<b>【第3期】天一自在法門 木喰(食) 五行菩薩Ⅱ</b>								
50	聖観音菩薩	文化元年6月10日	1804	87	85.0	寶生寺	新潟県長岡市	○
51	十一面観音菩薩	文化元年6月11日	1804	87	92.0	寶生寺	新潟県長岡市	○
52	如意輪観音菩薩	文化元年6月14日	1804	87	89.0	寶生寺	新潟県長岡市	○
53	三面馬頭観音菩薩	文化元年6月19日	1804	87	90.0	寶生寺	新潟県長岡市	○
54	千手観音菩薩	文化元年7月4日	1804	87	90.0	寶生寺	新潟県長岡市	○
55	准胝観音菩薩	文化元年7月10日	1804	87	91.5	寶生寺	新潟県長岡市	○
56	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	68.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
57	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	63.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
58	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	69.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
59	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	71.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
60	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	65.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
61	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	65.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
62	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	68.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
63	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	69.8	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
64	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	65.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
65	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	65.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
66	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	67.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
67	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	67.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
68	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	66.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
69	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	63.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
70	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	66.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
71	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	68.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
72	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	69.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
73	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	65.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
74	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	69.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
75	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	65.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇

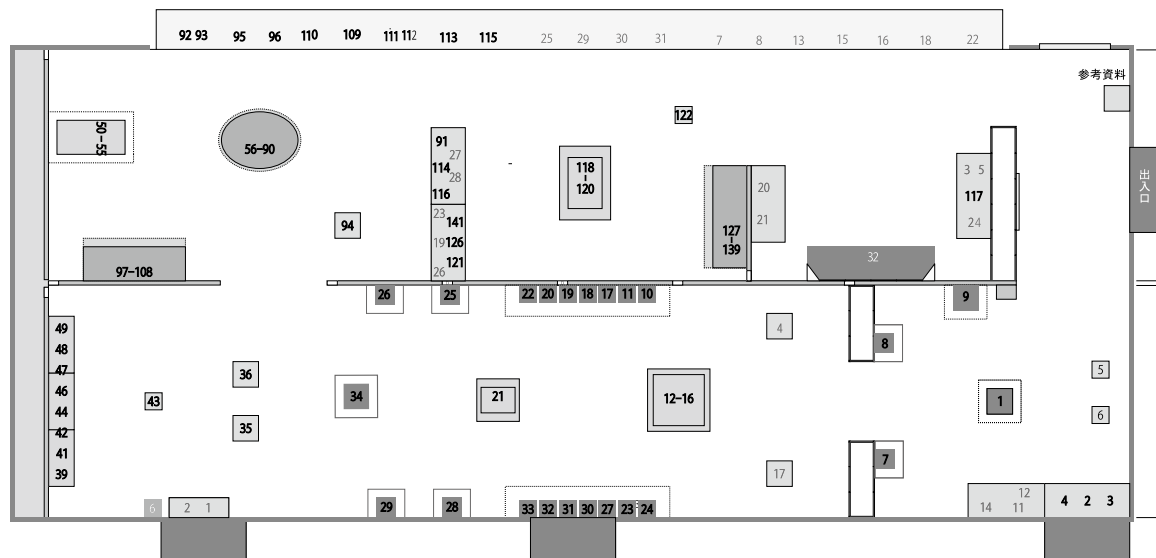
第Ⅱ編 事業・諸活動

番号	作 品 名	制 作 年	西 曆	木喰の年齢	法 量 (cm)	所 蔵 者	所 在 地	指定
76	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	67.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
77	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	71.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
78	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	63.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
79	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	63.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
80	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	62.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
81	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	62.3	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
82	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	66.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
83	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	67.7	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
84	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	66.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
85	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	68.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
86	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	66.0	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
87	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	66.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
88	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	70.8	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
89	秩父三十四所観音菩薩	文化元年7月～8月	1804	87	67.5	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
90	自身像	文化元年8月15日	1804	87	79.6	金毘羅堂	新潟県長岡市	◇
91	金毘羅大権現	文化元年8月13日	1804	87	50.0	真福寺	新潟県長岡市	
92	不動明王	文化2年3月28日	1805	88	91.0	圓藏寺	新潟県上越市	
93	毘沙門天	文化2年4月3日	1805	88	95.0	圓藏寺	新潟県上越市	
94	薬師如来	文化2年6月5日	1805	88	57.0		新潟県柏崎市	
95	興教大師	文化2年6月19日	1805	88	50.0	竜松庵(柏崎市立博物館寄託)	(新潟県柏崎市)	
96	弘法大師	文化2年6月21日	1805	88	50.0	竜松庵(柏崎市立博物館寄託)	(新潟県柏崎市)	
97	十二神将	文化2年6月22日	1805	88	50.5	西光寺	新潟県柏崎市	◇
98	十二神将	文化2年6月22日	1805	88	52.0	西光寺	新潟県柏崎市	◇
99	十二神将	文化2年6月23日	1805	88	49.0	西光寺	新潟県柏崎市	◇
100	十二神将	文化2年6月25日	1805	88	49.5	西光寺	新潟県柏崎市	◇
101	十二神将	文化2年6月25日	1805	88	51.0	西光寺	新潟県柏崎市	◇
102	十二神将	文化2年6月26日	1805	88	51.5	西光寺	新潟県柏崎市	◇
103	十二神将	文化2年6月26日	1805	88	50.0	西光寺	新潟県柏崎市	◇
104	十二神将	文化2年6月26日	1805	88	51.0	西光寺	新潟県柏崎市	◇
105	十二神将	文化2年6月27日	1805	88	50.0	西光寺	新潟県柏崎市	◇
106	十二神将	文化2年6月27日	1805	88	52.0	西光寺	新潟県柏崎市	◇
107	十二神将	文化2年6月(2)7日	1805	88	50.0	西光寺	新潟県柏崎市	◇
108	十二神将	文化2年6月27日	1805	88	49.5	西光寺	新潟県柏崎市	◇
109	聖観音菩薩	文化2年7月8日	1805	88	103.0		新潟県三島郡	
110	カフヤノ大師	文化2年閏8月25日	1805	88	49.0	清願寺	新潟県南魚沼市	
111	大黒天	文化2年8月26日	1805	88	75.0	大崎院	新潟県南魚沼市	
112	吉祥天	文化2年8月28日	1805	88	67.0	大崎院	新潟県南魚沼市	
113	如意輪観音菩薩	文化2年9月4日	1805	88	84.0	大月観音堂	新潟県南魚沼市	◇
114	妙見菩薩	文化2年9月16日	1805	88	38.5		新潟県南魚沼市	
115	不動明王	文化2年9月	1805	88	90.0		新潟県南魚沼市	
116	不動明王	文化3年7月4日	1806	89	16.5		新潟県長岡市	◇
【第4期】神通光明 木喰明満仙人								
117	自身像	文化4年正月28日	1807	90	61.0	蔭涼寺	京都府南丹市	◇
118	薬師如来	文化4年2月12日	1807	90	78.0	蔭涼寺	京都府南丹市	◇
119	日光菩薩	文化4年2月16日	1807	90	77.0	蔭涼寺	京都府南丹市	◇
120	月光菩薩	文化4年2月17日	1807	90	77.0	蔭涼寺	京都府南丹市	◇
121	大黒天	文化4年2月18日	1807	90	81.0	蔭涼寺	京都府南丹市	◇
122	白衣観音菩薩	文化4年3月11日	1807	90	36.5		新潟県長岡市	◇
126	大黒天神西宮大神宮	文化4年5月20日	1807	90	54.0		兵庫県川辺郡	○
127	自身像	文化4年5月14日	1807	90	107.5	東光寺	兵庫県川辺郡	○
128	閻魔大王	文化4年6月2日	1807	90	65.7	東光寺	兵庫県川辺郡	○
129	十王尊	文化4年6月3日	1807	90	60.5	東光寺	兵庫県川辺郡	○
130	十王尊	文化4年6月8日	1807	90	64.3	東光寺	兵庫県川辺郡	○
131	十王尊	文化4年6月14日	1807	90	59.1	東光寺	兵庫県川辺郡	○
132	十王尊	文化4年6月17日	1807	90	61.3	東光寺	兵庫県川辺郡	○
133	十王尊	文化4年6月18日	1807	90	60.7	東光寺	兵庫県川辺郡	○
134	十王尊	文化4年6月18日	1807	90	58.6	東光寺	兵庫県川辺郡	○
135	十王尊	文化4年6月18日	1807	90	60.7	東光寺	兵庫県川辺郡	○
136	十王尊	文化4年6月19日	1807	90	62.1	東光寺	兵庫県川辺郡	○
137	十王尊	文化4年6月20日	1807	90	56.5	東光寺	兵庫県川辺郡	○
138	葬頭河婆	文化4年6月6日	1807	90	60.1	東光寺	兵庫県川辺郡	○
139	白鬼	文化4年6月12日	1807	90	62.3	東光寺	兵庫県川辺郡	○
141	玉津嶋大明神	文化4年7月4日	1807	90	50.0		京都府京都市	
木喰の歌と書画								

番号	作品名	制作年	西暦	木喰の年齢	法量(cm)	所蔵者	所在地	指定
1	万人講	安永2年2月11日～寛政8年	1773～1796	56-79	23.5×17.0×厚5.0	木喰の里微笑館寄託	山梨県南巨摩郡	○
2	南無阿彌陀佛園々御宿帳	安永9年5月14日～寛政12年10月25日	1780～1800	63-83	34.2×12.2	木喰の里微笑館寄託	山梨県南巨摩郡	○
3	集堂帳	天明2年12月8日	1782	65	33.2×13.0	木喰の里微笑館寄託	山梨県南巨摩郡	○
4	奉納大乘妙経 版木	寛政5年	1793	76	38.2×11.7	木喰の里微笑館寄託	山梨県南巨摩郡	○
5	青表紙歌集	寛政8年1月6日	1796	79	26.6×19.5	木喰の里微笑館寄託	山梨県南巨摩郡	○
6	四国堂心願鏡	享和2年2月21日	1802	85	27.0×18.3	木喰の里微笑館寄託	山梨県南巨摩郡	○
7	渡唐天神図	天明元年～4年	1781～1784	64-67	86.2×20.5		新潟県佐渡市	
8	園入利剣名号	天明元年～4年	1781～1784	64-67	125.5×28.5		新潟県佐渡市	
11	龍水図	天明4年頃	1784頃	67頃	28.0×37.5	萬福寺	新潟県佐渡市	
12	地藏堂 木札	天明4年7月24日	1784	67	43.5×19.0	萬福寺	新潟県佐渡市	
13	奉納大乘妙経	天明元年～4年	1781～1784	64-67	126.5×48.2	木食堂	新潟県佐渡市	
14	五点具足阿字	天明4年8月頃	1784頃	67頃	42.1×52.9	木食堂	新潟県佐渡市	
15	利剣名号	天明4年10月2日	1784	67	128.5×48.5	木食堂	新潟県佐渡市	
16	六字名号	天明元年～4年	1781～1784	64-67	100.0×26.8		愛知県稲沢市	
17	准胝観音菩薩/聖観音菩薩 版木	寛政8年9月18日	1796	79	29.7×13.5		新潟県長岡市	
18	園入名号	寛政10年12月18日	1798	81	179.0×55.0	極楽寺	山口県宇部市	
19	木札	享和2年1月18日	1802	85	90.0×21.0		新潟県長岡市	
20	六字名号	享和3年閏1月18日	1803	86	145.2×26.4		新潟県長岡市	
21	園入六字名号	享和3年2月14日	1803	86	145.2×26.4		新潟県長岡市	
22	光明真言曼荼羅	享和3年2月8日	1803	86	124.0×51.5	不動院	新潟県柏崎市	
23	奉納額	文化元年8月15日	1804	87	51.8×92.4		新潟県長岡市	
24	八木図	文化2年1月1日	1805	88	36.5×14.1		新潟県長岡市	
25	神号・三社託宣	文化2年	1805	88	80.0×20.7		新潟県南魚沼市	
26	木札	文化2年7月	1805	88	89.3×12.0		新潟県三島郡	
27	寿	文化4年	1807	90	36.0×48.2	猪名川町立ふるさと館寄託	兵庫県川辺郡	◇
28	年徳	文化4年	1807	90	35.7×48.0	猪名川町立ふるさと館寄託	兵庫県川辺郡	◇
29	神号・三社託宣	文化4年	1807	90	87.0×29.0	猪名川町立ふるさと館寄託	兵庫県川辺郡	◇
30	九字呪文	文化4年	1807	90	133.0×29.5	猪名川町立ふるさと館寄託	兵庫県川辺郡	◇
31	大慈大悲	文化4年	1807	90	74.7×29.1	猪名川町立ふるさと館寄託	兵庫県川辺郡	◇
32	阿彌陀如来図	文化5年3月	1808	91	321.0×129.0	善光寺	山梨県甲府市	
参考資料								
	木喰上人作 木彫佛	大正14年7月30日	1925		51.0×35.0×7.0	(財団法人佐渡博物館 寄託)	(新潟県佐渡市八幡)	

※巡回展のため、当館で出品しなかった資料はのぞいた。

【展示平面図】



※黒い数字は彫刻作品(第1章から第4章)の番号、白もしくは薄い色の数字は書画資料(第5章)の番号に相当する。

ii 文化財を まもる・しらべる・つたえる

【会 期】平成20年7月12日(土)から同年9月1日(月)まで

会期日数52日、公開日数46日

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】国宝修理装演師連盟、(財)美術院、文化財保存修復学会、朝日新聞甲府総局、NHK甲府放

送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【協力】(株) 京都科学、(株) 便利堂

【会場】企画展示室

【入場者数】4,306人

【担当】学芸員 沓名貴彦、西川広平

【概要】

文化財は様々な人々の手によって今日まで守り伝えられてきたものであり、今日においても文化財の保護のために大勢の人々が関わり、日々その仕事に従事している。

本展では、文化財を ①守る、②調べる、③展示する、④伝える、という博物館の活動に関わる人々の仕事を通して、文化財を守り、将来に伝えていくことの重要性を問いかけることを目的とした。展示では、修復の行われた資料やその際に用いた道具類、レプリカやそのレプリカを作製する際に用いた型、工程見本など、資料以外に様々な道具や材料、見本など、その過程が解るパネルなどを用いて紹介を行った。

夏期企画展ということもあり、子供向けの無料リーフレットを作製しただけでなく、展示内にクイズコーナーを設け、子供達が楽しみながら展示を理解できるように工夫した。

【関連イベント】

■講演会「絵画・書跡・古文書の修理」

- ・日時 平成20年7月27日(日) 午後1時30分～午後3時
- ・会場 生涯学習室
- ・講師 半田昌規氏(国宝修理装演師連盟理事)

■講演会「仏像の修理」

- ・日時 平成20年8月24日(日) 午後1時30分～午後3時
- ・会場 生涯学習室
- ・講師 藤本青一氏(財団法人美術院 国宝修理所所長)

■研修会「コロナブ研修会(講義と実習)」

- ・日時 平成20年8月22日(金) 午後1時30分～午後3時30分
- ・会場 生涯学習室
- ・講師 山本修氏(株式会社 便利堂)

■かいじあむ講座「博物館を支える様々な仕事」

- ・日時 平成20年8月10日(日) 午後1時30分～午後3時
- ・会場 生涯学習室
- ・講師 沓名貴彦(当館学芸員)

■ワークショップ「レプリカを作ろう」

- ・日時 平成20年8月2日(土) 午前10時30分～、午後2時～(各回1時間)
- ・会場 体験学習室
- ・講師 沓名貴彦(当館学芸員)



展覧会ちらし



展示風景

■ワークショップ「掛軸のとりあつかい教室」

- ・日 時 平成20年 8月10日（日）午前10時30分～午後12時
- ・会 場 和室
- ・講 師 井澤英理子（当館学芸員）

■バックヤードツアー

- ・日 時 平成20年 8月3日（日）、8月31日（日）午前11時～、午後2時～（各回1時間）

■ギャラリートーク

- ・日 時 平成20年 7月19日（土）、8月16日（土）、8月30日（土）午後1時30分～2時30分

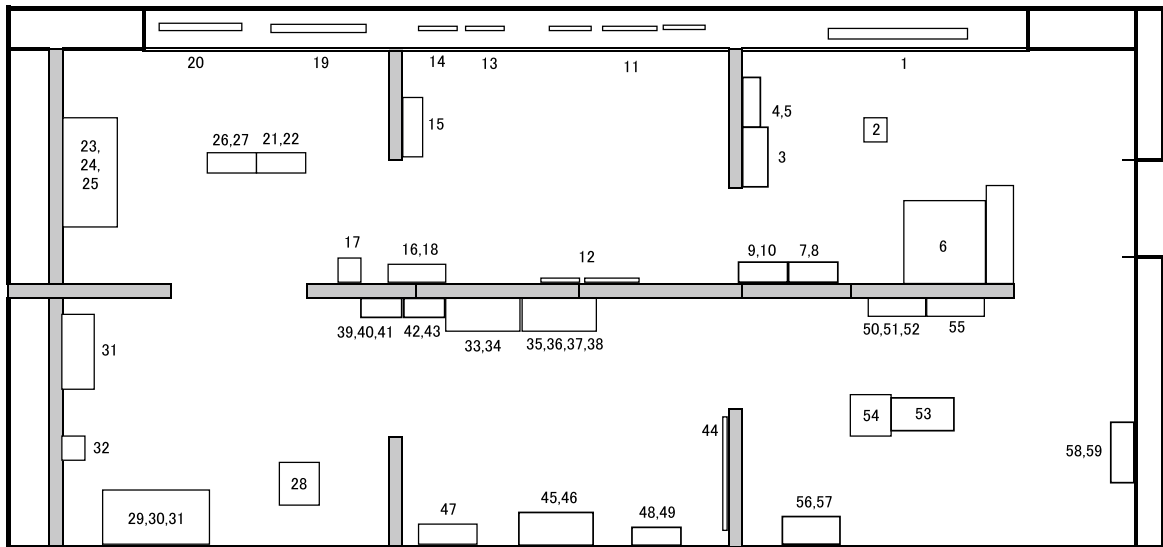
【出品資料一覧】

◎国指定重要文化財 ○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

番号	資 料 名	員数	所 蔵 者	指定
<守る>				
○ 所蔵者				
1	三社明神旗	1 旒	個人	◇
2	桑原家文書	5 点	個人	○
○ 美術輸送				
3	仏像輸送用担架	1 点	山梨県立博物館	
4	梱包材料	一式	日本通運株式会社	
5	梱包道具	一式	日本通運株式会社	
○ 虫菌害管理				
6	燻蒸作業再現	一式	中部資材株式会社	
7	燻蒸用道具	一式	山梨県立博物館	
8	燻蒸判定用サンプル	一式	財団法人文化財虫害研究所	
9	文化財害虫標本	一式	財団法人文化財虫害研究所	
10	虫害被害資料	一式	財団法人文化財虫害研究所	
<伝える>				
○ 模写				
11	法隆寺金堂壁画阿弥陀浄土図（鴉飼徹定模写）	3 点	放光寺	◇
12	法隆寺金堂壁画阿弥陀浄土図（吉岡堅二模写）	2 点	東大和市郷土博物館	
13	壳貨郎図（呂文英筆）	1 点	東京藝術大学大学美術館	
14	壳貨郎図（松田斉子模写）	1 点	東京藝術大学大学美術館	
15	模写工程見本	4 点	東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復日本画研究室	
16	顔料用鉱物標本	1 点	東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復日本画研究室	
17	日本画用天然絵具	一式	東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復日本画研究室	
18	模写用道具類	一式	東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復日本画研究室	
○ 装演				
19	甲州道中図屏風	一双	山梨県立博物館	○
20	屏風構造見本	一双	株式会社半田九清堂	
21	旧裏貼紙類	一式	山梨県立博物館	
22	修理報告書	1 点	山梨県立博物館	
23	盤台・装演台	1 点	東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復日本画研究室	
24	仮貼り	1 台	株式会社半田九清堂	
25	装演用道具類	一式	株式会社半田九清堂	
26	表装用裂見本帳	1 点	国宝修理装演師連盟	
27	放射線劣化絹	1 点	山梨県立博物館	
○ 仏像修理				
28	酉神像（木造十二神将立像の内）	1 軀	大善寺	◎
29	模刻仏手	2 点	財団法人美術院	
30	蓮弁彩色習作	1 点	財団法人美術院	
31	修理用道具類	一式	財団法人美術院	
32	玉眼見本類	一式	個人	
○ 保存処理				
33	平田宮第2遺跡出土 井戸枠	2 点	山梨県立考古博物館	
34	大師東丹保遺跡出土 木柱	1 点	山梨県立考古博物館	
35	二ツ塚1号墳出土 鉄製品	7 点	山梨県立考古博物館	
36	双葉2号墳出土 直刀	1 点	山梨県立考古博物館	
37	二ツ塚1号墳出土 金環	5 点	山梨県立考古博物館	
38	竜王2号墳・3号墳出土 銅製品	36 点	山梨県立考古博物館	
39	水漬木材	1 点	財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所提供	
40	水漬木材（乾燥後）	1 点	財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所提供	
41	保存処理用樹脂	一式	帝京大学山梨文化財研究所	

番号	資 料 名	員数	所 蔵 者	指定
42	錆除去用道具	1点	山梨県立博物館	
43	作業用顕微鏡	1点	山梨県立博物館	
< 展示する >				
○ コロタイプ				
44	法隆寺金堂壁画阿弥陀浄土図コロタイプ印刷	1点	株式会社便利堂	
45	コロタイプ印刷用ネガ	1点	株式会社便利堂	
46	コロタイプ印刷用刷版ガラス	1点	株式会社便利堂	
47	コロタイプネガ修正用道具類	一式	株式会社便利堂	
48	コロタイプ印刷用インク	4点	株式会社便利堂	
49	コロタイプ印刷用道具類	一式	株式会社便利堂	
○ 型取りレプリカ				
50	銅製鏡筒及び付属品の内「鏡」	1点	個人	○
51	銅製鏡筒及び付属品の内「鏡」(複製)	1点	山梨県立博物館	
52	レプリカ製作見本	4点	山梨県立博物館	
53	仏像レプリカ型	一式	山梨県立博物館	
54	役行者像(複製)	1躯	山梨県立博物館	
55	レプリカ製作用道具類	一式	株式会社京都科学	
○ ディスプレイ				
56	会場構成用原稿類	一式	山梨県立博物館	
○ 図録製作				
57	山梨県立博物館開催図録	10点	山梨県立博物館	
< 調べる >				
○ 学芸員				
58	研究紀要	3点	山梨県立博物館	
○ 文化財関係者				
59	発掘報告書・調査報告書	一式	山梨県立博物館	

【展示平面図】



iii 甲州食べもの紀行 —山国の豊かな食文化—

【会 期】平成20年10月11日(土)から同年12月8日(月)まで

会期日数59日、公開日数46日

【主 催】山梨県立博物館・(財)自治総合センター・山梨日日新聞社・山梨放送

【特別協力】味の素株式会社、ライフサイエンス研究所

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、笛吹農業協同組合、毎日新聞甲府支局、山梨県食生活改善推進員連絡協議会、山梨県ワイン酒造組合、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【入場者数】8,760人



【担当】学芸員 植月 学、高橋 修、学芸課長 中山誠二

【概要】

ほうとうや煮貝、果物、ワインなどの山梨の食文化はよく知られているが、その歴史については意外と明らかになっていない。本展では、甲州を訪れた旅人や外部の人間が残した記録を通して、甲州の食文化の歴史を新たな視点から見直すことを目指した。

【関連イベント】

■特別記念講演会「泉光院の旅と甲州の庶民生活」

- ・日 時 平成20年10月26日（日）午後2時～3時30分
- ・会 場 山梨県総合教育センター 大研修室
- ・講 師 石川英輔（作家）

■シンポジウム「山国の豊かな食文化—甲斐の多様な食を考える—」

- ・日 時 平成20年11月24日（月・振休）午前10時30分～午後5時
- ・会 場 山梨県総合教育センター 大研修室
- ・内 容 基調講演「山の食文化史」 原田信男（国士舘大学教授）  
 報告1「食文化を記録した山梨の資料」 数野雅彦（山梨郷土研究会）  
 報告2「山梨の粉食文化の歴史」 中山誠二（当館学芸課長）  
 報告3「料理屋とアウトロー」 高橋 修（当館学芸員）  
 報告4「飢饉と食の変容」 宮澤富美恵（山梨郷土研究会）  
 報告5「山国に運ばれた海の幸」 植月 学（当館学芸員）  
 討論「甲斐の多様な食を考える」 コーディネーター：萩原三雄（帝京大学山梨文化財研究所所長）  
 統括：平川 南（当館館長）



展示会ちらし



展示風景

■かいじあむ講座「甲州に運ばれた海の幸」

- ・日 時 平成20年10月19日（日）午後1時30分～3時
- ・会 場 山梨県立博物館 生涯学習室
- ・講 師 植月 学（当館学芸員）

■かいじあむ講座「ほうとうのルーツ」

- ・日 時 平成20年11月9日（日）午後1時30分～3時
- ・会 場 山梨県立博物館 生涯学習室
- ・講 師 中山誠二（当館学芸課長）

■甲州味の見本市 伝統の味を守っている団体による郷土料理の調理体験や試食会

- ・日 時 平成20年10月11日（土）～13日（月・祝）、11月1日（土）～3日（月・祝）、11月20日（木・県民の日）、11月22日（土）・23日（日）午後1時～3時
- ・会 場 山梨県立博物館 庭
- ・内 容 第10章参照

■ギャラリートーク

- ・日 時 平成20年10月18日（土）、25日（土）、11月8日（土）、15日（土）、29日（土）、12月7日（日）午後1時30分～

【出品資料一覧】

◎国指定重要文化財 ○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

資料名	点数	時期	作者/遺跡	所蔵者	指定
1. 食の見本市 甲府城下町					
1 甲州道中分間延絵図写本	3	原本は江戸時代		山梨県立博物館	

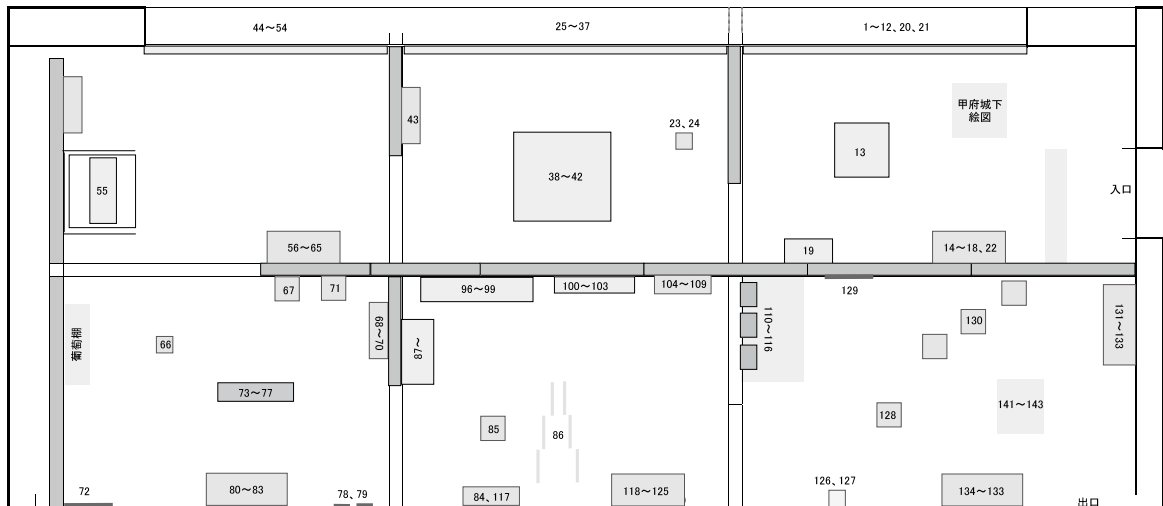
第Ⅱ編 事業・諸活動

	資料名	点数	時期	作者/遺跡	所蔵者	指定
2	懷宝甲斐国絵図(甲州文庫)	1	嘉永2年(1849年)		山梨県立博物館	
3	懷宝甲斐国絵図(甲州文庫)	1	明治7年(1874年)		山梨県立博物館	
4	諸国道中人鑑(甲州文庫)	1	文政10年(1827年)		山梨県立博物館	
5	甲府買物独案内(甲州文庫)	1	安政元年(1854年)		山梨県立博物館	
6	甲府買物独案内(甲州文庫)	1	明治5年(1872年)		山梨県立博物館	
7	甲斐名所寿古六(甲州文庫)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
8	裏見寒話(甲州文庫)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
9	甲斐国志(甲州文庫)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
10	峡中故事記(甲州文庫)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
11	乍恐以書付奉願上候(萩原家資料)	1	明治元年(1868年)		個人	
12	山梨県甲府各家商業便覧(甲州文庫)	1	明治18年(1885年)		山梨県立博物館	
13	食器類	約50	江戸時代(18~19世紀)	甲府城下町遺跡	甲府市教育委員会	
14	勝栗御献上献立控	1	文政3年(1820)		個人	
15	勅使徳大寺大納言殿 日野前大納言殿 御膳御献立書	1	天保8年(1837)		個人	
16	一柳近江守	1	文政10年(1827)		個人	
17	明治三年庚午年式番郡中御用日記(太田家資料)	1	明治3年(1870)		山梨県立博物館	
18	小田原屋ちらし(上野晴朗氏収集資料)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
19	動植物遺体	約100	江戸時代(18~19世紀)	甲府城下町遺跡	甲府市教育委員会・山梨県立考古博物館	
20	「武相名所絵日記」より「立斎饅頭を喰図」	1	原本は江戸時代	歌川広重	個人	
21	歌川広重像	1	安政5年(1858)	三代歌川豊国	山梨県立博物館	
22	魚菜図(甲州文庫)	1	弘化元年(1844)		山梨県立博物館	
2. 山国に運ばれた海の幸						
23	ハマグリ	1	縄文早期	釈迦堂遺跡	釈迦堂遺跡博物館	
24	タイ椎骨	1	縄文後期	百々上八田遺跡	南アルプス市教育委員会	
25	生魚運搬図	1	昭和41年(1966)	土橋齋堂	個人	
26	甲陽隨筆(若尾資料)	1	原本は江戸時代		山梨県立博物館	
27	甲陽旧尋録抜書	1	原本は江戸時代		山梨県立博物館	
28	のし(田辺家資料)	2	江戸時代		山梨県立博物館	○
29	みなと古写真	1	大正時代		みなと	
30	世事記(池原文庫)	11	安政4~明治28(1857~1895)	大久保黄齋	身延山大学図書館	
31	天保三年伊豆紀行	1	天保3年(1832)	木村喜繁	静岡県立中央図書館	
32	「九十五年前の伊豆」	1	天保3年(1832)	木村喜繁	静岡県立中央図書館	
33	落穂拾遺(複写)	1	大正10年(1921)頃	木内三朗	個人	
34	マクロ建切網漁場図	1	近代		長浜組合	
35	金桜神社絵馬	1	明治40年(1907)		金桜神社	
36	建切網絵馬	1	大正2年(1913)		金桜神社	
37	イルカの水揚げの様子(写真)	1	昭和		個人	
38	魚類・イルカ類遺体	約100	江戸時代後期~近代	鯨沢河岸跡	山梨県立考古博物館	
39	クロマグロ レプリカ	1			中央水産研究所	
40	ネズミザメ剥製	1			ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	
41	スジイルカ レプリカ	1			国立科学博物館	
42	スジイルカ 骨格	1			国立科学博物館	
43	貝類遺体	約20	江戸時代後期~近代	鯨沢河岸跡	山梨県立考古博物館	
3. 復元! 信玄の食膳						
44	酒飯論絵巻	1	江戸時代		愛媛県歴史文化博物館	
45	包丁師(「七十一番職人歌合」)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
46	甲陽軍鑑	1	江戸時代前期(17世紀)		山梨県立博物館	
47	甲陽軍鑑(万治版)	1	江戸時代前期(17世紀)		山梨県立博物館	
48	武田流当主家立要伝書(甲州文庫)	1	天明元年(1781)		山梨県立博物館	
49	当流節用料理大全	1	正徳4年(1714)		山梨県立博物館	
50	妙法寺記(相甲年代記)(甲州文庫)	1	江戸時代(19世紀)		山梨県立博物館	
51	武田信成禁制(「並山日記」内の写し)(甲州文庫)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
52	穴山信君朱印状(森家資料)	1	天正8年(1580)		山梨県立博物館	
53	甲州道中身延詣図巻	1	文政6年(1823)		山梨県立博物館	
54	武田勝頼天目山陣取図	3	江戸時代~明治時代	歌川芳虎	アネックス クッキングルーム	
55	信玄の食膳(復元)	9	-		山梨県立博物館	
56	漆器	3	戦国時代(16世紀)	勝沼氏館跡	甲州市教育委員会	
57	土器	6	戦国時代(16世紀)	武田氏館跡	甲府市教育委員会	
58	耳皿	1	戦国時代(16世紀)	武田氏館跡	甲府市教育委員会	
59	折敷	1	戦国時代(16世紀)	勝沼氏館跡	甲府市教育委員会	
60	しゃもじ	1	戦国時代(16世紀)	勝沼氏館跡	甲府市教育委員会	

	資料名	点数	時期	作者/遺跡	所蔵者	指定
61	卸し板	1	戦国時代(16世紀)	勝沼氏館跡	甲州市教育委員会	
62	箸・楊枝	5	戦国時代(16世紀)	勝沼氏館跡	甲州市教育委員会	
63	アワビ	1	戦国時代(17世紀)	勝沼氏館跡	甲州市教育委員会	
64	動物遺体	6	戦国時代(16世紀)	勝沼氏館跡	甲州市教育委員会	
65	炭化種子	-	戦国時代(16世紀)	武田氏館跡	甲府市教育委員会	
4. フルーツ王国誕生の謎						
66	甲州道中膝栗毛(甲州文庫)	1	文化6年(1809)		山梨県立博物館	
67	甲斐叢記	1	嘉永4年(1851)		山梨県立博物館	
68	桃核	約50	奈良～平安時代	車居遺跡	笛吹市教育委員会	
69	クルミ	約50	鎌倉時代	大師東丹保遺跡	山梨県立考古博物館	
70	山梨郡貢進物(胡桃子)付札木簡 複製	2	天平6年(734)	平城京	山梨県立博物館(原資料:奈良文化財研究所)	
71	打栗製造関連資料	4	現代		個人	
72	宮光園映像資料	1	大正11～昭和2年(1922～27)		甲州市教育委員会	
73	諸国道中商人鑑(甲州文庫)	1	文政10年(1827年)		山梨県立博物館	
74	甲斐国三郡引渡目録并覚帳写(甲州文庫)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
75	郡内領郷帳(甲州文庫)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
76	年貢割付状(萩原家資料)	1	明和3年(1766)		個人	
77	甲州産物書上帳(篠原家資料)	1	安政6年(1859)		山梨県立博物館	
78	大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図	1	明治20年(1887)		山梨県立博物館	
79	大日本物産図会 甲斐国白柿製之図	1	明治20年(1887)		山梨県立博物館	
80	甲州道中記(若尾資料)	1	原本は江戸時代		山梨県立博物館	
81	甲州葡萄掛紙貼付帳(甲州文庫)	1	幕末～明治		山梨県立博物館	
82	ブドウ出荷籠(復元)	1			ぶどうの国文化館	
83	ブドウ出荷菰巻(復元)	2			ぶどうの国文化館	
5. 甲州麺紀行						
84	日本九峯修行日記	5	文化9年～文政元年(1818～1812)	泉光院(野田成亮)	宮崎県立図書館	
85	野田泉光院自画像	1	江戸時代	泉光院(野田成亮)	宮崎県立図書館	
86	国玉農曆絵図屏風(画像)	2	江戸時代		個人	◇
87	縄文土器のセット	5	縄文時代中期	釈迦堂遺跡	釈迦堂遺跡博物館	◎
88	球根のオコゲが付いた土器	2	縄文時代中期	釈迦堂遺跡	釈迦堂遺跡博物館	
89	ノビルの類煮沸実験土器	1	現代		釈迦堂遺跡博物館	
90	パン状炭化物	1	縄文時代中期	釈迦堂遺跡	釈迦堂遺跡博物館	
91	磨石・凹石	4	縄文時代中期	釈迦堂遺跡	釈迦堂遺跡博物館	
92	石皿・磨石	2	縄文時代中期	釈迦堂遺跡	釈迦堂遺跡博物館	
93	台石	1	縄文時代中期	釈迦堂遺跡	釈迦堂遺跡博物館	
94	土鈴に入っていた豆	1	縄文時代中期	飯米遺跡	北杜市教育委員会	
95	エゴマのクッキー状炭化物	1	縄文時代中期	寺所第2遺跡	北杜市教育委員会	
96	古墳時代の調理具と食器	6	古墳時代(6世紀)	姥塚・二之宮遺跡	山梨県立考古博物館	
97	石臼・搗臼	6	戦国時代(16世紀)	二本柳遺跡	山梨県立考古博物館	
98	すり鉢	1	戦国時代(16世紀)	二本柳遺跡	山梨県立考古博物館	
99	内耳土器	1	戦国時代(16世紀)	桜井畑遺跡	山梨県立考古博物館	
100	ダイズ圧痕が発見された縄文土器	1	縄文時代中期	酒呑場遺跡	山梨県立考古博物館	
101	オオムギ圧痕が発見された縄文土器	1	縄文時代晩期末葉	中道遺跡	葦崎市教育委員会	
102	コクゾウムシ圧痕が発見された縄文土器	2	縄文時代晩期前半	中谷遺跡	山梨県立考古博物館	
103	コクゾウムシの拡大模型(150倍)	1	現代		農研機構 食品総合研究所	
104	索麵売り(「七十一番職人歌合」)		江戸時代		山梨県立博物館	
105	指上ヶ申一札之事(不審者宿取り締り仰渡に付差上一札)(甲州文庫)	1	天和2年(1682)		山梨県立博物館	
106	辻家日記 寛政十二年(辻家資料)	1	寛政12年(1800)		山梨県立博物館	
107	辻家日記 享和二年(辻家資料)	1	享和2年(1802)		山梨県立博物館	
108	辻家日記 文化二年(辻家資料)	1	文化2年(1805)		山梨県立博物館	
109	辻家年中覚(辻家資料)	1	寛政12年(1800)		山梨県立博物館	
110	逸見牧ひさくり毛(甲州文庫)	1	天保9年(1838)		山梨県立博物館	
111	暴瀉病流行日記(頼生文庫)	1	安政5年(1858)		山梨県立博物館	
112	年中行事(市川家資料)	1	宝暦13年(1763)		山梨県立博物館	
113	甲斐重宝記(水上文淵旧蔵資料)	1			山梨県立博物館	
114	ほうとう作りの道具	1	現代		個人	
115	回転石臼	1	近現代		山梨県立博物館	
116	するす(木摺臼)	1	近現代		山梨県立博物館	
117	下積翠寺村絵図(甲州文庫)	1	延享3年(1746)		山梨県立博物館	
118	甲斐豆相採葉記(甲州文庫)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
119	年貢割付状(萩原家資料)	1	天明2年(1782)		個人	
120	世直鑑(若尾資料)	1	大正5年(1916)		山梨県立博物館	

	資料名	点数	時期	作者/遺跡	所蔵者	指定
121	農業全書(市川家資料)	1	天明7年(1787)版	宮崎安貞	山梨県立博物館	
122	除蝗録(農家調宝記)	5	文政9年(1826)版	大蔵永常	山梨県立博物館	
123	飯田家雑記録	47	天保6年~明治3年(1835~73)	飯田近定・道直	個人	
124	御用留(篠原家資料)	1	文政10年(1827)		山梨県立博物館	
125	河野家日記(甲州文庫)		天保4~8年(1833~37)			
6. 長寿をもたらした山のくらし						
126	『長寿村欄原』直筆原稿	1	昭和	古守豊甫	上野原市立図書館	
127	古守豊甫氏関連写真	4	昭和52年(1977)頃		上野原市立図書館	
128	人骨	1	江戸時代	米倉山B遺跡	山梨県立考古博物館	
129	奈良田の焼畑(映像)	1	現代	日本民族文化映像研究所	早川町教育委員会	
130	甲州西山の焼畑農耕用具	16	近現代		早川町教育委員会	◎
131	イノシシ下顎骨	約150点	縄文時代晚期	金生遺跡	山梨県立考古博物館	
132	動物遺体	約20点		鯉沢河岸跡	山梨県立考古博物館	
133	ウシ・ウマ遺体	約10		石動遺跡	笛吹市教育委員会	
134	狩之作法問書	1	享保4年(1719)		山梨県立博物館	
135	猿肉催促の書状(斎藤家資料)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
136	猿皮催促の書状(斎藤家資料)	1	江戸時代		山梨県立博物館	
137	薬喰いの句(甲州文庫)	1	江戸時代	辻嵐外	山梨県立博物館	
138	料理物語	1	慶安2年(1649)		山梨県立博物館	
139	峡中広告集(甲州文庫)	1	江戸時代~近代		山梨県立博物館	
140	ビールの広告(甲州文庫)	1	明治時代		山梨県立博物館	
141	ニホンジカ剥製	1	現代		鳥獣センター	
142	イノシシ剥製	1	現代		山梨県立考古博物館	
143	ニホンザル剥製	1	現代		鳥獣センター	

【展示平面図】



iv 新指定文化財展 甲斐の国のたからもの

【会 期】平成21年1月30日(金)から同年3月2日(月)まで  
会期日数32日、公開日数28日

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本経済新聞甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局、山梨中央銀行

【会 場】企画展示室

【入場者数】3,844人

【担 当】学芸員 井澤英理子、小畑茂雄

【概 要】



展覧会ちらし

信仰がきっかけで美、武田氏の遺風、柳沢吉保の華麗なる調度品、木喰の微笑仏など、平成15年度以降に、新たに指定された文化財、修復を終えた文化財、および県立博物館において新しく収集した資料の中から57件を展示し、これらの文化財から甲斐の国の文化や歴史の魅力を紹介した。

【関連イベント】

■民俗芸能Live 下市之瀬の獅子舞（県指定無形民俗文化財）

- ・日 時 平成21年2月1日（日）午後1時30分～2時30分
- ・会 場 企画展示ロビー
- ・実 演 下市之瀬獅子舞保存会（南アルプス市）



展示風景

■仏教年中行事公開 涅槃会

- ・日 時 平成21年2月15日（日）午後1時～2時
- ・会 場 企画展示室内 向嶽寺所蔵「仏涅槃図」前にて
- ・実 演 向嶽寺派僧侶

■かいじあむ講座「お釈迦様の物語絵－仏涅槃図」

- ・日 時 平成21年2月22日（日）午後1時30分～3時
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 井澤英理子（当館学芸員）

■ギャラリートーク

- ・日 時 平成21年2月21日（土）、3月1日（日）午後1時30分～2時30分

【出品資料一覧】

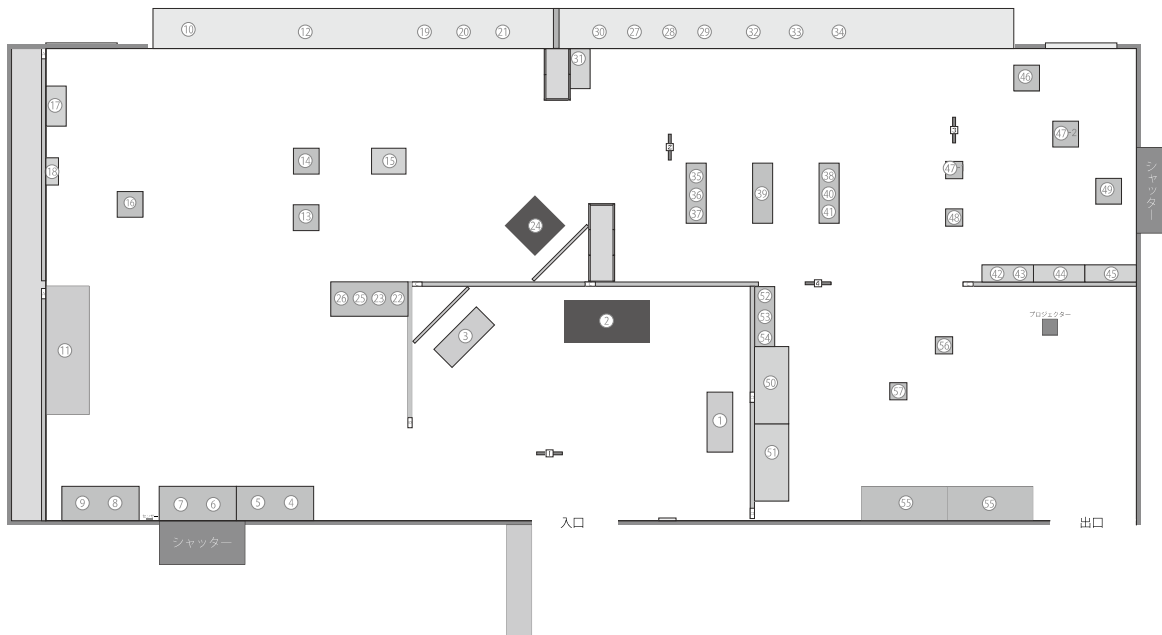
◎国指定重要文化財 △国指定重要美術品 ○山梨県指定文化財 ◇市町村指定文化財

資料名	員数	材質技法	法量 (単位はセンチメートル)	制作期	所蔵者	備考	指定
信仰の足跡							
1 観音菩薩立像	1 軀	木造 漆箔	像高146.8	平安時代 10世紀	安楽寺	平成16年10月12日指定 平成17年度寄託	◇
2 阿弥陀如来及両脇侍像	3 軀	木造 漆箔 玉眼	阿弥陀 像高98.2 観音 像高38.4 勢至 像高37.7	鎌倉時代 13世紀	九品寺	平成19年4月26日指定	○
3 釈迦如来坐像	1 軀	木造 金泥彩色 玉眼	像高105.1	鎌倉時代 13世紀	東禪寺	平成16年11月29日指定	○
4 地藏菩薩十王図	1 幅	絹本着色	縦102.9 横59.0	鎌倉時代 13世紀	大聖寺	平成9年6月12日指定 平成11～12年度保存修理 平成17年度より寄託	○
5 釈迦三尊十六善神像	1 幅	絹本着色	縦110.0 横52.8	南北朝時代 14世紀	大聖寺		○
6 弘法大師捨身図	1 幅	絹本着色	縦98.4 横49.5	鎌倉時代 13～14世紀	大聖寺		○
7 両頭愛染明王像	1 幅	絹本着色	縦105.5 横56.2	南北朝時代 14世紀	大蔵経寺	平成15年5月1日指定	○
8 不動明王ニ童子像	1 幅	絹本着色	縦100.5 横38.5	室町時代 14～15世紀	大蔵経寺		○
9 騎獅不動明王八大童子像	1 幅	絹本着色	縦122.0 横64.5	室町時代 15世紀	大蔵経寺		○
10 釈迦八相図	3 幅	絹本着色	第一幅 縦118.5 横83.0、第二幅 縦117.6 横81.2 第三幅 縦117.9 横81.2	鎌倉時代 13世紀	久遠寺	平成3年6月21日指定 平成16～18年度保存修理	◎
11 仏涅槃図	1 幅	絹本着色	縦300.7 横248.5	室町時代 明応9年(1500)	向嶽寺	平成5年9月6日指定 平成16～18年度保存修理 財住友財団文化財維持・保存修理事業助成	○
12 法然上人絵伝	2 幅	絹本着色	縦153.7 横110.5	鎌倉時代 14世紀	山梨県立博物館	平成17年5月2日指定 平成16年度収蔵	○
13 開山墓出土常滑甕	1 点	常滑焼	高68.2 口径42.3 底径19.0 胴径66.2	南北朝時代 14世紀	栖雲寺	平成19年4月26日指定	○
14 中世墓出土陶器	7 点	古瀬戸 常滑 美濃須衛	灰釉四耳壺 高28.8 胴径20.6、瓶子1 高25.0 底径10.0、瓶子2 高19.0 底径7.5、瓶子3 高25.2 底径3.6、鉄釉水滴 高3.7 胴径4.8、小壺 高20.5 底径9.3、四耳壺 高20.5 胴径17.0	鎌倉時代 13世紀	大善寺	平成19年4月26日指定	○
15 深山田遺跡青銅製腕	14口のうち7口	青銅	大形品 直径10.7 高3.4、小形品 直径7.9 高3.0	鎌倉～室町時代 13～14世紀	北杜市教育委員会	平成18年4月27日指定	○
16 蔵王権現立像	1 軀	木造	像高83.7	平安時代 12世紀	山梨県立博物館	平成17年12月26日指定 平成16年度収蔵	○
17 版木	4 枚	木造	版木1 縦27.0 横6.7、版木2 縦39.3 横9.5、版木3 縦37.0 横7.4、版木4 縦24.3 横12.4	不明	山梨県立博物館	平成19年度寄贈	
18 鋳口	1 口	鋳銅	径33.2 胴厚12.0	室町時代 享祿元年(1528)	蓮華寺	昭和58年7月21日指定 平成18年度寄託	○
19 蘭石図 雪窓普明筆	1 幅	絹本墨画	縦43.2 横84.8	元時代 14世紀	山梨県立博物館	平成16年度保存修理	△
20 柿本人麻呂図 如水宗淵筆	1 幅	紙本墨画淡彩	縦83.9 横36.8	室町時代 15～16世紀	山梨県立博物館	平成16年度保存修理	△
21 陶弘景聴松図 天与清啓賛	1 幅	紙本墨画淡彩	縦90.0 横29.4	室町時代 15世紀	山梨県立博物館	昭和24年2月18日指定	◎

第Ⅱ編 事業・諸活動

	資料名	員数	材質技法	法量 (単位はセンチメートル)	制作期	所蔵者	備考	指定
22	棟札	1枚	木製 墨書	縦109.0 横30.5 厚さ1.8	江戸時代 17世紀	本遠寺	本堂は昭和61年12月2日 重文指定 平成14~20年度保存修理	
23	葵紋	1枚	木製	直径36.0 厚さ3.7	昭和時代 20世紀	本遠寺		
24	釈迦如来立像 覚慶作	1軀	木造 漆箔 玉眼	像高97.8	鎌倉時代 文永3年(1266)	本遠寺	昭和55年9月18日指定	○
25	曼荼羅本尊 日蓮筆	1幅	紙本墨書	縦42.6 横28.1	鎌倉時代 13世紀	本遠寺	平成18年度寄託	
26	曼荼羅本尊 日蓮筆	1幅	紙本墨書	縦46.5 横33.2	鎌倉時代 13世紀	本遠寺		
武将たちの遺風								
27	穴山信友夫人像 天桂玄長賛	1幅	絹本着色	縦81.1 横39.7	室町時代 永祿9年(1566)	南松院	昭和40年8月19日指定 平成17年度寄託	○
28	桃隠和尚像 春国光新賛	1幅	絹本着色	縦81.7 横37.1	室町時代 16世紀	南松院		○
29	渡唐天神像 策彦周良賛	1幅	紙本着色	縦93.2 横22.3	室町時代 16世紀	南松院		○
30	法華経 附黒漆塗柳経箱	8巻	版本 折本仕立	縦16.0 横5.7 厚さ1.5~1.8	室町時代 15世紀	南松院	昭和48年7月12日指定 平成17年度寄託	○
31	穴山信君書状(南松院文書37通のうち)	1枚	堅紙 紙本墨書	縦31.3 横88.4	室町時代 永祿12年(1569)	南松院	昭和52年5月23日指定 平成17年度寄託	○
32	小山田信有像	1幅	絹本着色	縦74.4 横47.5	室町時代 16世紀	長生寺	平成15年5月1日指定	○
33	釈迦三尊十六善神像	1幅	絹本着色	縦130.2 横64.0	鎌倉~南北朝時代 14世紀	長生寺		○
34	龍虎梅竹園屏風	六曲一双	紙本金地着色	右隻 縦149.3 横324.6、左隻 縦151.2 横324.8	江戸時代 17世紀	長生寺		○
35	武田家朱印状(田辺家古文書90点のうち)	1点	折紙 紙本墨書	縦31.3 横45.2	室町時代 永祿3年(1560)	山梨県立博物館	平成17年5月2日指定 平成13年度収蔵	○
36	武田家朱印状(田辺家古文書90点のうち)	1点	折紙 紙本墨書	縦31.6 横44.5	室町時代 天正9年(1581)	山梨県立博物館		○
37	徳川家康朱印状(田辺家古文書一括90点のうち)	1点	堅紙 紙本墨書	縦42.2 横66.0	室町時代 文祿2年(1593)	山梨県立博物館		○
38	武田晴信書状	1点	紙本墨書	縦34.5 横16.4	室町時代 16世紀	山梨県立博物館	平成20年度収蔵	
39	武田信玄陣立書	1巻	紙本墨書	縦24.2 横264.9	室町時代 16世紀	山梨県立博物館	平成20年度収蔵	
40	武田勝頼書状	1枚	切紙 紙本墨書	縦10.8 横42.5	室町時代 天正2年(1574)	山梨県立博物館	平成20年度収蔵	
41	武田家朱印状	1枚	堅紙 紙本墨書	縦29.5 横44.0	室町時代 元亀4年(1573)	山梨県立博物館	平成20年度収蔵	
華麗なる柳沢文化								
42	甲斐国領知朱印状写	1点	堅紙 紙本墨書	縦52.0 横67.1	江戸時代 宝永2年(1705)	恵林寺		
43	永慶寺殿真光院殿道具覚帳(柳沢吉保・定子関係資料一括111点のうち)	1冊	冊子 紙本墨書	縦30.4 横21.8	江戸時代 享保9年(1724)	恵林寺	平成19年4月26日指定	○
44	真光院殿初七日追悼和歌(柳沢吉保・定子関係資料一括111点のうち)	1巻	卷子 紙本墨書	縦31.7 横347.3	江戸時代 正徳3年(1713)	恵林寺		○
45	六義園図巻 藤原芳尋筆	1巻	紙本着色	縦26.5 横665.0	江戸時代 宝暦9年(1759)	山梨県立博物館	平成15年度収蔵	
46	四つ花菱紋蒔絵膳具より 本膳 椀五種(柳沢吉保・定子関係資料一括111点のうち)	一具のうち	木製 漆塗	本膳 縦40.2 横40.2 高19.7、汁椀 口径12.2 高5.5、壺椀 口径10.6 高7.1、 平椀 口径13.1 高5.1、高杯 口径12.7 高6.4	江戸時代 18世紀	恵林寺	平成19年4月26日指定	○
47	梅樹蒔絵蒔絵膳具より 三方 飯器 菓子器(柳沢吉保・定子関係資料一括111点のうち)	一具のうち	木製 漆塗	三方 方35.5 高32.2、飯器 口径23.6 高20.6、菓子器 縦18.4 横18.2 高13.4	江戸時代 18世紀	恵林寺		○
48	菊蒔絵香道具 香箱 香盆 間香炉 焚燬入 重香合(柳沢吉保・定子関係資料一括111点のうち)	一具	木製 漆塗	香箱 長径22.1 短径13.8 高12.7、香盆 長径21.0 短径 厚さ1.9、間香炉 径6.7 高さ7.1、焚燬入 方4.0 高4.3、重香合 長径7.7 短径6.0 高さ7.1	江戸時代 17~18世紀	恵林寺		○
49	菊唐草蒔絵化粧道具より 湯桶・盥(柳沢吉保・定子関係資料一括111点のうち)	一具のうち	木製 漆塗	湯桶 口径20.0 高21.5 幅32.8 盥 口径53.8 高19.9	江戸時代 18世紀	恵林寺		○
旅と街道								
50	厨子・石櫃(右左口区有文書及び関連資料一括2526点のうち)	各1点	厨子 木造 石櫃 石造	厨子 幅215.0 奥行78.0 高127.0 石櫃 幅42.0 奥行27.0 高24.0	江戸時代	甲府市宿区	平成14年7月4日指定 平成17年度寄託	○
51	人形芝居かしら・衣装(右左口区人形芝居のかしらほか用具一式181点のうち)	2組			江戸~明治時代 18世紀以降	甲府市宿区	平成16年11月29日指定 平成17年度寄託	○
52	右左口村絵図(右左口区有文書及び関連資料一括2,526点のうち)	1枚	鋪 墨 着色	縦27.5 横51.0	江戸時代 天保13年(1842)	甲府市宿区	平成14年7月4日指定 平成17年度寄託	○
53	徳川家康朱印状(右左口区有文書及び関連資料一括2,526点のうち)	1点	折紙 紙本墨書	縦29.3 横45.8	室町時代 天正10年(1582)	甲府市宿区		○
54	羽柴秀勝黒印状(右左口区有文書及び関連資料一括2,526点のうち)	1点	折紙 紙本墨書	縦31.9 横50.1	室町時代 天正18年(1590)	甲府市宿区		○
55	甲州道中国屏風	六曲一双	紙本着色 貼交屏風	各 縦176.0 横368.0	江戸時代	山梨県立博物館	平成17年5月2日指定 平成15年度収蔵 平成19年度保存修理	○
56	不動明王立像 木喰作	1軀	木造	像高29.2	江戸時代 天明9年(1789)	山梨県立博物館	平成20年度収蔵	
57	千手観音菩薩坐像 木喰作	1軀	木造	像高72.0	江戸時代 寛政13年(1801)	個人	平成20年度寄託	

【展示平面図】



② シンボル展

i 木食白道 一知られざるもう一人の木食一

【会 期】平成20年5月21日（水）から同年6月30日（月）まで

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【担 当】学芸員 近藤暁子、井澤英理子

【概 要】

木食白道は、甲州市塩山出身の木食僧。身延町丸畑出身の木喰五行の弟子で、その作仏に影響を与えたとも言われている。安永10年（1781）には山梨に戻り、晩年は鳥沢上人屋敷と呼ばれる地に庵を結んだ。彼の作品は、現在も塩山周辺や大月市を中心に残されている。白道については、五行のように明らかなところが多い。本展では、白道の生涯について彼が残した作品を中心に紹介した。なお、本展は企画展「木喰展 生誕290年 一庶民の信仰・微笑仏一」と連続開催とすることにより、山梨出身の木食僧の活動を通覧する機会とした。

【関連イベント】

■粘土でつくる微笑仏

- ・日 時 平成20年5月31日（土）午前10時30分～午後3時
- ・会 場 体験学習室

■かいじあむ講座「木食白道の足跡を追って」

- ・日 時 平成20年6月8日（日）午後1時30分～3時
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 近藤暁子（当館学芸員）

■学芸員によるギャラリートーク

- ・日 時 平成20年5月25日（日）、6月22日（日）午後1時30分から1時間程度

【出品資料】

○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

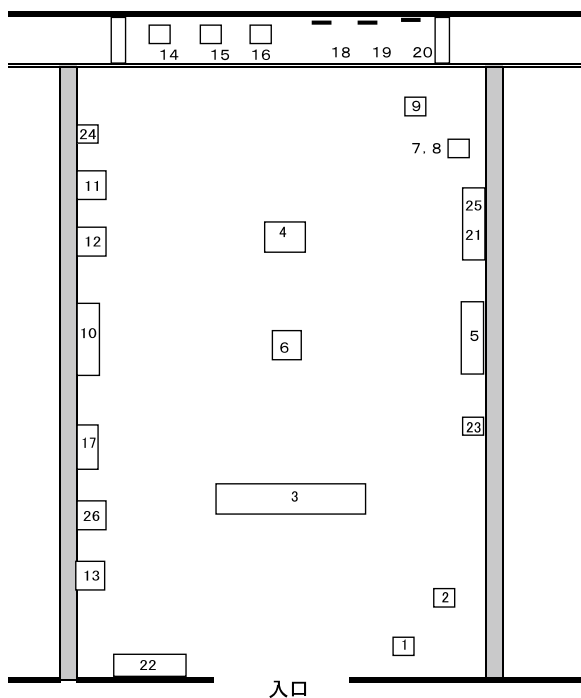
番号	資 料 名	員数	材 質	法 量 (cm)	時 代	所 蔵 者	所 在 地	指 定
1	子安観音菩薩像	1	木造	16.0	江戸時代 (18世紀)	門昌庵	北海道二世郡	



展覧会ちらし

番号	資料名	員数	材質	法量 (cm)	時代	所蔵者	所在地	指定
2	地藏菩薩像	1	木造	11.3	江戸時代 (18世紀)	無量寺	北海道二海郡	
3	薬師三尊及び十二神将像	7	木造	・薬師如来像 72.2 ・日光、月光菩薩像 各56.2 ・十二神将像のうち 右1・6、左3・4像 各約50.0	安永9～10年 (1780～1781)	栴窪薬師堂	栃木県鹿沼市	○
4	百観音菩薩像	1	木造	228.0	天明元年 (1781)	上条組	山梨県甲州市	◇
5	子安地藏菩薩像	1	木造	159.0	天明元年 (1781)	涌泉寺管理	山梨県甲州市	◇
6	百体仏	8	木造	各約40.0	天明2年 (1782)	福蔵院	山梨県甲州市	◇
7	地藏菩薩像	1	木造	38.0	江戸時代 (18世紀)		山梨県甲州市	
8	地藏菩薩像	1	木造	16.7	江戸時代 (18世紀)		山梨県甲州市	
9	地藏菩薩像	1	木造	15.8	江戸時代 (18世紀)		山梨県甲州市	
10	地藏菩薩像	1	木造	180.0	江戸時代 (18～19世紀)	寺本区	山梨県笛吹市	◇
11	宇賀神像	1	木造	40.0	江戸時代 (18～19世紀)			
12	薬師如来像	1	木造	30.0	江戸時代 (18～19世紀)		東京都あきる野市	
13	薬師如来像	1	木造	34.5	江戸時代 (18～19世紀)		大月市富浜町	
14	恵比寿大黒天像	1	木造	25.3	江戸時代 (18～19世紀)		甲州市勝沼	
15	恵比寿大黒天像	2	木造	各約40.0	江戸時代 (18～19世紀)		大月市富浜町	
16	恵比寿像	1	木造	40.6	江戸時代 (18～19世紀)	常德寺	笛吹市石和町	
17	蚕守護版木	1	木造	27.0×15.6	江戸時代 (18～19世紀)		上野原市八ッ沢	◇
18	七福神図	1	紙、木版墨摺	37.5×46.7	江戸時代 (18～19世紀)	県立博物館	笛吹市御坂町	
19	天神図 (わはらの宮)	1	紙、木版墨摺	56.3×21.7	江戸時代 (19世紀)		大月市七保町	
20	六字名号	1	紙本墨書	117.0×44.2	江戸時代 (18～19世紀)		大月市七保町	
21	萩原木食繁昌	1	紙本墨書	13.8×35.5	安永10年 (1781)			
22	木食白導一代記	1	紙本墨書	31.0×1074.9	江戸時代		山梨県甲府市	
23	日本回国納経牒	1	紙本墨書	24.0×17.0	明和9～天明元年 (1772～1781)		山梨県甲斐市	
24	聖観世音本堂鎮守金毘羅本社拝殿建立		紙本墨書	27.6×19.5	寛政6年 (1794)		山梨県甲斐市	
25	天満宮縁記	1	紙本墨書	27.5×18.0	享和3年 (1803)		山梨県甲斐市	
26	負箱蓋	1	木造	33.0×37.4	寛政12年 (1800)	上原組	山梨県甲州市	

【展示平面図】



展示風景

※ 企画展示室の中央約3分の1のスペースを使用し、可動壁を用いてシンボル展示室を構成。



ii 信玄堤

- 【会 期】平成20年12月17日（水）から平成21年1月19日（月）まで  
会期日数34日、展示日数26日
- 【主 催】山梨県立博物館
- 【後 援】甲斐市教育委員会、韮崎市教育委員会、南アルプス市教育委員会
- 【会 場】企画展示室
- 【入場者数】3,057人
- 【担 当】学芸員 西川広平、近藤暁子
- 【概 要】

戦国時代以来、各時代における普請工事を積み重ねて築堤された信玄堤に関連する資料をとおして、水害に度々襲われた山梨の自然環境の中で、生活を守るための技術や信仰、地域の連携が生まれ、継承されていった様子を紹介した。

【関連イベント】

■かいじあむ講座「信玄堤と甲斐の人々」

- ・日 時 平成21年1月11日（日）午前10時30分～11時30分
- ・会 場 生涯学習室
- ・内 容 シンボル展担当者が信玄堤の築堤状況について解説。

■収蔵品ゆかりの地ツアー

- ・日 時 平成21年1月11日（日）午前10時30分～午後4時
- ・訪問先 信玄堤（甲斐市）、石積出（南アルプス市）、将棋頭（韮崎市・南アルプス市）

■ギャラリートーク

- ・日 時 平成21年1月2日（金）、1月3日（土）、1月10日（土）、1月11日（日）

【出品資料一覧】

○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

番号	コーナー	資 料 名	所 蔵 者	員数	指 定
1	信玄堤のあゆみ	甲斐国絵図	山梨県立博物館（甲州文庫）	1	
2		甲斐国志写本（巻之二十 山川部第一）	山梨県立博物館（甲州文庫）	1	
3		旧竜王河原宿 石橋	甲斐市 個人	1	◇
4		武田家朱印状	甲斐市 個人	1	○
5		武田家朱印状	甲斐市 個人	1	○
6		武田家朱印状	甲斐市 個人	1	○
7		武田家朱印状	甲斐市 個人	1	○
8		武田家朱印状	甲斐市 個人	1	○
9		浅野吉明書状	山梨県立博物館（今沢家資料）	1	○
10		武田家朱印状	中央市 個人	1	
11		穴山信君判物	中央市 個人	1	
12	徳川家奉行連署状	中央市 個人	1		
13	描かれた信玄堤	石積出絵図	山梨県立博物館（千野家資料）	1	
14		将棋頭絵図	山梨県立博物館（千野家資料）	1	
15		将棋頭絵図	山梨県立博物館（千野家資料）	1	
16		十六石絵図	山梨県立博物館（千野家資料）	1	
17		西八幡堤絵図	山梨県立博物館（新海家資料）	1	
18		信玄堤絵図	山梨県立博物館	1	
19		信玄堤絵図	甲斐市 個人	1	◇
20		信玄堤絵図	山梨県立博物館	1	
21	御幸祭	御幸祭絵図（甲斐国一二三御幸ノ図）	山梨市 個人	1	
22		三社明神旗	甲斐市 個人	1	◇
23		甲斐叢記（巻之三）	山梨県立博物館	1	
24		九頭竜神祠	南アルプス市 上高砂区	1	
25		九頭竜大権現上組講帳	南アルプス市 上高砂区	1	
26		普請目論見鑑	山梨県立博物館	3	



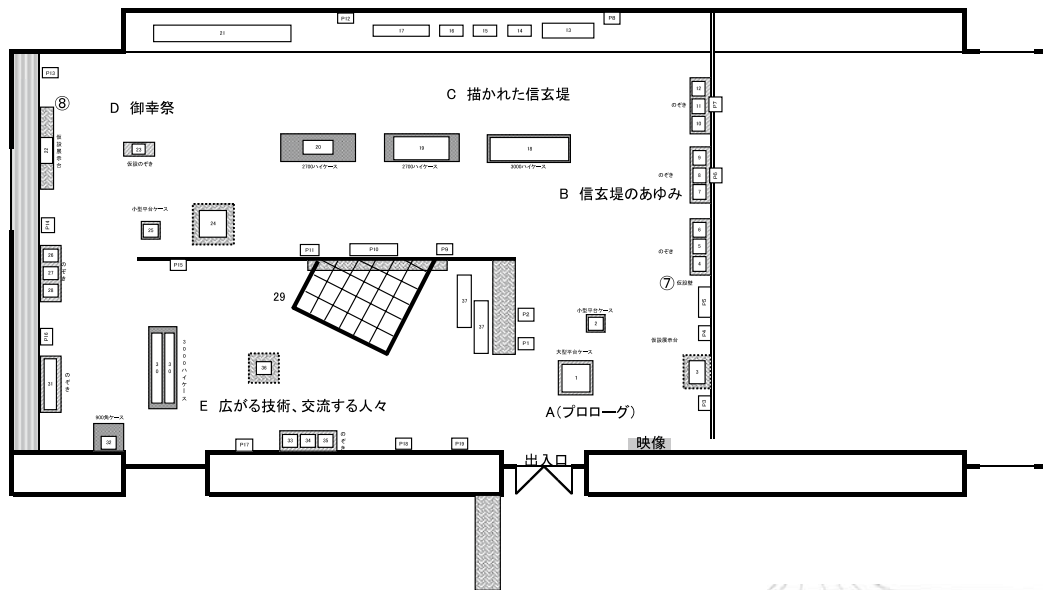
展示会ちらし



展示風景

番号	コーナー	資料名	所蔵者	員数	指定
27	広がる技術、 交流する人々	水盛町見井川除普請等其他種々術書	山梨県立博物館	1	
28		勝山古記	富士吉田市 個人	1	
29		韮崎市 塩川下河原堤防遺跡出土粹類	韮崎市教育委員会	1	
30		駿遠州川々御普請絵図	甲斐市 個人	2	
31		天竜川御普請絵図	浜松市博物館	1	
32		富士三十六景 駿遠大井川	山梨県立博物館	1	
33		寛延元辰年改御普請積定法	山梨県立博物館	1	
34		御手伝御普請・御入用御普請御役人付	山梨県立博物館 (有泉家資料)	1	
35		和歌・俳句等書上	山梨県立博物館 (斎藤家資料)	1	
36		聖牛 模型	南アルプス市 上高砂区	1	
37	竹蛇籠	南アルプス市 上高砂区	1		

【展示平面図】



iii 消えたおかぶと

【会 期】平成21年3月11日（水）から同年4月13日（月）まで  
会期日数 33日 公開日数 29日

【主 催】山梨県立博物館

【入場者数】3,772人

【担当者名】学芸員 丸尾 依子、植月 学

【概 要】

かつて、甲州独自の端午の節供人形として親しまれた「おかぶと（カナカンブツ）」を多くの方々に知っていただくとともに、歴史や消滅の過程をひもといた。

【関連イベント】

■ギャラリートーク

- ・日 時 平成21年3月14日（土）、29日（日）、4月4日（土）、11日（土）  
午後2時～午後2時30分

※3月29日（日）のみ午後3時10分～午後3時40分

■かいじあむ子ども工房「『はりこ』のお面をつくろう」

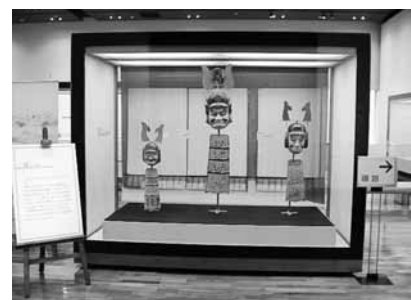
- ・日 時 3月14日（土）午前10時30分～午後3時
- ・場 所 体験学習室

■かいじあむ講座「甲斐の『おかぶと』」

- ・日 時 3月29日（日）午後1時30分～午後3時



展示会ちらし



展示風景

## ・場 所 生涯学習室

## 【出品資料一覧】

	資 料 名	年 代	所 蔵 者	員数
1	「おかふと」(一揃い)	江戸時代～明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
2	「おかふと」(一揃い)	江戸時代～明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
3	「おかふと」(一揃い)	江戸時代～明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
4	裏見寒話	宝暦2年(1752)	当館蔵(甲州文庫)	1点
5	「おかふと」(面)	不明	当館蔵(甲州文庫)	2点
6	木型	不明	恵林寺宝物館	1点
7	木型	不明	当館蔵(甲州文庫)	1点
8	裏貼り(反古紙)が見える「おかふと」	江戸時代～明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
9	裏貼り(ボール紙)がみえる「おかふと」	江戸時代～明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
10	胡粉が塗られた「おかふと」の裏面	江戸時代～明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
11	鉛丹が使用された「おかふと」	明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
12	垂れ	明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
13	「おかふと」	江戸時代～明治時代	鯉沢町個人蔵	28点
14	「おかふと」数量書	昭和16年(1941)	鯉沢町個人蔵	1点
15	甲府買物独案内	江戸時代	当館蔵(甲州文庫)	1点
16	甲府買物独案内	明治時代	当館蔵(甲州文庫)	1点
17	山梨県甲府各家商業便覧	明治時代	当館蔵(甲州文庫)	1点
18	雑問屋差縫一件訴状并内済証文	江戸時代	当館蔵(甲州文庫)	1点
19	雑問屋訴訟書類	大正時代(文化6年の記録)	当館蔵(若尾資料)	1点
20	日本歳時記	江戸時代	甲府市個人蔵	1点
21	大和耕作絵抄	大正時代(複製版)	甲府市個人蔵	1点
22	年中祭り祝事休日之事	明治7年(1874)	笛吹市個人蔵	1点
23	初節句請納物控	慶応元年(1865)	当館蔵(大木家資料)	1点
24	初節句祝儀	明治33年(1900)	当館蔵(市川家資料)	1点
25	「おかふと」(面、垂れ)	江戸時代～明治時代	当館蔵(上野コレクション)	30点
26	「おかふと」信玄	伝嘉永2年(1849)	鯉沢町個人蔵	1点
27	「おかふと」信玄	伝嘉永2年(1849)	鯉沢町個人蔵	1点
28	「おかふと」信玄	伝嘉永2年(1849)	鯉沢町個人蔵	1点
29	「おかふと」役者	伝嘉永2年(1849)	鯉沢町個人蔵	1点
30	「おかふと」天狗	伝嘉永2年(1849)	鯉沢町個人蔵	1点
31	「おかふと」付属品	伝嘉永2年(1849)	鯉沢町個人蔵	8点
32	天神人形	明治時代	当館蔵(上野コレクション)	1点
33	鍾馗幟(部分)	明治時代	当館蔵	1点
34	雑記帳	明治28年(1895)	笛吹市個人蔵	1点
35	山梨県布達全書	明治6年(1873)	当館蔵(甲州文庫)	1点
36	お面になった「おかふと」	江戸時代～明治時代	当館蔵	5点
37	補修痕がある「おかふと」	江戸時代～明治時代	当館蔵(上野コレクション)	3点
38	「おかふと」	明治時代	甲州市	5点
39	「おかふと」とともにしまわれていた古文書	明治時代	甲州市	5点
40	明治時代の節供人形(鎧兜)	明治時代	当館蔵(大木家資料)	1式
41	明治時代の節供人形(騎馬軍人)	明治28年(1895)	当館蔵(大木家資料)	3点
42	明治時代の節供飾り	明治時代	当館蔵(大木家資料)	6点
43	現代の「かなかんぶつ」	平成	当館蔵	2点
44	久那土小学校「かなかんぶつ」制作授業資料	平成	久那土小学校	1式
45	子どもたちが作った「かなかんぶつ」	平成	久那土小学校	7点

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

	名 称	発 刊 日	体 裁
1	『生誕290年 木喰展 一庶民の信仰・微笑仏一』図録	平成19年10月6日	A 4版変形 228頁 (発行 神戸新聞社)
2	『夏期企画展 文化財を まもる しらべる つたえる』図録	平成20年7月12日	B 5版変形 93頁
3	『甲州食べもの紀行 ー山国の豊かな食文化ー』図録	平成20年10月11日	A 4版 152頁
4	『新指定文化財展 甲斐の国のたからもの』図録	平成21年1月30日	A 4版 40頁
5	『木食白道 知られざるもう一人の木食』展リーフレット	平成20年5月21日	A 4版 8頁
6	『信玄堤』展リーフレット	平成20年12月17日	A 4版 8頁
7	『消えたおかぶとー節供人形カナンブツの謎を追うー』展リーフレット	平成21年3月10日	A 4版 8頁

※ 1は神戸新聞社発行、それ以外は全て山梨県立博物館編集・発行である。



1



2



3



4



5



6



7

## 第5章 企画交流事業

### (1) 生涯学習サービス事業

平成20年度における各種生涯学習サービス事業の結果は次のとおりであり、多種多様な生涯学習サービス事業の提供を行った。

特色としては「甲州味の見本市」という郷土食の試食会のように日常生活に身近なテーマを基に、県内各地の郷土食の関係者・団体と連携を図ることで多くの利用者に親しまれたことが挙げられる。

また、新規に「古文書相談日」を実施し、県内各地に眠る歴史資料の保存・活用を支援し、資料保存機関としての役割を高めた。今後、県民への定着化が課題である。

今後も様々な利用者に活用される博物館を目指すこととしたい。

#### ① 講演会・講座・シンポジウム等

##### ■講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者数(人)
平成20年4月5日(土)	萩原三雄(帝京大学山梨文化財研究所所長) 田代孝(恵林寺宝物館館長)	[甲州寺子屋1 武田金山の歴史について] [甲州寺子屋2 最盛期の甲府城の姿]	恩賜林記念館	60
4月20日(日)	小島梯次(全国木喰研究会評議員)	[企画展特別記念講演会 庶民の信仰 微笑仏]	県立博物館	200
7月27日(日)	半田昌規(国宝修理装演師連盟理事)	[企画展関連講演会 絵画・書跡・古文書の修理]	県立博物館	50
8月24日(日)	藤本青一(財団法人美術院 国宝修理所所長)	[企画展関連講演会 仏像の修理]	県立博物館	60
10月26日(日)	石川英輔(作家)	[企画展特別記念講演会 泉光院の旅と甲州の庶民生活]	県総合教育センター	103

##### ■講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者数(人)
平成20年5月18日(日)	平川 南(当館館長)	[館長トーク1 古代の行政と交通-道制(1)]	県立博物館	40
7月20日(日)	平川 南(当館館長)	[館長トーク2 古代の行政と交通-道制(2)]	県立博物館	60
9月21日(日)	平川 南(当館館長)	[館長トーク3 古代の行政と交通-国司による分割支配]	県立博物館	54
11月16日(日)	平川 南(当館館長)	[館長トーク4 古代の行政と交通-駅と関]	県立博物館	41
平成21年1月18日(日)	平川 南(当館館長)	[館長トーク5 甲斐国と渡来人]	県立博物館	58
3月15日(日)	平川 南(当館館長)	[館長トーク6 甲斐国と養蚕]	県立博物館	40
平成20年4月27日(日)	近藤暁子(当館学芸員)	[かいじあむ講座1 木喰の故郷-甲斐に残された仏たち]	県立博物館	100
6月8日(日)	近藤暁子(当館学芸員)	[かいじあむ講座2 木食白道の足跡を追って]	県立博物館	70
8月10日(日)	峯名貴彦(当館学芸員)	[かいじあむ講座3 博物館を支える様々な仕事]	県立博物館	21
10月19日(日)	植月 学(当館学芸員)	[かいじあむ講座4 甲州に運ばれた海の幸]	県立博物館	11
11月9日(日)	中山誠二(当館学芸課長)	[かいじあむ講座5 ほうとうのルーツ]	県立博物館	20
平成21年1月11日(日)	西川広平(当館学芸員)	[かいじあむ講座6 信玄堤と甲斐の人々]	県立博物館	128
2月22日(日)	井澤英理子(当館学芸員)	[かいじあむ講座7 お釈迦様の物語絵-仏伝図]	県立博物館	50
3月29日(日)	丸尾依子(当館学芸員)	[かいじあむ講座8 甲斐のおかぶと]	県立博物館	21
平成20年6月7日(土)	高橋 修(当館学芸員)	[かいじあむ古文書講座1 小学生でも読めるくずし字講座]	県立博物館	46
7月12日(土)	高橋 修(当館学芸員)	[かいじあむ古文書講座2 親子で楽しめるくずし字講座]	県立博物館	39
8月9日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	[かいじあむ古文書講座3 甲州財閥の手紙を読む(1)]	県立博物館	53
10月11日(土)	小畑茂雄(当館学芸員)	[かいじあむ古文書講座4 甲州財閥の手紙を読む(2)]	県立博物館	50
11月8日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	[かいじあむ古文書講座5 甲州食文化に関する古文書を読む]	県立博物館	42
12月20日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	[かいじあむ古文書講座6 治水に関する古文書を読む]	県立博物館	48
平成21年2月7日(土)	西川広平(当館学芸員)	[かいじあむ古文書講座7 古文書をみんなで考えて読む(1)]	県立博物館	43
3月21日(土)	西川広平(当館学芸員)	[かいじあむ古文書講座8 古文書をみんなで考えて読む(2)]	県立博物館	41
平成20年6月14日(土)	-	[古文書相談1]	県立博物館	4
8月9日(土)	-	[古文書相談2]	県立博物館	5
10月11日(土)	-	[古文書相談3]	県立博物館	6
12月6日(土)	-	[古文書相談4]	県立博物館	3
平成21年2月14日(土)	-	[古文書相談5]	県立博物館	3

##### ■シンポジウム・共催セミナー

日時	内容	開催場所	参加者数(人)
平成20年11月24日(月)	シンポジウム「山国の豊かな食文化-甲斐の多様な食を考える-」 基調講演：原田信男(国士館大学21世紀アジア学部教授)「山の食文化史」 報告：数野雅彦(山梨郷土研究会)「食文化を記録した山梨の資料」 中山誠二(山梨県立博物館)「山梨の粉食文化の歴史」 高橋 修(山梨県立博物館)「料理屋とアウトロー」 宮澤富美恵(山梨郷土研究会)「飢饉と食の変容」 植月 学(山梨県立博物館)「山国に運ばれた海の幸」	県立博物館	100

講演会・講座・シンポジウム等参加者数合計

1,670

② 体験プログラム

日 時	内 容	開催場所	参加者数 (人)
平成20年11月2日(日)	「民俗芸能Live 一之瀬高橋の春駒」	県立博物館庭	127
平成21年2月1日(日)	「民俗芸能Live 下市之瀬の獅子舞」	県立博物館ロビー	120
平成20年4月26日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
5月24日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
7月26日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	8
9月20日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	30
10月18日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
11月29日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10
12月20日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	8
平成21年1月24日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	13
2月28日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	23
3月22日(日)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
平成20年4月19日(土)	かいじあむ子ども工房「お手玉を作ってあそぼう！」	県立博物館	20
5月3日(土)	かいじあむ子ども工房「おり紙かぶと・かざぐるま・ステンシル 絵はがき・缶バッジづくり」	県立博物館	120
5月6日(火)	かいじあむ子ども工房「おり紙かぶと・かざぐるま・ステンシル 絵はがき・缶バッジづくり」	県立博物館	150
5月24日(土)	かいじあむ子ども工房「びゅんびゅんごまを作ってあそぼう！」	県立博物館	25
5月31日(土)	かいじあむ子ども工房「粘土でつくろう微笑仏」	県立博物館	50
6月28日(土)・29日(日)	かいじあむ子ども工房「七夕かざりをつくろう！」	県立博物館	120
7月26日(土)	かいじあむ子ども工房「竹の水鉄砲を作ってあそぼう！」	県立博物館	70
8月23日(土)	かいじあむ子ども工房「糸電話を作ってあそぼう！」	県立博物館	40
9月6日(土)	かいじあむ子ども工房「紙トンボを作ってあそぼう！」	県立博物館	25
10月18日(土)	かいじあむ子ども工房「セミのおもちゃを作ってあそぼう！」	県立博物館	20
11月29日(土)	かいじあむ子ども工房「竹の笛を作ってあそぼう！」	県立博物館	30
12月20日(土)	かいじあむ子ども工房「お手玉を作ってあそぼう！」	県立博物館	25
平成21年1月17日(土)	かいじあむ子ども工房「お正月の遊びを楽しもう！」	県立博物館	70
2月21日(土)	かいじあむ子ども工房「木の実であそぼう！」	県立博物館	30
3月14日(土)	かいじあむ子ども工房「張り子のお面をつくろう(1)」	県立博物館	20
平成20年5月4日(日)・5月5日(月)	「かいじあむこども祭り」	県立博物館ウッドデッキ	750
8月16日(土)・17日(日)	「かいじあむの夏祭り」	県立博物館	600
8月2日(土)・10日(日)・ 22日(金)	「企画展関連イベント ワークショップ」	県立博物館	75
8月3日(日)・31日(日)	「企画展関連イベント バックヤードツアー」	県立博物館	42
9月15日(月)	「県立博物館コンサート 合唱団コーラル21敬老の日コンサート」	県立博物館	70
10月11日(土)～13日(月)・ 11月1日(土)～3日(月)・ 20日(木)・22日(土)・23日(日)	「企画展関連イベント 甲州味の見本市」	県立博物館ウッドデッキ	2,700
11月15日(土)	「かいじあむ収穫祭」	県立博物館畠	300
11月20日(木)	「かいじあむ秋祭り」	県立博物館	150
1月2日(金)～3日(土)	「かいじあむのお正月」	県立博物館	500
1月4日(日)	「かいじあむ餅つき大会」	県立博物館ウッドデッキ	400
2月15日(日)	「仏教年中行事公開 涅槃会」	県立博物館	200
体験プログラム参加者数合計			6,965

(2) 博学連携事業

教育課程による学校利用の促進、定着を図れるよう、総合教育センターや義務教育課、高校教育課が主催する各種研修等において教職員に対し、博物館活用の手だてを紹介してきた。より学校の実態に則し、教育活動に資することができるよう努めていきたい。

① かいじあむティーチャーズクラブ

i 活動の目的

平成17年度まで『博物館活用研究会』として、指導主事、教育センター、各教育事務所より推薦のあった学校教員の中から博学連携の方策を検討する委員会を組織していた。

平成17年10月に開館し多くの来館者を受け入れる態勢が整い、博学連携も今まで以上に幅広く呼びかける必要性がでてきた。そこで平成18年度より広く（公募で）学校教員を募集し、名称も新たに「かいじあ

むティーチャーズクラブ」として研究会の運営を行った。このクラブでは、教員の博物館を活用した授業実践を主とし、その蓄積を図り、学校現場でのこれからの活用の参考事例としての役割を果たすことを目的とする。

ii 会員数

校 種	会員数 (人)
小 学 校	12
中 学 校	14
高等学校、その他	14
総 計	40

iii 活動実績

- ・平成20年6月5日(木) 第1回研究会 実践研究の進め方の提案等
- ・ 7月30日(水) 夏季研修会 展示の教材化について
- ・ 8月1日(金) 夏季研修会 展示の教材化について
- ・平成21年2月12日(木) 第2回研究会 実践研究発表、意見交換等
- ・ 3月27日(金) 『博物館活用事例集⑤』発行

② 授業の一環としての博物館利用

■授業の一環としての博物館利用一覧

来館日時	学 校 名	人数(人)		来館日時	学 校 名	人数(人)	
		児童・生徒	引率			児童・生徒	引率
平成20年4月9日(水)	山梨学院大学附属小学校	56	4	6月6日(金)	開 成 高 校	100	3
4月16日(水)	中 富 中 学 校	30	4	6月11日(水)	八王子特別支援学校	47	24
4月17日(木)	笛 川 中 学 校	53	6	6月12日(木)	目黒区立第三中学校	11	8
4月18日(金)	身 延 中 学 校	60	4	6月18日(水)	目黒区立第九中学校	79	8
4月19日(土)	須 玉 中 学 校	61	4	6月18日(水)	石 和 高 校	156	8
4月23日(水)	青森山田高等学校山梨校	9	4	6月20日(金)	日本航空高校附属中学校	44	3
4月24日(木)	勝 沼 中 学 校	84	6	6月25日(水)	あけぼの支援学校	1	3
4月25日(金)	駿 台 甲 府 中 学 校	122	7	6月29日(日)	江戸川学園取手中学校	294	14
5月1日(木)	小 淵 沢 中 学 校	48	5	7月4日(金)	六 郷 中 学 校	35	3
5月2日(金)	白 根 百 田 小 学 校	44	3	7月9日(水)	塩 山 中 学 校	23	3
5月8日(木)	富 浜 中 学 校	6	0	7月10日(木)	中 央 高 校	123	13
5月9日(水)	白 根 巨 摩 中 学 校	3	0	7月10日(木)	か え で 支 援 学 校	26	11
5月9日(金)	泉 中 学 校	45	5	7月11日(金)	目 黒 中 央 中 学 校	156	14
5月9日(金)	葦 崎 西 中 学 校	99	6	7月14日(月)	墨 田 特 別 支 援 学 校	28	13
5月14日(水)	山 中 湖 中 学 校	44	4	7月14日(月)	日 下 部 小 学 校	70	3
5月14日(水)	都 留 第 一 中 学 校	96	7	8月29日(金)	吉 田 高 校	21	2
5月14日(水)	ろ う 学 校	4	2	9月4日(木)	御 坂 西 小 学 校	107	5
5月15日(木)	小 菅 中 学 校	10	4	9月17日(水)	池 田 小 学 校	109	7
5月15日(木)	駿 台 甲 府 小 学 校	70	6	9月19日(金)	下 吉 田 第 二 小 学 校	96	6
5月16日(金)	押 原 中 学 校	6	0	9月19日(金)	高 根 清 里 小 学 校	40	3
5月16日(金)	精 進 小 学 校	9	2	9月21日(日)	帝 京 中 学 校	131	7
5月16日(金)	櫛 形 中 学 校	17	0	9月25日(木)	富 士 小 学 校	35	3
5月16日(金)	山梨大学附属特別支援学校	7	4	9月25日(木)	梁 川 小 学 校	15	2
5月17日(土)	都 留 第 二 中 学 校	151	11	9月26日(金)	山 中 東 小 学 校	27	3
5月21日(水)	勝 山 小 学 校	36	3	9月26日(金)	山 中 小 学 校	34	3
5月21日(水)	下 吉 田 東 小 学 校	61	3	10月1日(水)	石 田 小 学 校	84	5
5月21日(水)	富 竹 中 学 校	106	8	10月1日(水)	上 野 原 市 教 委	12	7
5月21日(水)	竜 王 中 学 校	36	3	10月2日(木)	芦 川 小 学 校	6	4
5月22日(木)	竜 王 中 学 校	32	0	10月2日(木)	島 田 小 学 校	11	2
5月22日(木)	春 日 居 小 学 校	74	4	10月2日(木)	葦 崎 北 東 小 学 校	81	6
5月22日(木)	小 立 小 学 校	78	4	10月2日(木)	東 雲 小 学 校	30	3
5月23日(金)	山梨大学附属中学校	32	1	10月3日(金)	大 国 小 学 校	96	6
5月23日(金)	吉 田 高 校	22	2	10月3日(金)	西 原 小 学 校	8	2
5月23日(金)	忍 野 小 学 校	95	5	10月3日(金)	新 田 小 学 校	53	4
5月23日(金)	富 河 小 学 校	20	2	10月3日(金)	里 垣 小 学 校	78	4
5月24日(土)	江 戸 川 女 子 高 校	162	4	10月3日(金)	岩 手 小 学 校	21	3
5月24日(土)	西 桂 中 学 校	63	5	10月8日(水)	宮 谷 小 学 校	12	3
5月29日(木)	丹 波 中 学 校	13	7	10月8日(水)	日 野 春 小 学 校	26	3
6月4日(木)	塩 山 北 中 学 校	8	1	10月8日(水)	玉 諸 小 学 校	90	5

来館日時	学 校 名	人数(人)		来館日時	学 校 名	人数(人)	
		児童・生徒	引率			児童・生徒	引率
10月8日(水)	山 中 小 学 校	35	3	11月14日(金)	甘 利 小 学 校	143	5
10月8日(水)	武蔵台特別支援学校	44	24	11月14日(金)	大 河 内 小 学 校	15	2
10月9日(木)	東 小 学 校	72	4	11月14日(金)	石 和 こ す も す 教 室	15	4
10月9日(木)	若 草 小 学 校	81	4	11月17日(月)	常 永 小 学 校	65	4
10月9日(木)	須 玉 小 学 校	49	4	11月21日(金)	小 泉 小 学 校	27	2
10月10日(金)	増 富 小 学 校	7	6	11月21日(金)	増 穂 西 小 学 校	4	1
10月15日(水)	大 月 東 小 学 校	42	4	11月21日(金)	下 山 小 学 校	11	2
10月15日(水)	甲 運 小 学 校	90	5	11月26日(水)	穂 坂 小 学 校	26	2
10月16日(木)	八 田 小 学 校	88	4	11月26日(水)	沢 松 小 学 校	13	3
10月16日(木)	増 穂 小 学 校	126	5	11月27日(木)	一 宮 北 小 学 校	23	2
10月16日(木)	舞 鶴 小 学 校	50	4	11月27日(木)	南 湖 小 学 校	40	4
10月17日(金)	旭 小 学 校	19	3	11月27日(木)	敷 島 小 学 校	70	4
10月17日(金)	吉 田 小 学 校	138	6	12月1日(月)	上 野 原 中 学 校	125	10
10月17日(金)	吉 田 高 校	21	2	12月4日(木)	八 代 小 学 校	96	4
10月23日(木)	甲 府 湯 田 高 校	34	2	12月4日(木)	富 士 河 口 湖 高 校	158	12
10月23日(木)	三 富 保 育 所	28	6	12月5日(金)	富 士 河 口 湖 高 校	121	10
10月24日(金)	西 嶋 小 学 校	11	2	12月10日(水)	甲 府 支 援 学 校	4	4
10月24日(金)	静 川 小 学 校	9	2	12月17日(水)	八 幡 小 学 校	26	2
10月24日(金)	原 小 学 校	9	2	12月22日(月)	猿 橋 小 学 校	48	2
10月24日(金)	下 部 小 学 校	11	2	1月16日(金)	西 条 小 学 校	83	4
10月24日(金)	三 富 小 学 校	30	3	1月29日(木)	甲 府 東 高 校	50	3
10月27日(月)	春 日 居 小 学 校	84	3	1月29日(木)	葦 崎 小 学 校	58	3
10月27日(月)	日 川 高 校	11	5	2月5日(木)	押 原 小 学 校	52	3
10月30日(木)	長 坂 小 学 校	29	3	2月13日(金)	武 川 小 学 校	34	2
10月31日(金)	伊 勢 小 学 校	91	5	2月16日(月)	秋 田 小 学 校	11	2
10月31日(金)	牧 丘 第 二 小 学 校	7	2	2月19日(木)	明 野 小 学 校	45	2
10月31日(金)	甲 陵 中 学 校	40	2	2月26日(木)	甲 府 南 中 学 校	13	3
11月5日(水)	豊 小 学 校	58	2	3月2日(月)	万 沢 小 学 校	3	3
11月5日(水)	竜 王 西 小 学 校	53	4	3月5日(木)	琢 美 小 学 校	3	2
11月5日(水)	忍 野 中 学 校	86	10	3月6日(金)	五 開 小 学 校	5	1
11月5日(水)	田 富 北 小 学 校	58	3	3月6日(金)	早 川 南 小 学 校	6	2
11月6日(木)	石 和 東 小 学 校	48	3	3月23日(月)	御 坂 東 小 学 校	30	2
11月7日(金)	大 月 東 中 学 校	6	0				
11月12日(水)	菱 山 小 学 校	11	1				
11月12日(水)	山 梨 高 校	190	10				
				小 計		7731	649
				総 計		8380	

③ 出前授業

■出前授業実施一覧

年 月 日	学校名	学年	内 容	担当者	受講人数(人)
平成20年4月23日(水)	丹波中学校	全	博物館を学習に生かすために	望月 淳也	17
5月2日(金)	泉中学校	2年	山梨の風土と歴史の概要	出月 洋文	45
5月2日(金)	吉田高等学校	3年	筒粥神事から見る富士北麓の産業・博物館を見る上でのポイント	西川 広平 平山 智英	22
5月21日(水)	塩山高等学校	1年	地域を知る	高橋 修	50
6月4日(水)	塩山高等学校	2年	日本を知る	高橋 修	5
6月4日(水)	石和高等学校	1年	博物館を活用した調べ学習の事前学習	望月 淳也	156
6月18日(水)	北杜高等学校	3年	地域の歴史について	高橋 修	20
6月27日(金)	白根東小学校	5年	江戸時代のリサイクルについて 今のごみの様子、リサイクルの様子について	高橋 修	50
7月4日(金)	吉田高等学校	3年	筒粥神事から見る富士北麓の産業・博物館を見る上でのポイント	西川 広平 平山 智英	22
10月10日(金)	吉田高等学校	3年	筒粥神事から見る富士北麓の産業・博物館を見る上でのポイント	西川 広平 平山 智英	21
10月29日(水)	伊勢小学校	6年	山梨の歴史～国分寺跡等について	高橋 修	91
11月7日(金)	都留文科大学		富士北麓地域の文化	堀内 亨	120
12月5日(金)	都留文科大学		山梨の歴史	小畑 茂雄	100
12月12日(金)	吉田高等学校	3年	北斎と広重が描いた富士山	出月 洋文	170
3月2日(月)	御坂中学校	1年	山梨の史跡を訪ねてみよう	出月 洋文	140
			総 計		1029



## ④ 職場体験

## ■職場体験実施一覧

実施日	学校名	学年	人数(人)
平成20年7月14日(月)	増穂中学校	2年	8
平成20年7月30日(水)～7月31日(木)	山梨高等学校	2年	7
平成20年7月30日(水)～8月1日(金)	城西高等学校	1年	2
平成20年8月13日(水)	押原中学校	2年	3
平成20年10月18日(土)	塩山高等学校	3年	3
平成20年11月12日(水)～11月14日(金)	御坂中学校	2年	4
小計(中学校)			15
小計(高等学校)			12
総計			27

## ⑤ 「未来の山梨を描こう！」募集

常設展示「共生する社会」には子ども達による「未来の山梨」の絵を紹介するコーナーがある。県内の子ども達に絵の募集をしたところ、次の応募があった。

	応募学校数	応募人数
小学校	30	112
中学校	9	177
小計	39	289

## ⑥ 大学教育との連携

## i 学芸員実習

【期間】平成20年8月1日(金)～11日(月)(計10日間)

【受け入れ人数】8名(男2名、女6名)

【実習生所属大学】

- ・山梨県内：都留文科大学 3名
- ・山梨県外：金沢大学、工学院大学、駒澤大学、大東文化大学、日本大学 各1名

【実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員の行う調査研究・展示・資料保存などの各業務についての分野別講義および実習
- ・企画交流事業についての講義・実習
- ・日常的な学芸業務の実習(展示室の開閉、展示室・資料の点検)
- ・博物館職員との意見交換会

## ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名	期間
植月 学	早稲田大学教育学部(博物館実習H)	平成20年4月14日～平成21年1月19日
沓名 貴彦	帝京科学大学(博物館各論I)	平成20年4月1日～平成21年3月31日

## ⑦ 発行物

「博物館活用研究会」を発展させ、「かいじあむティーチャーズクラブ」として会員を県内の教職員より広く一般公募した。その会員が実践した事例を報告としてまとめ、県内の小中高特別支援学校全校に配布し、学校現場の利用促進を図った。

名称	発刊日	体裁
『博物館活用事例集⑤山梨県立博物館を活用したティーチャーズクラブの先生による学習活動事例集』	平成20年3月31日	簡易印刷

## (3) 博物館同士のネットワーク

## ① ミュージアム甲斐・ネットワーク

県内の博物館等が連携を強化して集客向上を図るとともに、“やまなし学”の推進と県民文化の更なる向上を目指して、従来の「ハブ博物館ネットワーク」に替え、それよりさらに充実・発展させた「ミュージ

「アム甲斐・ネットワーク」(以下「ネットワーク」)事業を新たに構築することとした。平成19年9月14日現在でネットワーク参加館は103館である。

ネットワーク事業の体系は次のとおりである。

- 1 ミュージアム甲斐・ネットワーク会議(普及・啓発事業の実施)
- 2 ミュージアム甲斐・ネットワーク調査研究(共同調査・研究)
- 3 アートミュージアム・ネットワーク(県内美術館コレクションの貸借促進)
- 4 「ミュージアム甲斐in(会員)」募集(割引制度の導入促進)

平成20年度の活動としては平成19年度に引き続き、ネットワーク会議を実施したほかPR用リーフレットの作成、スタンプラリーの実施等を行った。平成20年度は、NHK大河ドラマ「風林火山」のブームに対応した、武田史跡の活用と博物館連携をテーマにした取り組みで参加希望のあった歴史系博物館により実行委員会を組織し、次のような取り組みを実施した。

- ・「武田史跡と関係博物館のガイドブック」(風林火山の巻)を作成
- ・連携ホームページの作成

また県立博物館が主体となって実施する事業である「博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト」も次のとおり実施した。

■ミュージアム甲斐・ネットワーク会議開催一覧

開催日時	名 称	開催場所
平成20年7月17日(木)	ミュージアム甲斐・ネットワーク会議	県立博物館

■博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

開催日時	開催場所	参加者数 人	参加館数(館)
平成20年7月21日(月)	アイメッセ山梨	1,000	30
7月26日(土)～7月27日(日)	岡 島	525	
博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト参加者数		1,525	

② 縄文王国山梨

縄文王国山梨は山梨県内の縄文時代の出土品を収蔵・展示する県内7館が連携し、共同企画の展示・イベント等を実施するネットワークである。構成館は県立博物館の他に北杜市長坂郷土館、北杜市埋蔵文化財センター、韮崎市民俗資料館、南アルプス市教育委員会、笛吹市・甲州市組合立釈迦堂遺跡博物館、山梨県立考古博物館である。

平成20年度の事業としては、「伝えてじょうもん人からのメッセージ」と題したイラストコンテストやスタンプラリー等を行った。

(4) 広 報

年4回の「かいじあむ通信 Kai(交い)」の発行や、常設展チラシ・ポスター・パンフレット、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政だより「ふれあい」、県教育委員会広報誌「教育やまなし」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

今後とも広報活動の充実に努め、県立博物館のPRを積極的に実施する。

■各種だより、リーフレット類一覧

上述のとおり、広報には各種媒体を用いてきたが、多岐にわたるため、紙媒体で県立博物館が主体となって作成したものを中心に掲載する。

誌 名	発行期日
「かいじあむ通信 Kai(交い)」夏休み特別号	平成20年6月
「かいじあむ通信 Kai(交い)」第10号	平成20年6月
「かいじあむ通信 Kai(交い)」第11号	平成20年9月
「かいじあむ通信 Kai(交い)」第12号	平成20年12月
「かいじあむ通信 Kai(交い)」第13号	平成21年3月

## 第6章 施設の整備・管理

### (1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

#### ■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めるため職員を対象に実施している。

##### ・防災訓練

	開催日時	内 容
第1回	平成20年9月12日（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練</li> <li>・避難経路、消防設備等の確認</li> <li>・消火器による消火訓練及び消火栓放水訓練</li> <li>・燻煙装置による避難体験</li> </ul>
第2回	平成21年3月23日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の救急救命措置、AED操作説明</li> </ul>

##### ・その他の訓練

開催日時	内 容
平成21年3月10日（火）	・普通救命講習受講（1名 富士五湖消防本部）
平成21年3月11日（水）	・普通救命講習受講（3名 東山梨消防本部）

### (2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

	生涯学習室		交流室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
4月	89	2,700	2	770
5月	70	11,400		
6月	398	32,990		
7月	292	17,480		
8月	289	20,210		
9月	146	13,680		
10月	172	13,060		
11月	320	13,930		550
12月	273	19,760	10	
1月	0	0		
2月	292	21,560		
3月	323	15,760		
計	2,664	182,530	12	1,320

※なお、上記部屋について、学校利用の折に開放した実績769人を加えると、生涯学習室等の利用者総計は、3,445人である。

## 第7章 情報の発信と公開

### (1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示を通して利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集、整備し、その研究活動を支援する役割を担っている。

#### ■利用時間

午前9時から午後5時まで

(書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで。即日閲覧資料の請求は、午後3時まで)

入室は無料。

#### ■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

#### ■資料閲覧

- ・ 図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類や歴史に関する書籍、郷土研究についての資料、山梨県史や県内の市町村史誌類、逐次刊行物など約2,500冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・ 歴史資料等のうち「甲州文庫」の画像データは資料閲覧室内の端末で閲覧できる。
- ・ 収蔵資料のうち、即日閲覧対象資料(古文書、古記録、版木等)、「甲州文庫」及び古文書のデジタル化資料、マイクロフィルムは即日閲覧が可能である。
- ・ 即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧する。

#### ■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

#### ■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査研究の成果に基づき回答している。

#### ■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、甲州文庫等のマイクロ・デジタル化資料の複写サービスを行っている。

#### ■展示関連資料紹介

当館で開催する企画展、シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連資料の紹介コーナーを設けている。

#### ■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史の調べ方や自然観察の本、幼児のための絵本などを揃えている。

#### ■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(3台)では、歴史、文化財に関するビデオ、DVDなどを視聴することができる。

## ■平成20年度資料閲覧室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入室者	642人	551人	435人	374人	536人	207人	381人	499人	222人	300人	341人	266人	4,754人
ビデオ利用	118件	141件	108件	116件	233件	103件	150件	196件	102件	167件	159件	139件	1,732件
レファレンス	レファレンス	61件	36件	53件	26件	46件	22件	36件	42件	25件	20件	33件	443件
	利用相談	39件	37件	38件	24件	36件	25件	44件	48件	29件	32件	40件	425件
	小計	100件	73件	91件	56件	82件	47件	80件	90件	54件	52件	73件	868件
複写	件数	40件	45件	65件	55件	49件	22件	38件	61件	25件	48件	40件	549件
	電子式	548枚	622枚	753枚	671枚	451枚	329枚	357枚	538枚	216枚	382枚	566枚	5,687枚
	マイクロ、デジタル	1,771枚	1,169枚	1,870枚	2,189枚	1,995枚	150枚	639枚	967枚	1,282枚	956枚	402枚	12,881枚
	小計	1,319枚	1,791枚	2,623枚	2,860枚	2,446枚	479枚	996枚	1,505枚	1,498枚	1,338枚	968枚	18,568枚



展示関連資料紹介「甲州食べもの紀行 ―山国の豊かな食文化―」  
期間：平成20年10月11日（火）から同年12月8日（月）まで

## (2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。

このシステムは、以下の4つのシステムから構成される。

## ■活動支援システム

活動支援システムは、博物館の管理運営を支援するシステムである。チケット発券や来館者数管理のシステム化や自動化、団体・施設の予約管理等の支援を行う。また、これらの情報をグループウェアにより共有化し、効率的な運営の補助を行う。

## ■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料、図書資料等に関する各種情報を一元的に管理するためのシステムである。資料の受入情報から収蔵情報、付随する資料のメディアファイル類も、一元的に管理が可能となる。そして、データベースから常設展示情報端末への資料情報連携を行う展示システムも含まれる。

## ■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報検索や地域インデックスにおける各種県内情報等の発信がある。館外では、博物館ホームページにおける情報発信や、その中での収蔵資料・図書情報検索がある。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。そして、インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内におけるセキュリティは、山梨県情報セキュリティに準じている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より現ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等を公開しているほか、随時ページの増設、更新を行っている。

【ホームページの主な更新履歴】

平成20年4月7日 「グループ・団体の皆様へ」のご案内を掲載。

7月4日 過年度の年報をPDFファイルにて公開を開始。

8月15日 「交通案内」の地図を更新。各方面からのアクセスガイドを追加。

8月17日 アクセス数20万を突破。

「収蔵資料案内」ページの更新：収蔵資料・図書の検索を行うことができるページを、随時更新している。

検索可能件数（平成21年3月現在） ・収蔵資料 80,237件

・図書類 27,479件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>



アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
平成20年4月	7,513	250	9,273
5月	6,209	200	8,812
6月	5,875	196	5,463
7月	5,864	189	6,185
8月	6,421	207	6,655
9月	5,117	171	5,415
10月	5,844	189	6,657
11月	5,936	198	5,976
12月	4,514	146	3,493
平成21年1月	5,017	162	4,690
2月	5,547	198	4,706
3月	5,704	184	5,048
合 計	69,561	191	72,373

## 第8章 県民参画

### (1) NPOとの連携

平成20年度に実施したNPOとの連携事業の一覧は次のとおりである。

まず、かいじあむ検定については平成19年度において、一部、試験問題が難しく設定されてしまったために利用者から敬遠されてしまう結果となった。平成20年度はこうした反省を踏まえ、誰でも参加し易い、クイズブック形式とし、手軽に山梨県の歴史や文化、展示について興味を持っていただけるようにした。その結果、平成19年度（220名）の倍以上の利用者数を獲得することが出来た。

わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーの詳細は第Ⅰ編第2章を参照。

収蔵品ゆかりの地ツアーについて、秋の企画展「甲州食べもの紀行」展関連イベントとして実施した分が2回、シンボル展「信玄堤」展関連イベントとして実施した分が1回である。いずれも参加者は企画展を観覧した後で、展示資料ゆかりの地を観光バスで巡るという歴史ツアーである。平成20年度の工夫としては「甲州食べもの紀行」展にあわせて、毎回、ツアーで巡る地域や展示にゆかりのある食べ物（弁当）を提供することを実施した。利用者にはいずれも好評で、事業実施当日の数日前には申し込みが満員となる程の人気であった。

#### ① かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成20年7月13日(日)	かいじあむ検定第1回 常設展示編	県立博物館	130人
8月30日(土)	かいじあむ検定第2回 企画展示編	県立博物館	60人
11月30日(土)	かいじあむ検定第3回 企画展示編	県立博物館	150人
平成21年2月1日(日)	かいじあむ検定第4回 企画展示編	県立博物館	112人
参加者数合計			452人

#### ② わいわいミュージアム・エバリュエーションツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成20年8月10日(日)	通信簿ツアー	県立博物館	90人
10月19日(日)	「山梨県立博物館の通信簿ツアー」に基づいた改善ワークショップ	県立博物館	53人
参加者数合計			143人

#### ③ 収蔵品ゆかりの地ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成20年10月13日(月・祝)	企画展「甲州食べもの紀行」を鑑賞し、増穂町界隈を散策して、郷土料理みみを食する旅	増穂町	45人
12月7日(日)	企画展「甲州食べもの紀行」を鑑賞し、甲州八珍果の吊し柿風景を堪能し、旧秩父街道を散策する旅	甲州市塩山	45人
平成21年1月11日(日)	シンボル展「信玄堤」を鑑賞し、信玄堤を上流からまるごとたどるバスツアー	南アルプス市・韮崎市	90人
参加者数合計			180人

※委託先のNPOについては、平成20年5月12日(月)に県民参画事業実施先NPO審査会を開催し、その結果、各事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



平成20年10月19日(日)実施の「通信簿ツアーの結果に基づいた改善ワークショップ」の様子。利用者参加型のコーナーである郷土食人気ランキングのコーナーを設け、利用者に投票していたところ。



平成21年1月11日(日)実施の収蔵品ゆかりの地ツアーの様子。信玄堤に関連する遺跡見学はバス2台で移動しなければならない程の人気であった。

## (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力員によるものである。会員数は若干の変動があるが、概ね70名ほどの協力員が館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力員の主たる活動は次のとおりである。

- ・来館者の鑑賞・学習のための助言及び相談
- ・来館者の誘導・案内、及び体験型展示の利用の補助
- ・館蔵の図書、資料、写真などの整理
- ・ミュージアムショップの運営
- ・館が行うイベントなどの補助や畠など野外施設の管理

### ■平成20年度の協力会の主な活動

平成20年4月5日（土）～5月6日（火）木喰展の展示ガイド

5月14日（水）運営委員会

5月18日（日）協力会総会

（委嘱状の交付、平成19年度事業・決算報告、20年度事業計画・予算の決定）

6月3日（火）県外研修（信州国分寺周辺・日帰り）

6月22日（日）協力会ツアー（甲斐国分寺の謎を探る）

7月12日（土）～9月1日（月）文化財をまもる～展示ガイド

7月20日（日）親睦会運営

9月4日（木）協力会ツアー（大善寺～その歴史と魅力に迫る）

10月11日（土）～12月8日（月）甲州食べもの紀行～展示ガイド

11月24日（月）～25日（火）県外研修（京都阿弥陀寺方面）

平成21年1月24日（土）親睦会運営

1月30日（金）～3月2日（月）新指定文化財展～展示ガイド

平成20年度から協力会の活動強化のために、博物館周辺ガイドを新規に実施した。これは県立博物館と地域との結びつきを深めるためになされたもので、協力会員がツアーコースの設定企画からガイドの実施までを行った。一般からのツアー参加を募ったところ、6月22日に実施した甲斐国分寺ツアーでは29名の参加者を、9月4日に実施した大善寺ツアーでは40名の参加者をそれぞれ得た。

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・資料整理補助…「渡辺家資料」449点、「清水家資料」49点、「小池家資料」149点、「堀内氏収集資料」328点、「河野家資料」1000点の整理については、資料専用封筒詰め、ナンバリング、目録のパソコン入力等の作業で協力を得た。



平成20年9月4日（木）に実施された大善寺ツアーの様子。協力会員によって歴史ガイドがなされ、参加者から好評を博した。



平成21年1月4日（日）実施の「かいじあむ餅つき大会」の様子。協力会員と利用者が一緒になって餅つきをしているところ。



## 第9章 組織・人員

### (1) 職員の資質向上

県立博物館ではより良いミュージアムサービスの提供を目指して、職員各自の資質向上に資する環境整備に努めている。各職員が受講した研修は次のとおりである。

#### ① 職員参加研修一覧

氏名	研修名	主催	場所	期間	研修内容
小畑茂雄	平成20年度 歴史民俗資料館等専門職員研修会	文化庁・大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館	平成20年11月10日(月)～11月14日(金) (2箇年のうち)	歴史・考古・民俗資料等の保存活用を担当する職員の、調査・収集・保存及び公開等に関する必要な専門知識と技能の研修を行い、歴史民俗資料館等の活動の充実に資する。

#### ② 展示交流員研修一覧

展示交流員は、利用者と博物館の橋渡しの役割を担い、日々、総合受付・館内案内・監視などの業務を担当している。こうした展示交流員については、サービス向上や利用者の満足度の確保のため、適宜種々の研修を進めている。

日時	内容
平成20年9月12日(金)	①自衛消防訓練ならびにAED操作を主とした救急救命法講習を行い、安全・安心の確保に努めることなど幅広い研修を実施 ②TEPCO葛野川PR館視察研修を実施

### (2) 第三者委員会

県立博物館では第三者からなる外部委員会を設けて、それぞれ客観的立場から博物館の運営等について議論・検討をいただいている。

第三者委員会での検討結果に基づいた運営を実施することにより、県内外の利用者から高く評価され、県民により親しまれる博物館の実現を絶えず目指していく。

#### ① 山梨県立博物館運営委員会

##### i 運営委員会委員名簿

氏名	勤務先・役職等
小澤 龍一	元(財)やまなし文化学習協会生涯学習センター所長 みんつく委員長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長 資料・情報委員会委員長
五味 文彦	放送大学教授
萩原 三雄	(財)帝京大学 山梨文化財研究所所長
古屋 栄和	社会福祉法人山梨県社会福祉協議会会長
守屋 正彦	筑波大学教授

##### ii 運営委員会の検討状況

##### ■第11回運営委員会

日時：平成20年7月3日(木)

検討内容：

- ・平成20年度の事業について
- ・今後の事業・運営について
- ・韓国 国立清州博物館との学術交流協定について

##### ■第12回運営委員会

日時：平成20年10月20日(月)

検討内容：

- ・運営、諸事業に関する改善状況について
- ・平成21年度以降の企画展、シンボル展、5周年記念企画展について

■第13回運営委員会

日時：平成21年3月5日（木）

検討内容：

- ・平成21年度の企画交流事業について
- ・韓国国立清州博物館との学术交流について
- ・みんなで作る博物館協議会の実施状況について

② 山梨県立博物館資料・情報委員会

第Ⅱ編第3章（1）で詳述。

③ みんなでつくる博物館協議会

i みんなつくる委員名簿

氏名	勤務先・役職等
数野 妙子	甲府市立伊勢小学校教諭
土橋 一彦	甲府市校長会事務局長
植松 光宏	なまよみ文庫館長
小澤 龍一	元財団法人山梨文化学習協会生涯学習推進センター所長
出澤 忠利	印伝博物館総務部長
齋藤 康彦	山梨郷土研究会理事
谷口 一夫	甲斐黄金村湯之奥金山博物館長
新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事
三枝 正文	山梨県農業協同中央会専務理事
中村 徳行	富士五湖観光連盟副会長
八田 知子	石和温泉観光協会副理事
早川 源	地域シンクタンク 山梨総合研究所 専務理事
長沢 宏昌	石和温泉活性化研究会 副理事長
山本 育夫	特定非営利活動法人つなぐ理事長
柴田 彩子	元長期計画審議会委員、特定非営利活動法人 日本上流文化圏研究所研究員

ii みんなつくる検討状況

平成20年度は平成19年度に引き続き、地域に根付いた、県民に親しまれる博物館を実現させるために、地域連携のあり方に重点を置いて検討した。

■平成20年度第1回みんなつくる協議会

日時：平成20年6月25日（水）

検討内容：

- ・県立博物館をめぐる地域連携の在り方について
- ・県立博物館協力会による周辺ガイドの開催について

■平成20年度第2回みんなつくる協議会

日時：平成20年11月6日（水）

検討内容：

- ・平成20年度通信簿ツアー結果について
- ・学校連携の在り方について

■平成20年度第3回みんなつくる協議会

日時：平成21年2月4日（水）

検討内容：

- ・県立博物館の利用者数の向上と広報の在り方について

## 第10章 外部支援と連携

県立博物館では、継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部資金助成や広報等の協力をあおぐなどの外部支援体制の導入を行っている。

また、地域に根付いた博物館であるために、様々な分野において地域に貢献することに努めている。

### (1) 外部支援

#### ■職員の受けた研究助成

助成団体	助成を受けた職員	助成研究の研究課題
日本学術振興会	中山 誠 二	レプリカ・セム法による極東先史時代の植物栽培化過程の実証的研究
東海大学総合研究機構	中山 誠 二	宮古・八重山地域の総合的研究
財団法人河川環境管理財団	高橋 修	全国の歴史系博物館における河川の歴史資料の活用動向にかかる研究

### (2) 外部との連携

#### ■甲州味の見本市－甲州の食を味わう－

秋期企画展「甲州食べもの紀行－山梨の豊かな食文化－」の関連イベントとして、郷土食の試食会を開催した。実施にあたり、県内各地の食生活改善推進委員会や関係団体・個人の協力をあおいだ。

- ・開催日：平成21年10月11日（土）～13日（月・祝）、11月1日（土）～3日（月・祝）、20日（木・県民の日）、22日（土）、23日（日）いずれも午後1時から午後3時まで
- ・開催場所：県立博物館庭
- ・出品者の内容：

出品者	料理名	出品者	料理名
身延町個人	ほうとう	早川町食生活改善推進委員会	えごまのぼたもち
南アルプス市個人	しょうゆの実	日出づる里活性化組合	ゆず餅
笛吹市個人	オネリ	笛吹市食生活改善推進委員会	とうもろこしすいとん
上野原市食生活改善推進委員会	せいだのたまじ	富士河口湖町食生活改善推進委員会	もろこしだんご
甲府市個人	御嶽そば・おざら	富士吉田市食生活改善推進委員会	吉田のうどん
大月市おつけだんごの会	おつけだんご	笛吹市個人	ジビエ料理
上野原市個人	酒饅頭	甲州市個人	月の雫
小菅村食生活改善推進委員会	こんにやくまんじゅう	みなさまの縁をとりもつ隊	鳥モツ
都留市食生活改善推進委員会	水かけ菜入りニョッキしるこ・梅ジャムゼリー	南アルプス市食生活改善推進委員会	すももの寒天ゼリー
西桂町食生活改善推進委員会	すいとん	身延町食生活改善推進委員会	生ゆば入りほうれん草の磯巻
韮崎みそ汁学校	みそ汁	六郷特産品加工組合	あんびんまんじゅう、コロケ

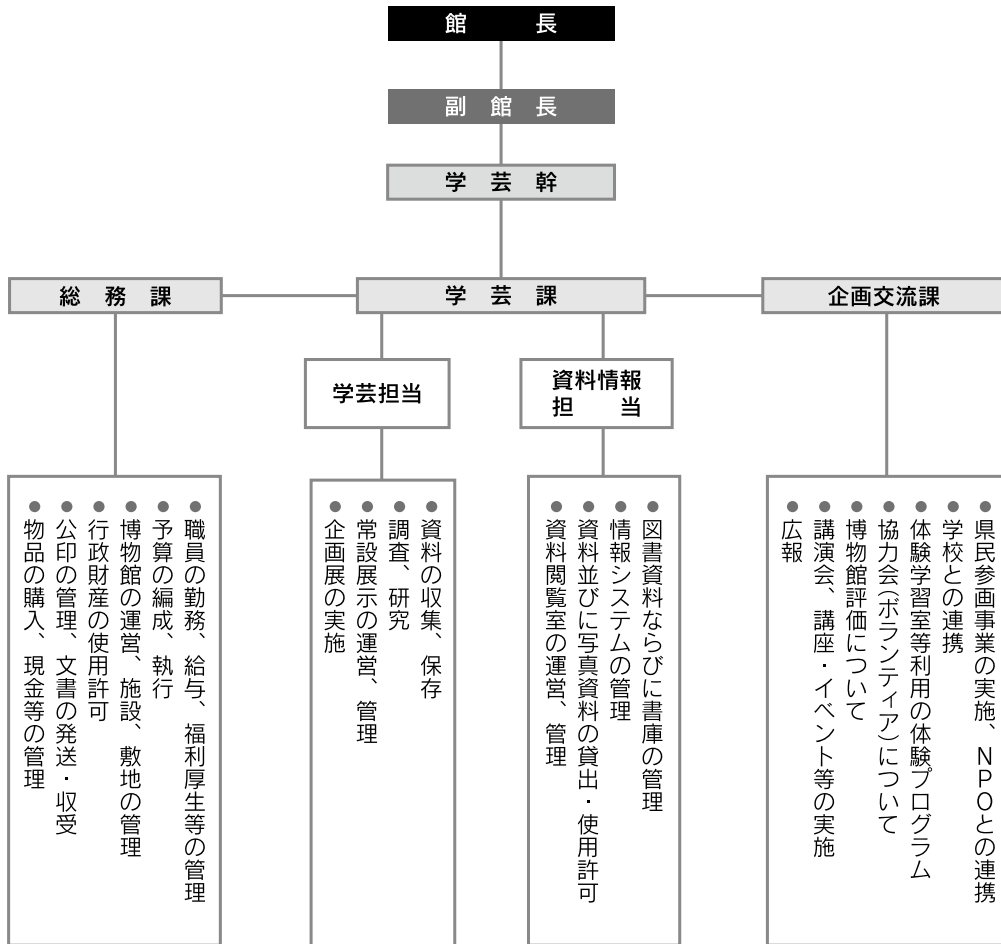


平成20年10月13日（月・祝）の「甲州味の見本市」の様子。多くの利用者に郷土食の魅力を味わっていただいた。

# 第Ⅲ編 各種資料

## 1 組織・職員等名簿

### ■組織 図



### 関係委員会

#### 運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

#### 資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

#### みんなで作る博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第II編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第II編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会

第II編第9章(2)参照

●博物館職員

館長	平川南
副館長	浅川幸治
総務課	
課長	穂坂芳朗
副主任	渡邊潤一
主任	稲田正徳
主任業務員	白倉政富
非常勤嘱託	山口美弥
非常勤嘱託	高屋恵里子
非常勤嘱託	名取美徳
非常勤嘱託	野田恵
非常勤嘱託	黒羽るり子
非常勤嘱託	宮澤真央
非常勤嘱託	近藤博文
非常勤嘱託	岡田昌也
非常勤嘱託	清水春美
非常勤嘱託	伊藤茜
非常勤嘱託	飯沼美奈子
非常勤嘱託	小幡理美
非常勤嘱託	小山泰子
非常勤嘱託	早川美保
非常勤嘱託	早川聖子
非常勤嘱託	古屋恵里佳
非常勤嘱託	数野勝彦
非常勤嘱託	鷹野義朗

学芸課

課長	中山誠二	考古学
学芸担当		
学芸員	井澤英理子	美術
学芸員	植月学	古環境
学芸員	沓名貴彦	保存科学
学芸員	西川広平	歴史
学芸員	近藤暁子	美術

資料情報担当

副主任	三澤麻須美	
主査	堀内亨	
学芸員	小畑茂雄	歴史
学芸員	海老沼真治	歴史
非常勤嘱託	小澤史葉	
非常勤嘱託	宮澤富美恵	

企画交流課

課長	出月洋文	
学芸員	高橋修	歴史
教育主事	望月淳也	
教育主事	平山智英	
学芸員	丸尾依子	民俗
非常勤嘱託	村松	

## 2 平成20年度改正分の関連法規

### 山梨県立博物館設置及び管理条例施行規則（改正条項のみ掲載）

（観覧料等の免除）

第十条 条例第十条の特別の理由は次の各号のいずれかに掲げる場合に該当することとし、免除の額は当該各号に定めるとおりとする。

一 土曜日において、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特殊教育諸学校の児童又は生徒が観覧するとき。 条例別表第一に定める観覧料の全額

二 県内の小学校、中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の児童又は生徒が、七月十日から八月三十一日までの間に観覧するとき。 条例別表第一に定める観覧料の全額

三 県内の小学校、中学校、高等学校及び特殊教育諸学校の児童又は生徒及びこれらの引率者が、教育課程に基づく教育活動として観覧するとき（常設の展示に限る。）。 条例別表第一に定める観覧料の全額

四 六十五歳以上の者が観覧するとき（県内に住所を有しない者にあつては、常設の展示に限る。）。 条例別表第一に定める観覧料の全額

五 障害者基本法（昭和四十五年法律第八十四号）第二条に規定する障害者及びその介護を行う者が観覧するとき。 条例別表第一に定める観覧料の全額

六 同一の日において、常設の展示及び特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、常設展・企画展共通観覧券の交付を受けて観覧するとき。 条例別表第一第一号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額及び同表第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

七 特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、当該展示に係る開催期間の初日の前日までに前売り観覧券の交付を受けて観覧するとき。 条例別表第一第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

八 同一の日において、常設の展示及び特別の企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、当該特別の企画による展示に係る開催期間の初日の前日までに常設展・企画展共通前売り観覧券の交付を受けて観覧するとき。

条例別表第一第一号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額及び同表第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

九 山梨県内に所在する宿泊施設に宿泊する者（団体により観覧する者を除く。）が当該宿泊施設に宿泊した日又はその翌日に観覧するとき。 条例別表第一第一号に定める個人と団体の観覧料との差額又は同表第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

十 山梨県内に所在する美術館、博物館等で相互に個人の観覧料の免除を実施することとしたものに係る定期利用券（一定期間の利用の許可、承認等を受けたものをいう。）を有する者が観覧するとき。 条例別表第一第一号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額又は同表第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額

十一 前各号に掲げるもののほか、館長が特に必要と認めるとき。 観覧料等のうち館長が相当と認める額

2 前項第二号又は第十一号に該当する場合において、条例第十条の規定による観覧料等の免除を受けようとする者は、観覧の承認の申請の際、観覧料等免除申請書（第十号様式）を館長に提出しなければならない。

3 館長は、観覧料等の免除の決定をしたときは、当該免除に係る申請をした者に対し、観覧料等免除決

定通知書（第十一号様式）を交付するものとする。

- 4 第一項第一号、第二号、第四号、第五号、第九号又は第十号に該当する場合において、条例第十条の規定による観覧料等の免除を受けようとする者は、第一項第一号、第二号、第四号、第五号、第九号又は第十号に該当することを証する書類を館長に提示しなければならない。
- 5 第三項の規定にかかわらず、前項の規定により提示された書類により観覧料等の免除に係る事実を確認したときは、免除後の観覧料の額を記載した観覧券をもって第三項の観覧料等免除決定通知書に代えるものとする。

附 則（平成二十一年教委規則第八号）

この規則は、平成二十一年四月一日から施行する。

### 3 平成20年度予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	70,129	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	17,039	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	228,142	施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費
合計	315,310	

※ 職員給与費を除く。

### 4 年間日誌

#### ■主な出来事

平成20年4月1日（火）火曜日休館開始

開館時間が午前9時30分から午前9時に変更

平成20年7月13日（日）日韓交流おまつり 2008 in Yamanashiを開催

平成20年12月18日（木）大韓民国清州国立博物館と学术交流協定締結（於：清州国立博物館）

平成20年12月22日（月）大韓民国清州国立博物館舘長来県、知事・教育長表敬訪問

#### ■新聞記事から抄

平成20年6月19日（木）から同年10月30日（木）まで

秋期企画展に関連して当館職員および外部協力者による連載「やまなし食の風土誌」（20回）を執筆（山梨日日新聞）

平成20年8月21日（木）文化財の保存・修復、博物館の舞台裏紹介（日本経済新聞）

平成20年11月21日（金）魚好きの山国 甲州の美食 平成20年度秋期企画展について「地域の素材を生かした意義のある企画で、歴史教科書のコラムに載せたいくらいの充実した内容である」（読売新聞）

平成20年11月24日（月）甲州の食文化、ルーツを掘り起こす（日本経済新聞）

平成20年11月29日（土）肉食のタブーに迫る 山梨県立博物館企画展で検証（朝日新聞）

---

---

平成20年度 山梨県立博物館年報

発行日 2009(平成21)年12月21日  
編集・発行 山梨県立博物館  
〒406-0801  
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055(261)2631  
印刷 株式会社 少国民社

---

---